



日産純正部品

日産オリジナルナビゲーション 取扱説明書

MJ322D-L

MJ322D-W

MJ122D-W

MJ122D-A

日産純正部品

ナビゲーション

PART No.

B8260-6RA80

B8260-7998G

B8260-7998G-NP

B8260-7998H

B8260-7998H-NR

B8260-7998J

B8260-7998J-NP

B8260-7998J-NR

ご使用前に必ずお読みください。

本書の見かた

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- ◎ 道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。
ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）に従って走行してください。
- ◎ 事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。
- 本書の中で使用するマークと意味は次のようにになっています。

安全のために守っていただきたいこと。

 警告	守らないと生命の危険または重大な損害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと損害または事故につながるおそれがあります。
システムを使用するときに守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
システムを使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 本書ではボタンや操作画面のメニュー項目などをマークで表示しています。マークの見かたは次のとおりです。

<メニュー>	コントロールパネルのボタンやステアリングスイッチなどを表します。
[情報]	操作画面や地図上に表示されるメニュー・項目を表します。

- 車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
- 画面は昼間（ライト消灯時）で、表示色を切り替えていない状態で撮影しています。
- 本書で使用している画面やイラストは、仕様によりお客様の車両と異なります。
- お車をゆすられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ、消失したデータなどについては補償できません。

- 本書は、MJ322D-W の画面および操作手順を例に説明しています。
- 機種により機能や操作が異なる説明をしている所などでは、下記のアイコンを使って機種を区分しています。

MJ322D-L : MJ322D-L

MJ322D-W : MJ322D-W

MJ122D-W : MJ122D-W

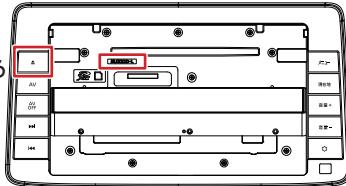
MJ122D-A : MJ122D-A

- 各機種の型式は本体の下記場所に表示されていますので、ご確認ください。

MJ322D-L

(コントロールパネルオープン時)

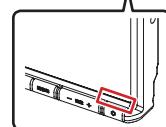
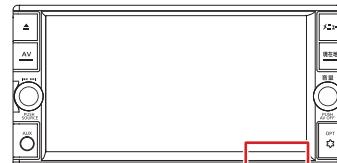
1. <▲> (OPEN) を押す
2. [オープン] をタッチする
コントロールパネルが開きます。



MJ322D-W

MJ122D-W

MJ122D-A



機種別機能概要一覧

○：対応 ×：非対応 △：オプション品（別売）が必要
 （各機能について詳しくはそれぞれのページをご覧ください。）

機能	機種	MJ322D-L	MJ322D-W	MJ122D-W	MJ122D-A
フリック／ドラッグ／ピンチ	○	○	○	○	○
ナビゲーション+AV 2画面表示（デュアルウィンドウ）	○	○	×	×	×
TV	12セグ／ワンセグ	○	○	○	○
	視聴予約	○	○	○	○
FM／AM／交通情報	○	○	○	○	○
iPod／iPhoneの音楽再生	△	△	△	△	△
Bluetooth Audio	○	○	○	○	○
SD カード (音楽ファイル再生／動画ファイル再生)	○	○	○	○	○
USB メモリー (音楽ファイル再生／動画ファイル再生)	△	△	△	△	△
DVD 再生	○	○	×	×	×
CD	再生	○	○	○	○
	録音	○	○	×	×
インテリジェントアラウンドビューモニター *1	△	△	×	×	×
日産オリジナルナビゲーション運動ドライブレコーダー *2	△	△	△	△	△
ドライブレコーダー *3	△	△	△	△	△
ETC2.0	△	△	×	×	×
ハンズフリーフォン	○	○	○	○	○
スマートフォン連携	NaviCon®	○	○	○	○
	VOIPUT（音声入力アプリ）	○	○	○	○
AUX（オーディオ用入力端子）	×	○	○	○	×
VTR	△	△	△	△	△

*1…インテリジェントアラウンドビューモニター搭載車で映像を表示できます。

*2…本機で映像を表示できるほか、再生するファイルの選択や設定などを本機を操作して行えるドライブレコーダーです。

*3…本機で映像を表示でき、再生などの各操作はドライブレコーダー側で行うドライブレコーダーです。

スマートフォンで取扱説明書を閲覧する

スマートフォンを使用して QR コードを読み込むことで、取扱説明書を閲覧することができます。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [情報] → [取扱説明書] をタッチする
QR コードが表示されます。
2. QR コードに対応したスマートフォンで画面の QR コードを読み取る

■ QR コードから

[MJ322D-L](#) [MJ322D-W](#)



[MJ122D-W](#) [MJ122D-A](#)



■ URL から

URL を直接入力しても閲覧できます。

[MJ322D-L](#) [MJ322D-W](#)

https://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/DOP/manual_mj322d-lw.pdf

[MJ122D-W](#) [MJ122D-A](#)

https://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/DOP/manual_mj122d-aw.pdf

BOOK!知識

- サイトの閲覧には別途、通信料が発生します。
- スマートフォンで QR コードを読み込むには、アプリケーションのインストールが必要な場合があります。
- スマートフォンやアプリケーションの操作方法は、スマートフォンやアプリケーションの取扱説明書またはヘルプなどをご覧ください。
- 画面の傷や汚れ、光の反射、QR コードのバージョンによっては読み取れない場合があります。

MEMO

■ 安全上のご注意 .10	■ 各部の名称とはたらき .14	■ 基本的な使いかた .22	ご使用前の確認と設定	P.9
■ はじめに設定しておきたいこと .25				
■ 地図画面の見かたと操作 .30	■ 目的地を探す .36	■ ルートの探索と案内 .38	ナビゲーション	P.29
■ ルートの編集 / 登録地の編集をする .46	■ 交通情報を使う .48	■ 地図を更新する .52		
■ オーディオ・テレビの基本操作 .55	■ ラジオを聞く .63	■ テレビを視聴する .65		
■ CD・オーディオファイルディスクを使う .72	■ DVD を再生する .75	■ USB メモリー /SD カード /iPod /Bluetooth オーディオ機器を使う .78		
■ REC Audio を使う .85	■ 外部機器の接続 .90		オーディオ・ビジュアル	P.53
■ カメラシステム .92	■ 日産オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダー .96	■ ドライブレコーダー .102		
■ ETC .103			カメラシステム・ ドライブレコーダー・ETC	P.91
■ Bluetooth 機器の設定 .108	■ ハンズフリーフォンを使う .110		ハンズフリーフォン	P.107
■ NaviCon を使う .114	■ 音声認識でルート探索 / 楽曲検索する .117			
■ 情報表示や設定について .122	■ エコ運転診断 .123	■ システム設定 .124	スマートフォン連携・ 音声認識	P.113
■ 車両のメンテナンス情報設定 .129	■ 情報を見る .130			
■ 困ったとき .132	■ 知っておいていただきたいこと .150	■ 索引 .175	情報・設定	P.121
			付録	P.131

MEMO

ご使用前の確認と設定

安全上のご注意

取り付けや配線について	10
使用方法について	10
異常時の問い合わせ	11
使用上のお願い	11

各部の名称とはたらき

コントロールパネル	14
ステアリングスイッチ	20

基本的な使いかた

電源を入れる / 切る	22
コントロールパネルの角度、画面の明るさおよび 黒レベルを調整する、画面表示を消す	22
トップメニュー画面の操作	23
文字入力のしかた	24

はじめに設定しておきたいこと

利用開始日を登録する	25
イージーセットアップを行う	25
自宅を登録する	25
Bluetooth 機器を登録する	26

安全上のご注意

取り付けや配線について



● 取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの日産販売会社へご相談ください。

使用方法について



● 分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

● 音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

● 機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にからないようにご注意ください。



警告

● 故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

● 運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

● 雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。

● ルート案内中でも実際の交通規制に従つて走行する

ナビゲーションのルート案内のみに従つて走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

● ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの日産販売会社に依頼してください。

● バックビューモニターやインテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）は補助手段として使用し、後退時には直接後方の安全確認をしながら運転する

交通事故の原因となります。



警告

● 医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

● SDカードなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

誤って飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



注意

● 本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

● 可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整のときにはご注意ください。けがの原因となることがあります。

安全上のご注意

異常時の問い合わせ



警告

- 異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず日産販売会社に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



アドバイス

- お客さままたは第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のお願い

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

走行中の操作制限 / 視聴制限について

- 安全運転への配慮から、走行中は操作できない機能があります。また、映像ソース（テレビ、SD、USBなど）は、走行中に映像表示をせず、地図画面に切り替わります。操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけた状態で行ってください。
- 停車するときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、**● 故障かなと思ったら (P.132)** を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの日産販売会社へご相談ください。

コントロールパネルの お手入れについて

ボタン操作部やディスプレイ部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

Q&A知識

- コントロールパネルについては、**● コントロールパネル (P.14)** をご覧ください。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがったもので操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

安全上のご注意

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
 - 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
 - 細街路を走行中の現在地図画面
 - 市街地図を表示しているとき
 - マップマッチングしていないとき
 - 駐停車中
- * 細街路とは、道幅 5.5m 未満の道路のことをいいます。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、日産販売会社へご相談ください。

コントロールパネルの 安全装置について

コントロールパネルを閉じるときにパネルの画面に触れると、再度コントロールパネルが開きます。

<▲>(OPEN)ボタンを押す、または[クローズ]をタッチするとコントロールパネルが閉じます。

コントロールパネルの隙間にコードなどの異物をはさんで閉じたときは、安全装置がはたらき、コントロールパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、<▲>(OPEN)ボタンを押して再度操作してください。

■!知識

- <▲>(OPEN)ボタンについては、
 ➡ [MJ322D-L] (P.14),
 ➡ [MJ322D-W] [MJ122D-W] (P.16),
 ➡ [MJ122D-A] (P.18)をご覧ください。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

個人情報の消去は、➡ 個人情報を初期化する (P.127) で行うことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

個人情報を初期化しても、次の情報は消去、または初期設定の状態にできません。

- セキュリティコードの設定状況および設定内容（セキュリティコードは、➡ セキュリティコードを解除する (P.128) で解除してください。）
- 利用開始日
- 無料地図更新（1～3回目）の更新状況および更新内容
- 地図データクーポンの更新状況および更新内容

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国外以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられことがあります。

- 分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、日産販売会社にご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、日産販売会社にお問い合わせください。

- 本機の周波数表示は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH : FH-SS変調方式を表します。
1 : 電波与干渉距離は10mです。

: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

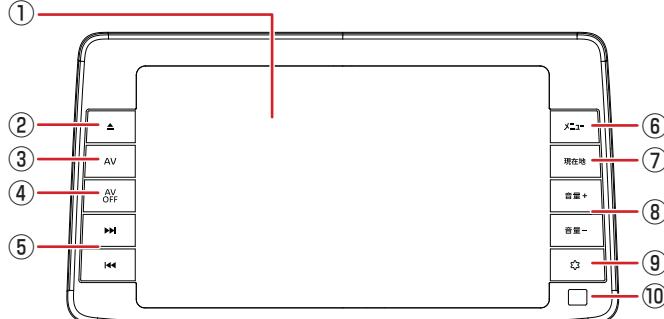
- 使用可能距離は見通し距離約10mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかる通信には使用しないでください。

各部の名称とはたらき

コントロールパネル

本機は、コントロールパネルを使って操作します。
コントロールパネルはディスプレイと各ボタンで構成されます。

■ MJ322D-L



① ディスプレイ

地図やメニュー画面、情報などを表示し、タッチすることで操作ができます。画面表示を消すこともできます。② トップメニュー画面の操作 (P.23)

② <▲> (OPEN) ボタン

ディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

- ② ディスクを入れる / 取り出す (P.72)
- ② SD カードを入れる / 取り出す (P.78)

③ <AV>ボタン

選択中の AV 画面を表示します。

④ <AV OFF>ボタン

AV ソースをオフにします。

⑤ <◀▶> / <▶>ボタン

・押す：

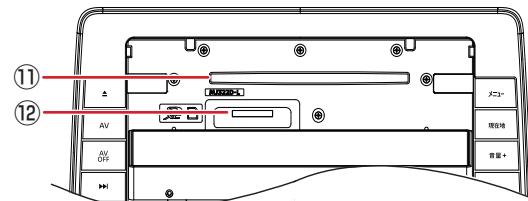
ディスク /iPod/USB/SD/Bluetooth
Audio：音楽、ビデオを 1 つずつ送ったり、戻したりします。

ラジオ /TV：選局します。

・押し続ける：

ディスク /iPod/USB/SD/Bluetooth
Audio：早戻し、早送りをします。
ラジオ：受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。

ディスプレイオープン時



⑥ <メニュー>ボタン

・押す：トップメニュー画面を表示します。

② トップメニュー画面の操作 (P.23)

・押し続ける：音声認識画面を表示します。

② 音声認識でルート探索 / 楽曲検索する (P.117)

⑦ <現在地>ボタン

・押す：現在地図画面を表示します。② 現在地図画面の見かた (P.30)

・押し続ける：画質調整画面を表示します。

② 画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.22)

各部の名称とはたらき

⑧ <音量 - > / <音量 + >ボタン

音量を調整（0～40）します。

■!知識

- <音量 + >ボタンを押し続けると、連続して音量値が15まで上がります。音量を15より大きくする場合は、1回ずつ押してください。
- AVソースの音量、交通情報の音量、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量は個別に調整できます。
(例：交通情報の受信中に音量を調整すると、その音量は保存され、次に交通情報を受信したときも同じ音量になります。)
- <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼] → [システム設定] → [音量]をタッチしても、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量の調整ができます。
⇒ システムの設定をする (P.125)

⑨ < ⇠ > (OPT) ボタン

・オプションスイッチ画面で設定した機能の操作をします。

⇒ システムの設定をする (P.124)

※ インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）装着車の場合は、インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）の映像画面を表示します。（一部の車種では表示できません。）

※ ソナー付きのインテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）装着車の場合は、< ⇠ >ボタンを長押しすることでソナーのオン／オフの切り替えができます。

※ インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）について詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

・セキュリティインジケーター ⇒ システムの設定をする (P.124)

セキュリティインジケーターをONに設定すると、本機の電源をオフにしたときに< ⇠ >ボタンが点滅します。

⑩ リモコン受光部

後席専用モニターのリモコン用の受光部です。

⇒ 後席専用モニターに表示できる映像について (P.168)

⑪ ディスク挿入口

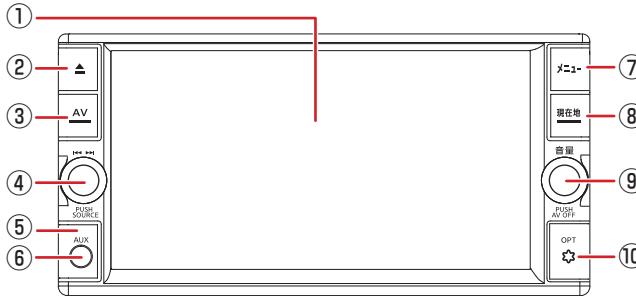
再生用のディスクを挿入します。

⑫ SDカード挿入口

SDカードを挿入します。取り出すときは、力ちつと音がするまで押し込んで離し、まっすぐ引き抜いてください。

各部の名称とはたらき

■ MJ322D-W MJ122D-W



① ディスプレイ

地図やメニュー画面、情報などを表示し、タッチすることで操作ができます。画面表示を消すこともできます。[② トップメニュー画面の操作 \(P.23\)](#)

② <▲> (OPEN) ボタン

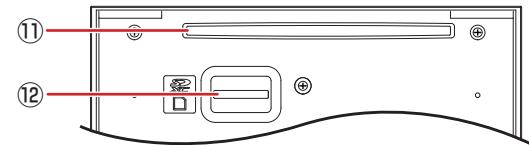
コントロールパネルの角度調整 [③ コントロールパネルの角度を調整する \(P.22\)](#) やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

- [④ ディスクを入れる / 取り出す \(P.72\)](#)
- [⑤ SD カードを入れる / 取り出す \(P.78\)](#)

③ < AV > ボタン

- ・選択中の AV 画面を表示します。
- ・AV 画面表示中に押すと AV メニュー画面を表示します。

コントロールパネルオープン時



知識

日産オリジナルナビゲーション運動ドライブ
レコーダー / ドライブレコーダー装着車の場合
● < ▲ ▼ > ボタンを押したときの AV
ソースの切り替えは、「VTR」が「ドライ
ブレコーダー」の表示になります。

⑤ リモコン受光部^[1]

後席専用モニターのリモコン用の受光部で
す。

[⑥ 後席専用モニターに表示できる映像について \(P.168\)](#)

⑥ AUX 端子

市販のポータブルオーディオ機器を接続し
ます。[⑦ 外部機器を再生する \(P.90\)](#)

[1]… MJ322D-W のみ

[2]… MJ122D-W のみ

★ オプションの装着により異なります。

各部の名称とはたらき

⑦ <メニュー>ボタン

- ・**押す**：トップメニュー画面を表示します。
⇒ トップメニュー画面の操作 (P.23)
- ・**押し続ける**：音声認識画面を表示します。
⇒ 音声認識でルート探索 / 楽曲検索する (P.117)

⑧ <現在地>ボタン

- ・**押す**：現在地図画面を表示します。⇒ 現在地図画面の見かた (P.30)
- ・**押し続ける**：画質調整画面を表示します。
⇒ 画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.22)

⑨ <音量>ダイヤル

- ・**回す**：音量を調整（0～40）します。
- ・**押す**：AV ソースがオフになります。

!!知識

- AV ソースの音量、交通情報の音量、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量は個別に調整できます。
(例：交通情報の受信中に音量を調整すると、その音量は保存され、次に交通情報を受信したときも同じ音量になります。)
- <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▶] → [システム設定] → [音量]をタッチしても、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量の調整ができます。
⇒ システムの設定をする (P.125)

⑩ < OPT☆>ボタン

- ・オプションスイッチ画面で設定した機能の操作をします。

⇒ システムの設定をする (P.124)

※ インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）装着車の場合は、インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）の映像画面を表示します。（一部の車種では表示できません。）^[1]

※ ソナー付きのインテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）装着車の場合は、< OPT☆>ボタンを長押しすることでソナーのオン／オフの切り替えができます。^[1]

※ インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）について詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

・セキュリティインジケーター ⇒ システムの設定をする (P.124)
セキュリティインジケーターを ON に設定すると、本機の電源をオフにしたときに< OPT☆>ボタンが点滅します。

⑪ ディスク挿入口

再生用のディスクを挿入します。

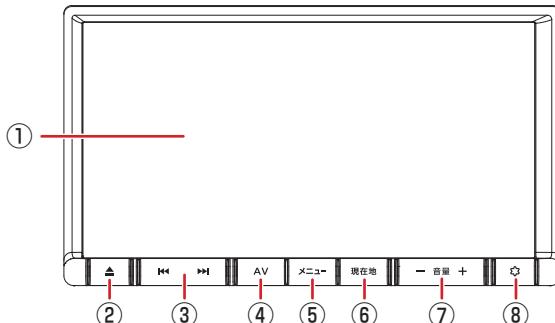
⑫ SD カード挿入口

SD カードを挿入します。取り出すときは、カチッと音がするまで押し込んで離し、まっすぐ引き抜いてください。

[1]… [MJ322D-W] のみ

各部の名称とはたらき

■ MJ122D-A



① ディスプレイ

地図やメニュー画面、情報を表示し、タッチすることで操作ができます。画面表示を消すこともできます。[② トップメニュー画面の操作 \(P.23\)](#)

② <△> (OPEN) ボタン

コントロールパネルの角度調整 [② コントロールパネルの角度を調整する \(P.22\)](#) やディスク、SDカードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

[② ディスクを入れる / 取り出す \(P.72\)](#)、
[② SDカードを入れる / 取り出す \(P.78\)](#)

③ <◀▶> / <▶▶> ボタン

・押す：
ディスク /iPod/USB/SD/Bluetooth Audio：音楽、ビデオを1つずつ送ったり、戻したりします。

ラジオ /TV：選局します。

・押し続ける：

ディスク /iPod/USB/SD/Bluetooth Audio：早戻し、早送りをします。
ラジオ：受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。

④ <AV>ボタン

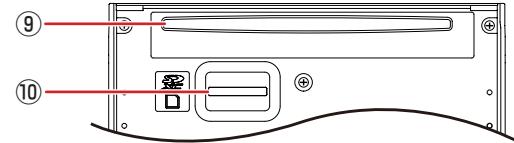
- ・押す：選択中のAV画面を表示します。
AV画面表示中に押すとAVメニュー画面を表示します。

- ・押し続ける：AVソースがオフになります。

⑤ <メニュー>ボタン

- ・押す：トップメニュー画面を表示します。
[② トップメニュー画面の操作 \(P.23\)](#)
- ・押し続ける：音声認識画面を表示します。
[② 音声認識でルート探索 / 楽曲検索する \(P.117\)](#)

コントロールパネルオープン時



⑥ <現在地>ボタン

- ・押す：現在地図画面を表示します。[② 現在地図画面の見かた \(P.30\)](#)
- ・押し続ける：画質調整画面を表示します。[② 画面の明るさおよび黒レベルを調整する \(P.22\)](#)

各部の名称とはたらき

⑦ 音量<->/<+>ボタン

音量を調整(0~40)します。

■!知識

- <+>ボタンを押し続けると、連続して音量値が15まで上がります。音量を15より大きくする場合は、1回ずつ押してください。
- AVソースの音量、交通情報の音量、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量は個別に調整できます。
(例: 交通情報の受信中に音量を調整すると、その音量は保存され、次に交通情報を受信したときも同じ音量になります)
- <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼]→[システム設定]→[音量]をタッチしても、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量の調整ができます。
⇒ システムの設定をする(P.125)

⑧ <☆>(OPT)ボタン

- ・オプションスイッチ画面で設定した機能の操作をします。

⇒ システムの設定をする(P.124)

- ・セキュリティインジケーター ⇒ システムの設定をする(P.124)

セキュリティインジケーターをONに設定すると、本機の電源をオフにしたときに<☆>ボタンが点滅します。

⑨ ディスク挿入口

再生用のディスクを挿入します。

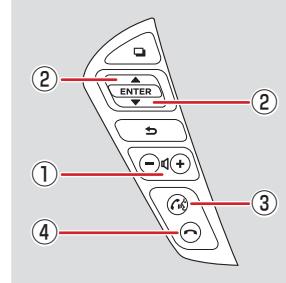
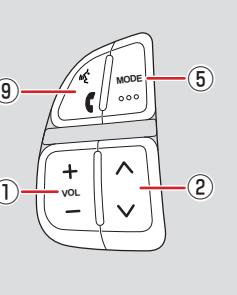
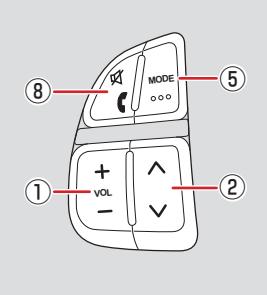
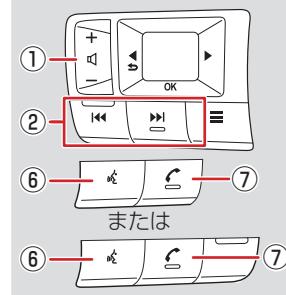
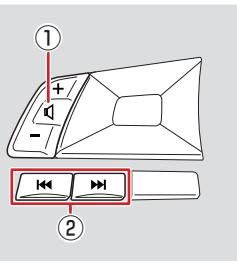
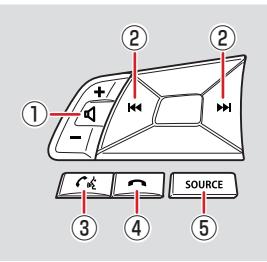
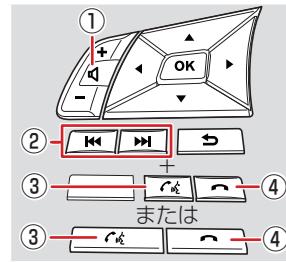
⑩ SDカード挿入口

SDカードを挿入します。取り出すときは、カチッと音がするまで押し込んで離し、まっすぐ引き抜いてください。

各部の名称とはたらき

ステアリングスイッチ

車種によっては、ハンドルにボタンが付いている場合があります。その場合は、運転中にAVの操作が可能です。



- 知識**
- ハンドルやステアリングスイッチの形状は車種によって異なります。
 - 2011年5月以前に発売された車両には対応しておりません。
 - 対応車種は日産販売会社にお問い合わせください。
 - 車両によっては、ステアリングスイッチでメーター内のディスプレイを操作することができます。詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。

イラストはイメージ図です。

各部の名称とはたらき

① 音量ボタン

音量を調整（0～40）します。

□!知識

- <+>ボタンを押し続けると、連続して音量値が15まで上がります。音量を15より大きくする場合は、1回ずつ押してください。
- AVソースの音量、交通情報の音量、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量は個別に調整できます。
(例：交通情報の受信中に音量を調整すると、その音量は保存され、次に交通情報を受信したときも同じ音量になります。)

② ト ラッ ク・シ ケ く ボ タ ン

・ラジオ：

- ・押す：放送局を切り替えます。
- ・押し続ける：受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。

・交 通 情 報：

- ・押す：受信周波数を1620kHzと1629kHzに切り替えます。

・TV：

- ・押す：放送局を切り替えます。

・音 楽 / ビ デ オ 再 生：

- ・押す：前/次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
- ・押し続ける：早送り/早戻しします。

③ < ☎ >ボタン

電話の着信時に押すと、ハンズフリー通話を開始します。

④ < ☎ >ボタン

ハンズフリー通話を終了します。

[1]… [MJ322D-W] [MJ122D-W]のみ

★オプションの装着により異なります。

⑤ < MODE > < SOURCE > (モード・ソース) ボタン

- ・押す：AVソースが下記の順に切り替わります。

[MJ322D-L] [MJ322D-W]

CD/DVD → FM → AM → TV → VTR
または ドライブレコーダー★ → AUX^[1]
→ SD → REC Audio → USB → iPod
→ Bluetooth Audio

[MJ122D-W] [MJ122D-A]

CD → FM → AM → TV → VTR または
ドライブレコーダー★ → AUX^[1] → SD
→ USB → iPod → Bluetooth Audio

- ・押し続ける：AVソースがオフになります。

□!知識

- 使用できない状態のAVソースには切り替わりません。

日産オリジナルナビゲーション運動ドライブレコーダー/ドライブレコーダー装着車の場合

- < MODE > < SOURCE > (モード・ソース) ボタンを押したときのAVソースの切り替えは、「VTR」が「ドライブレコーダー」の表示になります。

⑥ < ⌂ > (音声認識) ボタン

- ・押す：VOIPUT（音声入力アプリ）の音声認識画面を表示します。

音声認識画面表示中に押すと、音声認識での検索をやり直すことができます。

- ・長押し：音声認識画面内で1つ前の画面に戻ります。

⑦ < ☎ >ボタン

電話の着信時に押すと、ハンズフリー通話を開始します。

通話時に押すと、ハンズフリー通話を終了します。

⑧ < ☎ > (ミュート) ボタン

音量を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

電話の着信時に押すと、ハンズフリー通話を開始します。

⑨ < ⌂ > (音声認識) ボタン

・音声認識：

- ・押す：VOIPUT（音声入力アプリ）の音声認識画面を表示します。

音声認識画面表示中に押すと、音声認識での検索をやり直すことができます。

- ・長押し：音声認識画面内で1つ前の画面に戻ります。

・ハンズフリーフォン：

- ・押す：電話の着信時に押すと、ハンズフリー通話を開始します。

通話時に押すと、ハンズフリー通話を終了します。

※ VOIPUT（音声入力アプリ）と連携できない場合は、メッセージが表示されます。

□!知識

- 音声認識画面を表示するには、あらかじめ VOIPUT（音声入力アプリ）を起動してください。アプリが起動していない場合は、確認のメッセージが表示されます。

⇒ 音声認識でルート探索 / 楽曲検索する (P.117)

基本的な使いかた

電源を入れる / 切る

電源オン

車両のキースイッチ（電源ポジション）を「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

※初めて本機を起動したときは、取付確認・設定画面が表示されますので、利用開始日登録 [利用開始日を登録する \(P.25\)](#)、およびイージーセットアップ [イージーセットアップを行う \(P.25\)](#)を行ってください。

電源オフ

車両のキースイッチ（電源ポジション）を「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。

■!知識

- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合（バッテリーに接続している+端子を外した場合）などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。

■!知識

- セキュリティを設定している場合、バッテリーを交換したあと（バッテリーに接続している+端子を外したあと）に初めて電源をオンにすると、セキュリティコードを入力しないと本機は起動しません。

セキュリティコードを設定する (P.128)

*間違ったセキュリティコードを入力するとメッセージが表示され、何度も入力画面を繰り返します。正しいセキュリティコードを入力し直してください。セキュリティコードを忘れた場合は、日産販売会社にご相談ください。

コントロールパネルの角度、画面の明るさおよび黒レベルを調整する、画面表示を消す

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいようにコントロールパネルの角度と画面の明るさおよび黒レベルを調整できます。

コントロールパネルの角度を調整する

[MJ322D-W](#) [MJ122D-W](#) [MJ122D-A](#) のみ

- <▲> (OPEN) ボタンを押す
- [0] ~ [6] をタッチして調整する
コントロールパネルが選択した角度に調整されます。

■!アドバイス

- コントロールパネルの角度を手や工具を使って無理やり調整しないでください。コントロールパネルに強い力がかかると、故障の原因となることがあります。

■!知識

- コントロールパネルの角度が“0”以外に設定されても、電源オフ時には“0”的位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、コントロールパネルは設定されている角度になります。

画面の明るさおよび黒レベルを調整する

- <現在地>ボタンを押し続ける
画面コントロールメニューが表示されます。
- [-] または [+] をタッチして調整
(-4 ~ +4) する

明るさ	画面の明るさを調整します。 [+] : 明るくなります。 [-] : 暗くなります。
黒レベル	黒い部分の明るさを調整します。 [+] : 明るくなります。 [-] : 暗くなります。

基本的な使いかた

□!知識

- 「明るさ」、「黒レベル」は、全ての画面に共通で設定されます。
- 明るさ調整は、車のライト点灯時と消灯時で別々に設定できます。
- 地図画面などの映像画面以外では、「明るさ」と「黒レベル」のみ調整できます。
- 映像画面の調整項目は **②AV** の画質を調整する (P.56) をご覧ください。

画面表示をオフにする

本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。

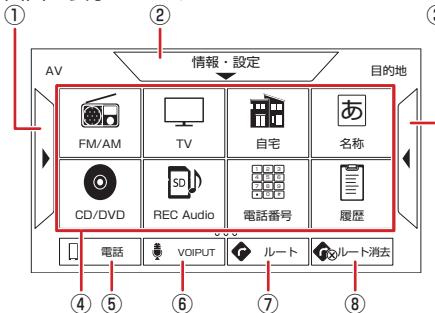
<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [画面消し]をタッチする
画面表示が消えます。

□!知識

- 画面表示のオフ中に画面をタッチすると、画面表示をオフにする前の画面に戻ります。
- 画面表示のオフ中に本機の電源をオフになると、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- パックビューモニターを接続している場合、またはインテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）搭載車の場合^①、車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消し（黒画面）中でも、モニター映像に自動的に切り替わります。
※シフトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態（黒画面）に戻ります。

トップメニュー画面の操作

トップメニュー画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。
<メニュー>ボタンを押すとトップメニュー画面が表示されます。



① AV メニュー

AV ソースを切り替える画面を表示します。画面を右にドラッグまたはフリックしても表示することができます。② ソースを切り替える (P.55)

② 情報・設定メニュー

情報表示や各種設定を行う画面を表示します。画面を下にドラッグまたはフリックしても表示することができます。③ 情報・設定メニューについて (P.122)

③ 目的地メニュ

目的地検索を行う画面を表示します。画面を左にドラッグまたはフリックしても表示することができます。④ 行き先を探す (P.37)

④ トップメニュー表示エリア

AV メニューの右側4つのキーと目的地メニューの左側4つのキーをトップメニューとして表示します。キーの配置は変更することができます。⑤ メニューのキー配置を変更する (P.24)

⑤ 電話メニュー

電話の発信や設定を行う画面を表示します。⑥ 電話画面を表示する (P.110)

⑥ VOIPUT メニュー

音声認識画面を表示します。⑦ 音声認識でルート探索 / 楽曲検索する (P.117)

⑦ ルートメニュー

ルートを再探索したり、ルート編集を行う画面を表示します。⑧ ルートの編集 / 登録地の編集をする (P.46)

⑧ ルート消去メニュー

ルート案内を終了します。⑨ ルート案内の終了 (P.45)

基本的な使いかた

メニューのキー配置を変更する

AVメニュー、目的地メニューのキーを入れ替えることができます。

- 目的地メニューまたはAVメニュー画面右上の□□□□をタッチする
- 移動したいキーをタッチする
AVの右側縁枠、または目的地の左側青枠は、トップメニュー画面で表示されるキーになります。
- 移動させたい位置をタッチする
キーの位置が移動して、メニューのキー配置が保存されます。
- [戻る]をタッチして前の画面に戻す

!知識

- [AV]または[目的地]タブをタッチして、AVメニューと目的地メニューを切り替えることができます。
- [操作方法]をタッチすると、操作方法の説明画面が表示されます。
- [マップコード]/[緯度・経度]/[郵便番号]など、画面下部のキーは配置を変更できません。

文字入力のしかた

文字入力の方法を切り替えることができます。キーボードを使って文字を入力するキーボード形式と、携帯電話のように文字を入力するテンキー形式の2つがあります。

登録した名称を編集する場合は、文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えることもできます。

入力方法を切り替える

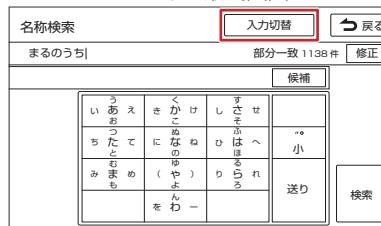
[入力切替]をタッチする

タッチするたびにキーボード形式とテンキー形式に切り替わります。

キーボード形式画面



テンキー形式画面



文字の種類を切り替える

切り替える文字の種類をタッチする

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

[切替]：タッチするたびにかな（ひらがな）/カナ（カタカナ）/英数/記号に切り替わります。

[小文字]：小文字に切り替わります。

[半角]：半角英数字または記号に切り替わります。

文字を入力する

- 入力したい文字をタッチする

- 変換する場合は、[変換]をタッチする

- 変換候補リストから単語を選んでタッチする

- [決定]をタッチする
文字の入力が確定されます。

!知識

テンキー形式画面でフリック入力の場合

- 例：「い」を入力する場合、[あ]をタッチして左側にはらいます。
- 例：「あい」を入力する場合、[あ]をタッチします。そのあと、[あ]をタッチして左側にはらいます。

テンキー形式画面でトグル入力の場合

- 例：「い」を入力する場合、[あ]をすばやく2回タッチします。
- 例：「あい」を入力する場合、[あ]をタッチします。その後、[あ]をすばやく2回タッチします。

はじめに設定しておきたいこと

利用開始日を登録する

初回起動時に本機の利用開始日を登録します。

1. [利用開始] をタッチする

利用開始日登録画面が表示されます。

2. 確認画面で [はい] をタッチする

□!知識

- [利用開始] をタッチできない場合は、車をGPSが受信できる見晴らしの良い場所、ガレージの外などに移動してください。
- [利用開始] 以外をタッチして別の画面になった場合は、車両のキースイッチを入れなおしてください。設定画面が表示されます。
- 無料地図更新については [② 地図更新について \(P.52\)](#) をご覧ください。

イージーセットアップを行う

初回起動時に、本機を使用するための初期設定を行います。イージーセットアップを行うと、自宅の登録など、本機を活用するのに必要な設定をまとめて行うことができます。

1. [イージーセットアップをはじめる] をタッチする

[次回表示する] をタッチすると、次回起動時に再度イージーセットアップ画面が表示されます。

[次回以降表示しない] をタッチすると、次回起動時からイージーセットアップ画面は表示されません。

2. 音量を設定して、[次ページへ] をタッチする

音量に関する項目を設定します。

設定項目は [④ システムの設定をする \(P.125\)](#) をご覧ください。

3. 自宅を設定して、[次ページへ] をタッチする

自宅を登録します。

操作方法は [① 自宅を登録する \(P.25\)](#) の手順3からご覧ください。

4. Bluetoothを設定して、[次ページへ] をタッチする

[機器登録] : Bluetooth® 機器を登録します。操作方法は [② Bluetooth機器を登録する \(P.26\)](#) をご覧ください。

[機器選択] : 接続する Bluetooth 機器を選択します。操作方法は [③ 登録した機器の設定をする \(P.108\)](#) をご覧ください。

5. ユーザー切替を設定して、[次ページへ] をタッチする

本機では2ユーザーの設定を保持し、切り替えることができます。

操作方法は [④ システムの設定をする \(P.125\)](#) をご覧ください。

6. オプションスイッチを設定する

コントロールパネルの< ⇧ > (オプション)ボタンに割り当てる機能をタッチします。

7. [終了] をタッチする

イージーセットアップを終了して現在地図画面が表示されます。

□!知識

- イージーセットアップをあとから行うことや、やり直すこともできます。
<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▶] → [ナビ設定] → [イージーセットアップ] をタッチしてください。
- [前ページへ] をタッチすると、前の画面へ戻ります。
- [次ページへ] をタッチすると、次の画面を表示します。
- [終了] をタッチすると、イージーセットアップを終了します。

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単にはじめることができます。

1. <メニュー>ボタンを押し、画面右側の [] をタッチして、目的地メニューで [自宅] → [はい] をタッチする

2. 自宅の検索方法を選び、画面に従って自宅を検索する

地図画面が表示されます。

3. [自宅に設定する] をタッチする

4. 名称を編集して、[決定] をタッチする

自宅の名称は編集することができます。

5. [はい] または [いいえ] をタッチする

自宅が登録されます。

[はい] をタッチすると自宅までのルートが探索されます。[⑤ ルートの探索条件を選択して案内を開始する \(P.38\)](#)

[いいえ] をタッチすると目的地メニュー画面に戻ります。

はじめに設定しておきたいこと

■!知識

- 登録した自宅の名称と電話番号は、あとからでも編集することができます。
② 登録地を編集する (P.47)
- 自宅の位置は変更することができます。登録したい場所の地点情報画面、またはスクロール画面で「[登録]」→「[自宅]」→「[はい]」→「[決定]」をタッチします。
- 自宅を登録すると、地図上にマーク（）が表示されます。
※「登録地表示」を「表示オフ」に設定している場合は表示されません。
② 地図の表示を設定する (P.34)

Bluetooth 接続中は、地図画面に Bluetooth 電話機接続中アイコンが表示されます。



Bluetooth 電話機接続中アイコン

- 「電話 1」/「電話 2」に電話機が登録されている場合に表示します。
- 電話機の電波とバッテリーの状態を表示します。
- Bluetooth 接続されていない場合は、表示されません。
- 電波とバッテリーの状態の表示は、電話機の表示と異なる場合があります。
- 電話機の機種によっては、表示されない場合があります。

Bluetooth 機器を登録する

本機は、Bluetooth® 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

Bluetooth 機器の登録について

- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、② Bluetooth 対応プロファイル (P.166) をご覧ください。
- 本機の電源を入れたときに、ハンズフリーで使用する携帯電話と接続できない場合は、携帯電話未接続案内をします。
② Bluetooth の設定をする (P.109)

■!知識

- Bluetooth 機器の操作方法は、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

[1]...	MJ322D-L	MJ322D-W
[2]...	MJ122D-W	MJ122D-A

Bluetooth 機器によっては、この画面が表示されないことがあります。



その場合は、本機のパスキーを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。

アドバイス

- Bluetooth 接続をするには Bluetooth 機能をオンにしておく必要があります。
② Bluetooth の設定をする (P.109)
- 誤登録を防ぐため、登録前に周囲の他の Bluetooth 対応機器の電源をお切りください。
- Bluetooth の登録中に車両のキースイッチ（電源ポジション）をオフにした場合、登録は中止されます。故障の原因になりますので、登録中は車両のキースイッチ（電源ポジション）をオフにしないでください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。

Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

- <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▶] → [システム設定] → [Bluetooth] → [機器登録] をタッチする
登録開始画面が表示されます。
- 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする
- Bluetooth 機器に表示される「NISSAN MJ322D」^[1]、または「NISSAN MJ122D」^[2]を選択する
- 本機の認証コードを Bluetooth 機器側で確認して登録する
登録が完了すると「Bluetooth 機器の登録が完了しました。」と表示され、登録した機器が Bluetooth で接続されます。

はじめに設定しておきたいこと

■!知識

- 本機は Bluetooth のセキュアシンプルペアリングに対応しています。
セキュアシンプルペアリングに対応した Bluetooth 機器に接続を行う場合は、画面に認証コードが表示されます。
- Bluetooth 機器から本機を選ぶときの手順 3 の名前を変えることができます。
 Bluetooth の設定をする (P.109)
- パスキーの初期設定は “0000” に設定されています。
 Bluetooth の設定をする (P.109)
- HFP、A2DP、SPP は Bluetooth のプロファイル名です。
 Bluetooth 対応プロファイル (P.166)

1台目を登録する場合

- ハンズフリー通話 (HFP) に対応している機器の場合は、「電話 1」に接続されます。
- Bluetooth オーディオ (A2DP) / スマートフォン連携 (SPP) に対応している機器の場合は、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」に接続されます。
 登録した機器の設定をする (P.108)

■!知識

2台目を登録する場合

- ハンズフリー通話 (HFP) に対応している機器の場合は、「電話 2」に接続されます。
- 2台接続した場合の発信は、はじめに発信する電話機を選択します。
 電話をかける電話機を選ぶ (P.112)
- Bluetooth オーディオ (A2DP) / スマートフォン連携 (SPP) に対応している場合は、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」の接続が 2台目に登録した Bluetooth 機器に変更されます。
 登録した機器の設定をする (P.108)
- 「電話 1」、「電話 2」、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」に接続する Bluetooth 機器はあとから変更することができます。
 登録した機器の設定をする (P.108)

■ Bluetooth 電話機を 3台目以降に登録する場合

ハンズフリー通話 (HFP) に対応している Bluetooth 電話機を 3台目以降に登録を行うと、選択画面が表示されます。
ハンズフリー通話をする場合は「電話 1」または「電話 2」に設定する必要があります。

項目	機能・操作説明
[電話 1]/ [電話 2]	発信や着信に使用します。
[接続しない]	発信や着信には使用しません。
[閉じる]	Bluetooth 機器の登録のみを行い、画面を閉じます。

■!知識

- Bluetooth オーディオ (A2DP) / スマートフォン連携 (SPP) に対応している場合は、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」の接続が登録した Bluetooth 機器に変更されます。
 登録した機器の設定をする (P.108)
- 「電話 1」/[電話 2]をタッチすると、接続していた既存の電話機は接続を解除します。
- 「電話 1」または「電話 2」どちらに設定しても、着信を待ち受けることができます。
- 「電話 1」、「電話 2」、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」に接続する Bluetooth 機器はあとから変更することができます。
 登録した機器の設定をする (P.108)

本機の Bluetooth 機能を オン / オフする

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▶] → [システム設定] → [Bluetooth] をタッチする
2. [Bluetooth] をタッチする
オフする場合は、確認画面で [はい] をタッチします。

MEMO

※使用前の確認と設定

ナビゲーション

地図画面の見かたと操作

地図の見かた	30
地図の表示を設定する	34

目的地を探す

ナビゲーションの流れ	36
行き先を探す	37

ルートの探索と案内

目的地に設定してルートを探索する	38
ルートの探索条件を選択して案内を開始する	38
ルート探索の設定	39
ルート案内画面の見かた	41
高速道路での逆走報知について	43
ルート案内の設定	44
ルート案内の終了	45

ルートの編集 / 登録地の編集をする

ルートを編集（ルート変更）する	46
登録地を編集する	47

交通情報を使う

VICS 情報を見る	48
------------	----

地図を更新する

地図更新について	52
システム情報を見る	52

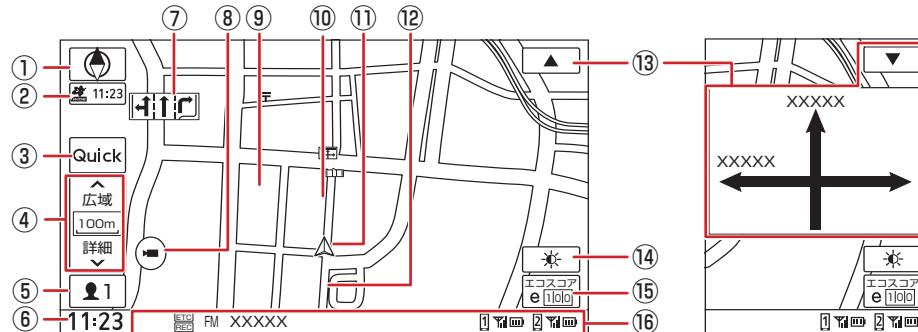
地図画面の見かたと操作

ナビゲーション

地図の見かた

現在地図画面の見かた

コントロールパネルの<現在地>ボタンを押す
現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



- ① [GPS] (コンパスキー) と GPS受信表示
針の向きで地図の方位を、円の色で GPS の受信状態を表示します。
タッチすると、地図の向きと、2D 表示 / 3D 表示を切り替えることができます。
② (2D ヘディングアップ)
: 進行方向が画面の上方向になるように表示されます。
③ (3D ビュー)
: 進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。
④ (2D ノースアップ)
: 地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

緑色の円：現在地の測位ができている状態
灰色の円：現在地の測位ができていない、または測位計算中の状態

- ② VICS 情報提供時刻
VICS 情報の提供時刻が表示されます。
③ [Quick]
タッチすると、Quick メニュー画面を表示します。よく使う機能やメニューを登録して呼び出すことができます。また、地図の 2 画面表示設定や特別メモリ地点として登録した地点を呼び出します。

知識

- 道路の表示
青紫色：高速道路・有料道路
橙色：国道
薄橙色：主要地方道
黄色：都道府県道
青色：フェリー航路
灰色：一般道路、細街路
※細街路：道幅 5.5 m 未満の道路
- 設定や縮尺により、道路の表示がされなかったり、表示色が上記と異なる色で表示されたりする場合があります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
※細街路を走行しているときは、細街路を表示します。
※細街路によっては、走行中も非表示にならないものもあります。

地図のスクロール

- ドラッグスクロール：指の動きに合わせて地図がスクロールします。
- フリックスクロール：フリックした方向に地図がスクロールします。
- ポイントスクロール：地図をタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、連続スクロールの動作になります。
- 連続スクロール：スクロールしたい方向をタッチし続けると、連続してスクロールします。タッチする位置でスクロールの速さが変わります。

地図画面の見かたと操作

④ [広域]/[詳細]

タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。
キーの間に地図の縮尺が表示されます。
縮尺表示をタッチし続けるとスライダー
バーが表示され、タッチしたままスライ
ダーべーを上下にスライドして縮尺を変
えることができます。

■!知識

- 市街地図は、100 m 以下で表示されます。
- 細街路（道幅 5.5 m 未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図の表示中は、常に細街路が表示されます。

⑤ [ユーザカスタマイズ]

ユーザー（1、2）を切り替えたり、設定をします。 [システムの設定をする\(P.125\)](#)

⑥ 時計

現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

⑦ レーン（車線）情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑧ [■]/[]

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの手動録画（■）または静止画撮影（）を行います。

■!知識

- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー（別売）を接続している場合、[ドライブレコーダー機能表示]で手動録画または静止画撮影で表示するか、表示しないか設定できます。
- 手動録画中に[■]をタッチすると手動録画を延長できます。
- 手動録画中の録画終了までの残り秒数は表示しません。

⑨ ランドマーク

目印となる施設がマークで地図上に表示されます。アイコンをタッチすると、施設名と現在地からの距離と方向（矢印）が表示されます。

表示される画面で[詳細]をタッチすると詳細な情報が表示されます。 [スクロールしたときの地図表示\(P.33\)](#)

⑩ 案内地点

：方面看板の案内地点が表示されます。
：レーン情報の案内地点が表示されます。

⑪ (自車マーク)

自車位置と進行方向を示します。

⑫ 走行軌跡

これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。
また、走行軌跡のデータを消去することもできます。 [地図の表示を設定する\(P.34\)](#)

■!知識

- お買い上げ時は、走行軌跡の表示は OFF に設定されています。

⑬ 方面看板

方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。方面看板をタッチすると非表示になります。非表示になると右上に[▲]が表示され、タッチすると方面看板をもう一度表示します。

⑭ [] (明るさアップキー)

車のライト点灯時に表示され、画面の明るさを切り替えます。

■!知識

- 地図色昼夜切替が「時刻連動」に設定され、地図色が夜色のときは表示されません。

⑮ 簡易エコスコア

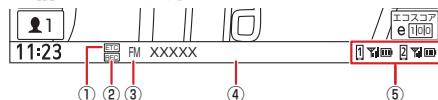
エコスコアを簡易的に表示しています。
タッチすると、エコスコア画面が表示されます。 [エコ運転診断を確認する\(P.123\)](#)

⑯ 情報バー

接続中の Bluetooth 電話機や選択している AV ソースなどの情報や現在地の住所などを表示します。

地図画面の見かたと操作

■情報バーの表示について



① ETCカードの状態表示^[1]

- ETC : 有効期限内
- ETC : 有効期限切れ

!知識

- ETCカードの状態は、ETC2.0車載器（別売）接続時に表示されます。

② RECアイコン^[1]

- 音楽CDを録音中に表示されます。
② 音楽CDを録音する (P.85)

③ AVソースアイコン

- 現在のAVソースが表示されます。

④ 現在地住所情報またはAV情報表示

- 現在の自車位置の住所またはAVソースの情報が表示されます。どちらを表示するかは「情報バー表示」で変更することができます。
② 地図の表示を設定する (P.34)

!知識

- お買い上げ時は、「住所」に設定されています。
- 「AV」を設定していても、AVソースが未選択、[VTR]*、[AUX]、または [ドライブレコーダー]*の場合は、住所情報が表示されます。

[1]… MJ322D-L MJ322D-W のみ

★ オプションの装着により異なります。

⑤ Bluetooth電話機の接続表示

現在接続中のBluetooth電話機の電波受信状態とバッテリー残量が表示されます。2台まで表示されます。
② Bluetooth機器の登録について (P.26)

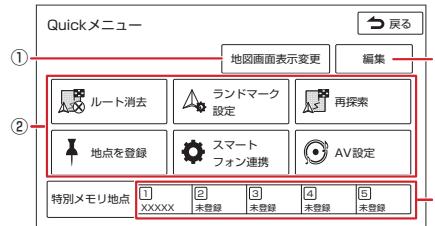
!知識

- Bluetooth電話機の電波受信状態とバッテリー残量は、電話機の表示と異なる場合があります。

■Quickメニュー画面について

[Quick]をタッチする

Quickメニュー画面を表示します。



① [地図画面表示変更]: 地図表示変更の選択画面が表示されます。

[地図1画面]: 現在地図画面が表示されます。

[地図2画面]: 左右にそれぞれ別の縮尺の地図画面を表示できます。

[地図&AV画面]^[1]: 現在地図画面とAV画面が表示されます。

[走行軌跡の表示]: 走行軌跡表示のオン/オフを設定します。

[ハイウェイモード]: ハイウェイモード画面のオン/オフを設定します。

[ルート表示]: ルートの全表示画面を表示します。

[VICS情報表示]: VICS情報表示画面を表示します。

② [Quick1]～[Quick6]

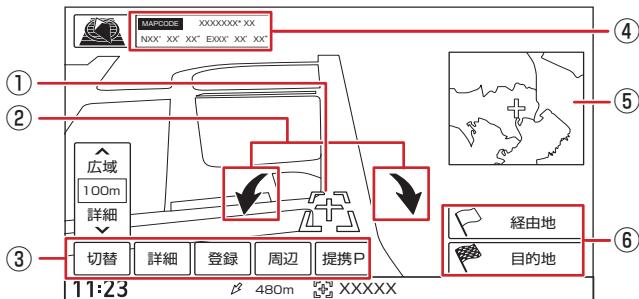
設定されているメニューを表示します。

③ [編集]: Quickメニュー設定画面を表示します。設定するキーにタッチして登録する機能を選択します。

④ 特別メモリ地点 [1]～[5]

あらかじめ登録した地点を目的地に設定して、ルート案内を開始します。

スクロールしたときの地図表示



① (カーソル)
地図画面の中心点に表示されます。

② (地図回転キー)
3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心で地図を回転できます。

③ [切り替]：複数のランドマークが重なっている場合にタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。

[詳細]：地点詳細情報画面を表示します。

[登録]：カーソルのある地点を登録します。本機には1ユーザーにつき300件まで地点を登録できます。

[周辺]：周辺の施設を検索します。

[提携P]：カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

④ マップコードと緯度・経度表示
マップコードと緯度・経度を表示するようになります。

⑤ 地図の表示を設定する (P.35)

知識

- マップコードとは、日本全国の緯度経度を数値化した番号です。マップコードから行き先を探すこともできます。

⑥ フライビューマップ
スクロールした地点を広域地図で表示します。フライビューマップは表示しないようにすることもできます。

⑦ 地図の表示を設定する (P.34)

⑧ [目的地]：カーソルのある地点を目的地に設定します。

[経由地]：カーソルのある地点を経由地に設定します。

■ 地点詳細情報画面を表示する

[詳細] をタッチする
地点の詳細情報を表示します。



知識

- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。
- 施設に電話番号情報があり、ハンズフリー通話が可能なときは（Bluetooth接続中）は [] をタッチして電話をかけることができます。

地図画面の見かたと操作

地図の表示を設定する

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼]→[ナビ設定]→[表示]をタッチする
地点のアイコンなど、地図に表示させるものに関する設定ができます。

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	機能・操作説明	
[地図色／文字サイズ]	地図色	地図色（1*/2）を設定します。
	文字サイズ	文字サイズ（小／中／大*）を設定します。
	地図色昼夜切替	時刻連動*：GPSから取得した自車位置と日付、時刻をもとに自動で地図画面の配色を切り替えます。 昼色に固定：常に昼色の地図を画面に表示します（昼画面）。 夜色に固定：常に夜色の地図を画面に表示します（夜画面）。 ライト連動：車のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。（ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色）。
[ランドマーク設定]	地図に表示するランドマークの表示パターンを3つまで登録します。 設定する[パターン1]～[パターン3]をタッチし、表示するランドマークのジャンルを設定します。	
[登録地表示]	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリーをタッチします。 もう一度タッチすると選択を解除します。 [表示オフ]をタッチすると全て表示しません。	
[自車マーク]	自車マークのデザイン（△*/○）を設定します。	
[走行軌跡の表示]	走行軌跡のON（表示する）、OFF*（表示しない）を設定します。 走行軌跡は、現在地より過去1000kmの軌跡を保存します。1000kmを超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。 走行軌跡の間隔は、約100m単位になります。地図の縮尺により表示される間隔は変わります。	
[走行軌跡を消去]	保存されている走行軌跡を消去します。	
[地図の向き]	地図の向き（ノースアップ／ヘディングアップ*/3Dビュー）を設定します。	
[地図の向き（小画面）]	小画面での地図の向き（ノースアップ／ヘディングアップ／3Dビュー*）を設定します。	
[フライビューマップ表示]	フライビューマップのON*（表示する）、OFF（表示しない）を設定します。	

地図画面の見かたと操作

項目	機能・操作説明
[100m 縮尺での市街地図表示]	100m 縮尺で市街地図の ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。OFF にすると 50m 以下で市街地図が表示されます。
[情報バー表示]	住所* に設定すると現在地図画面の情報バーに現在地の住所を表示します。 AV に設定すると再生中の曲やラジオなどの放送局名などを表示します。
[冠水注意ポイント表示]	冠水注意ポイント () の ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 縮尺が 200 m 以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 冠水注意ポイント表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
[市街地図での冠水注意ポイント表示]	上記の「冠水注意ポイント表示」を“ON”に設定しているときに、市街地図でも冠水注意ポイントの ON (表示する)、OFF* (表示しない) を設定します。
[ドライブレコーダー機能表示]★	別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを本機に接続している場合、現在地図画面にドライブレコーダーの手動録画キーまたは静止画撮影キーを表示するか、表示しないを設定します。
[エコ運転診断機能を表示]	現在地図画面でエコ運転診断機能の ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。
[マップコード表示]	スクロールしたときの地図や地点表示にマップコードの ON (表示する)、OFF* (表示しない) を設定します。 ➡ スクロールしたときの地図表示 (P.33)
[緯度・経度表示]	スクロールしたときの地図や地点表示に緯度・経度の ON (表示する)、OFF* (表示しない) を設定します。 ➡ スクロールしたときの地図表示 (P.33)
[現在地修正]	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。 [決定] をタッチする前なら、[位置を修正] または [向きを修正] をタッチして、何度も自車位置や向きを修正することができます。

★ オプションの装着により異なります。

ナビゲーションの流れ

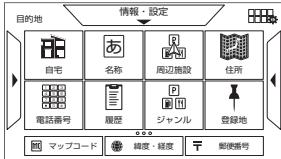
①

行き先を探す

[目的地] 画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。

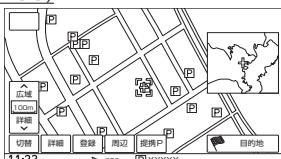
② 行き先を探す (P.37)



地図画面から

地図をスクロールして行き先を探します。

③ 現在地図画面の見かた (P.30)



②

行き先に設定する

[目的地] をタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。

④ 目的地に設定してルートを探索する (P.38)



!!知識

- 経由地は、目的地を設定したあとに設定することができます。

⑤ 現在のルートを編集する (P.47)

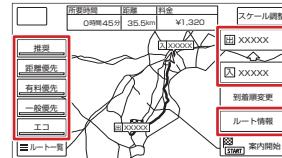
③

ルートを設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。

⑥ ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.38)



④

案内を開始する

[案内開始] をタッチする

ルート案内がはじまります。



ルート案内を開始したあとは

● 経由地の設定・入れ替え

途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。

⑦ 現在のルートを編集する (P.47)

● ルート消去

ルート案内を中止します。

⑧ ルート案内の終了 (P.45)

● ルート探索の設定変更

ルート探索の設定を変更できます。⑨ ルート探索の設定 (P.39)

[ルート情報]

選択したルートの情報を確認します。

行き先を探す

本機の目的地メニュー画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探すことができます。

<メニュー>ボタンを押し、画面右側の [] をタッチして、目的地メニュー画面から選択する

項目	機能・操作説明
[自宅]	現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。 あらかじめ自宅の登録が必要です。⇒ 自宅を登録する (P.25)
[名称]	施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。
[周辺施設]	現在地やルート沿いの周辺施設をジャンルで探します。
[住所]	住所から行き先を探します。
[電話番号]	電話番号を入力して行き先を探します。 入力した電話番号に該当する施設が複数ある場合は、施設リストが表示されます。 訪問宅（個人宅）の検索はできません。
[履歴]	今までにルートを探索した行き先から探します。 検索履歴画面で [消去] をタッチすると、履歴を消去することができます。
[ジャンル]	食事やショッピングなど、ジャンルで行き先を探します。
[登録地]	本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。 登録したい場所の地点情報画面、またはスクロール画面で [登録] をタッチすると、新しく登録地を設定できます。
[マップコード]	マップコードを入力して行き先を探します。 マップコードに関する情報は、マップコードのホームページをご覧ください。 https://www.denso-solution.com/mapcode/index.html
[緯度・経度]	緯度・経度を入力して行き先を探します。 緯度・経度は、日本測地系の数値を入力してください。 本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系の緯度・経度には対応しておりません。
[郵便番号]	郵便番号を入力して行き先を探します。

BOOK!知識

- スマートフォンアプリケーションの「NaviCon」を利用して目的地を設定することもできます。
詳しくは ⇒ [NaviCon の操作 \(P.115\)](#) をご覧ください。
- 施設に電話番号情報があり、ハンズフリー通話が可能なとき（Bluetooth 接続中）は [] をタッチして電話をかけることができます。
- 検索した施設に提携駐車場がある場合は、[提携 P] が表示されます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定することができます。

ルートの探索と案内

目的地に設定してルートを探索する

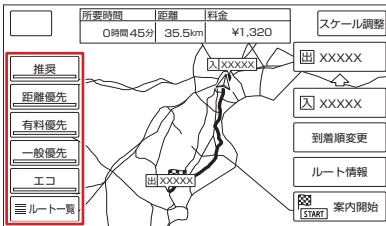
検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

- ① 行き先を探す（P.37）で目的地を設定する
地点情報画面が表示されます。
- 【目的地】をタッチする
表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索がはじまります。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1. ルートの探索条件をタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および入口と出口の IC 名が表示されます。



2. 【案内開始】をタッチする

ルート案内が開始されます。

② ルート案内画面の見かた（P.41）

目的地に到着すると、自動的にルート案内を終了します。

ルートの探索条件	説明
[推奨]	本機が推奨するルートです。
[距離優先]	走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。
[有料優先]	高速道路・有料道路を優先的に通るルートです。
[一般優先]	一般道路を優先的に通るルートです。一般道路だけで目的地に到達できない場合は、高速道路・有料道路を通るルートになることがあります。
[エコ]	高速道路・有料道路を使用し、一般道路では走行距離が短くなるルートです。
[ルート一覧]	全ての条件でルートを探索します。各条件のルートを比較することができます。

!!知識

- 【xxxxx】 / 【xxxxx】をタッチすると、利用するインターチェンジを変更します。高速道路・有料道路を使用するときに表示されます。
- 目的地を設定したあと【案内開始】をタッチする前に走行すると、ルート案内を開始します。

VICSによるルート探索について

- VICS 規制情報（通行止めなど）を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所に近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。
- 渋滞のある箇所に近づいたら、渋滞情報をもとに最適時間を考慮したルートが探索されます。

!!知識

- [スケール調整]をタッチすると、地図を拡大、縮小、スクロールできます。[戻る]をタッチすると、元の画面に戻ります。
- [ルート情報]をタッチすると、選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

ルート探索の設定

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [ナビ設定] → [探索] をタッチする
各種探索条件やルート学習など、ルートの探索に関する設定ができます。

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[目的地設定時に利用する初期探索条件]	目的地設定時に利用する初期探索条件（推奨*、距離優先、有料優先、一般優先、エコ）を設定します。 ➡ ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.38)
[探索条件の補足設定]	[道幅を考慮した探索]
	なるべく広い道路を通るようにするかどうか、考慮する度合い（1～3*～5）を設定します。 高い値に設定するほど、狭い道路は使用しにくくなります。
	[渋滞情報を考慮した探索]
	VICS の渋滞情報を考慮した渋滞回避のしやすさ（1～2*～4）を設定します。 高い値に設定するほど、渋滞を考慮した設定になります。
	[スマート IC を利用した探索]
	スマート IC を利用した探索の ON（探索する）、OFF*（探索しない）を設定します。 ※ スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。
	[フェリーを利用した探索]
	フェリーを利用した探索の ON（探索する）、OFF*（探索しない）を設定します。 ※ [OFF] に設定しても、フェリー航路をルートに選ぶ場合があります。陸路のルートに修正したい場合は、陸路に経由地を設定して再度ルート探索してください。
[季節規制を考慮した探索]	季節ごとの道路規制（冬季通行止めなど）を考慮した探索の ON*（探索する）、OFF（探索しない）を設定します。
[時間規制道路を考慮した探索]	時間ごとの道路規制を考慮した探索の ON*（探索する）、OFF（探索しない）を設定します。
[ルート学習結果を利用した探索]	自宅から半径 3km 以内でナビゲーションが案内するルートと違うルートを数回走行すると、実際に走行するルートをナビゲーションが学習します。ルート探索時、このルート学習結果を利用した探索の ON*（ルート学習結果を使用する）、OFF（ルート学習結果を使用しない）を設定します。
[ルート学習結果の初期化]	ルート学習結果を初期化します。タッチするとメッセージが表示されます。 [はい] をタッチすると初期化が開始されます。
[到着予想時刻用の平均速度：高速道]	高速自動車国道走行時の到着予想時刻を計算する平均速度(20～80*～120km/h)を設定します。

ルートの探索と案内

項目	説明
[到着予想時刻用の平均速度：有料道]	高速自動車国道以外の有料道路走行時の到着予想時刻を計算する平均速度（20～60*～120km/h）を設定します。
[到着予想時刻用の平均速度：一般道]	一般道路走行時の到着予想時刻を計算する平均速度（20～30*～80km/h）を設定します。
[到着予想時刻用の平均速度初期化]	全ての平均速度を初期設定に戻します。タッチするとメッセージが表示されます。[はい] をタッチすると初期化が開始されます。
[料金表示]	本機の料金表示をどの車種の料金で表示するか設定します。 ※日産販売会社で設定済みの場合があります。

図!知識

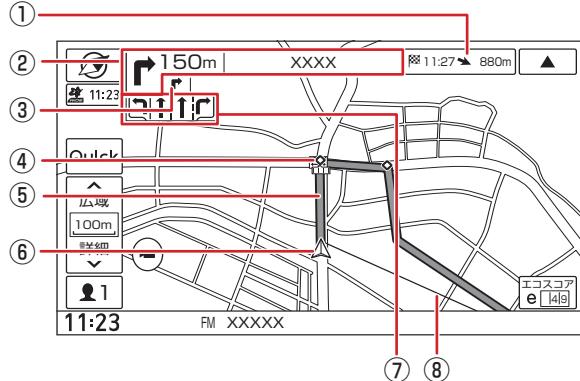
- ルート案内中に探索条件や探索設定を変更し [戻る] をタッチ、または <現在地> ボタン、<AV> ボタン、<メニュー> ボタンを押すと、変更した探索条件で再探索を開始します。

探索条件について

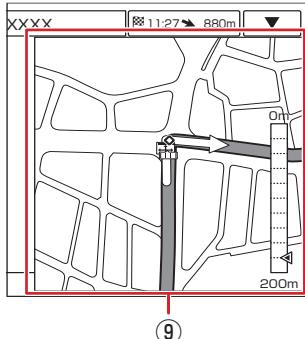
- 有料道路を優先しない探索条件を設定しても、有料道路を使用したルート探索をすることがあります。

ルート案内画面の見かた

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。



一般道路の場合



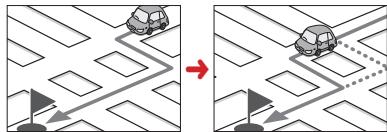
高速道路の場合

アドバイス

- 本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

知識

- 案内中のルートから外れた場合、オートリート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



ルートの探索と案内

① 到着予想時刻と距離

目的地または経由地への到着予想時刻と距離が表示されます。

経由地を設定している場合は、この表示をタッチするたびに、目的地または次の経由地に切り替わります。

② 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

③ 次々案内ポイント情報

次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

④ ◆案内ポイント

割り込み表示が行われる地点を示します。

⑤ 案内ルート

目的地または経由地までのルートです。
道路の種類（一般道路／高速道路・有料道路／細街路）によって色分けして表示されます。

一般道路：緑色

高速道路・有料道路：水色

細街路：ピンク色

⑥ 自車位置マーク

自車位置と進行方向を示します。

⑦ レーン情報表示

(白色矢印) : 案内レーン

(水色矢印) : 推奨通過レーン

⑧ 目的地方向表示

目的地の方向が直線で表示されます。

⑨ 案内ポイントの割り込み表示

交差点案内図、または「ここです案内」が表示されます。

⑩ ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

分岐イラスト、または「ここです案内」が表示されます。

⑪ 規制情報表示

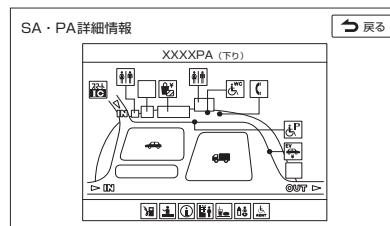
車線規制などの情報（VICS 情報規制表示）が 3 件までマークで表示されます。

マークをタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報をタッチすると詳細情報を表示します。

⑫ 施設名称 / 施設案内表示

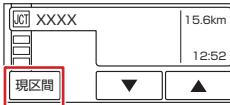
進行方向にあるインターチェンジ（IC）／ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。

施設情報に表示される設備のマークは、最大 8 個です。SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。



⑬ スクロールキー / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると[現区間]が表示されます。[現区間]をタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。



⑭ 交通情報表示

施設間の渋滞・混雑情報が以下の色で表示されます。

灰色：順調、橙色：混雑、赤色：渋滞

!!知識

- 施設間の渋滞・混雑情報が取得できていない場合は、灰色の表示となります。

ルートの探索と案内

高速道路での逆走報知について

高速道路で逆走してしまったときに、画面表示と音声で運転者にお知らせします。

■画面表示

逆走報知画面は<現在地>ボタンを押す、または[閉じる]をタッチすると表示を解除できます。



■音声案内

案内の種類	音声
逆走報知	逆走しています。

Q!知識

- 下記のような条件などの場合には、画面表示、音声で報知しないことや、報知内容が実際の状況と異なることがあります。
 - 走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近における逆走
 - 周囲に分岐・合流のない本線道路上の U ターン
 - ダッシュボードの上にものを置いたなど GPS 信号が受信できない場合
 - トンネルなどの遮断により GPS 信号が受信できない場合
 - 高架橋下や高層ビルの間など GPS 信号が正しく受信できない場合
 - 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できない場合
 - 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行の場合

△ 注意

- 高速道路での逆走報知機能は状況によって、報知しないことや報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走をしてしまった場合は安全を確保したうえで、高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。

ルート案内の設定

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [ナビ設定] → [案内] をタッチする
ルート案内画面や案内音声など、ルートの案内に関する設定ができます。

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[案内音声音量の車速連動]	案内音量設定と車速に応じて、案内音量を自動で調整する機能の ON* (調整する)、OFF (調整しない) を設定します。
[案内警告音の出力]	案内警告音の ON* (出力する)、OFF (出力しない) を設定します。
[ルート案内音声の出力]	ルート案内時またはVICS情報の案内音声の ON* (出力する)、OFF (出力しない) を設定します。
[合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力]	常に OFF : 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON : ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON* : 音声を出力します。
[ETC料金の表示] ^[1]	ETC利用料金表示の ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。
[車線情報の表示]	レーン情報の ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 → 現在地図画面の見かた (P.31)
[方面看板の表示]	方面看板の ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 → 現在地図画面の見かた (P.31)
[分岐イラストの表示]	分岐イラストの ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。
[交差点拡大図の表示]	交差点拡大図の ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。
[ハイウェイモードの表示]	ハイウェイモードの ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。
[ここです案内表示]	「ここです案内」表示を設定します。 OFF* : 表示しません。 一般道のみ ON : 一般道路のみ表示します。 ON : 表示します。
[ETCレーンの表示]	料金所に近づいたときにETCレーン案内の ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。
[AV画面表示中の案内割り込み]	AV画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面の ON* (割り込みする)、OFF (割り込みしない) を設定します。

[1]… **MJ322D-L** **MJ322D-W** のみ

ルートの探索と案内

項目	説明
[休憩案内]	電源オン状態のままで2時間経過すると休憩をうながす音声案内（「休憩しませんか。」）のON*（音声案内する）、OFF（音声案内しない）を設定します。
[高速道での逆走報知]	高速道路上、SA/PA、IC、JCTで逆走してしまったときに、画面表示と音声で運転者にお知らせする逆走検知のON*（お知らせする）、OFF（お知らせしない）を設定します。 →高速道路での逆走報知について（P.43）
[AVスイッチで案内音声の取り消し]	案内音声を出力しているときに、<AV>ボタンを押したときの音声案内のON（音声案内を中止する）、OFF*（音声案内を中止しない）を設定します。

■!知識

- 各案内表示や音声は、地図データベース作成当時のものです。
 - データが収録されていない場所／交差点では、各案内は行われません。
 - 案内された内容が実際とは異なる場合があります。
- GPS衛星から電波が受信できなかったりGPSデータの誤差が大きいなどにより、現在地が正しく測位ができなかったりする場合は、各案内が正常に行われません。

ルート案内の終了

ルート案内を終了します。

1. <メニュー>ボタンを押し、[ルート消去]をタッチする
 2. 確認画面で[はい]をタッチする
- ルート案内が終了します。

■!知識

- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートの編集 / 登録地の編集をする

ルートを編集（ルート変更）する

ルート編集画面を表示する

<メニュー>ボタンを押し、[ルート]をタッチする
ルートの編集などをします。

項目	機能・操作説明
[ルート編集]	経由地の追加、順番の入れ替え、消去、区間ごとの探索条件の設定など、ルートの編集をします。 → 現在のルートを編集する (P.47)
[ルートの全表示] [スケール情報] [ルート調整] [デモ走行]	案内中のルート全体や、ルート情報を表示します。また、デモ走行を確認できます。
[ルート消去]	ルート案内を終了します。
[再探索]	現在地から、探索条件を変更して、ルートを再探索します。 探索条件を選んで [案内開始] をタッチするとルート案内が開始されます。 ルートに IC (インターチェンジ) がある場合は、利用する IC を変更できます。 変更したい IC 名をタッチし、入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして [この IC に変更] → [案内開始] をタッチします。
[目的地表示]	目的地、経由地付近の地図画面を表示します。

ルートの編集 / 登録地の編集をする

現在のルートを編集する

<メニュー>ボタンを押し、[ルート] → [ルート編集] をタッチする

設定されているルートの目的地や経由地、探索条件を変更できます。



① 経由地

経由地の消去や到着順の変更、位置の修正などができます。

② 目的地

目的地の消去や到着順の変更、位置の修正などができます。

③ [挿入]

選択した行き先の到着順を変更します。

④ [戻る]

確認メッセージが表示されます。

[はい] をタッチすると、ルートの編集を中止し、前の画面に戻ります。

⑤ [消去]

選択した行き先を消去します。

⑥ [変更]

行き先までのルートについて、ルート探索の条件を変更できます。

⑦ [経由地追加]

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は5か所まで追加できます。

⑧ [やり直す]

到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

⑨ [再探索]/[決定]

編集した内容で再度ルート探索を行います。

登録地を編集する

自宅や特別メモリ地点など登録した地点の編集ができます。

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼] → [ナビ設定] → [登録地編集] をタッチする

項目	機能・操作説明
[登録地編集]	自宅や特別メモリ地点、グループに登録した地点の名称や電話番号の編集とグループを変更します。 編集したいグループ名→地点をタッチして、編集する項目を選択します。 [名称]：名称を編集します。 [グループ]：グループを変更します。 [電話番号]：電話番号を設定および変更します。
[グループ名編集]	登録した地点のグループ（登録先）のグループ名編集します。
[グループアイコン変更]	登録した地点のグループ（登録先）のグループアイコンを変更します。
[登録地消去]	登録した地点を消去します。 消去したい地点のあるグループ名→地点をタッチし☑（チェックマーク）を付けたあと、[消去] → [はい] をタッチします。

交通情報を使う

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS (Vehicle Information and Communication System) は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

■ VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル（種類）があります。

- **レベル 1（文字型情報）**
情報が文字で表示されます。
- **レベル 2（簡易图形型情報）**
情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3（地図表示型情報）**
情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

■ VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送（NHK-FM）を通じて、VICS の情報を受信することができます。
また、2015 年 4 月に開始された VICS サービス（FM 多重放送「VICS WIDE」）に対応しています。

■ VICS 情報利用上のご注意

以下の点に注意してご利用ください。

- FM 多重放送
 - 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
 - サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、マルチバスなどによる）では、受信困難になることがあります。
 - 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります）。
 - FM 放送時間外は利用できません。

地図に表示される VICS 情報

□!知識

- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<https://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときは、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。
- 気象・災害情報を受信した場合は、そのエリアを危険度により赤色または黄色で表示します。
地図の縮尺によっては地図画面が赤色または黄色で表示されることがあります。

■ 交通情報表示

渋滞情報	統計情報による渋滞線（点線）	交通状況：色
		渋滞：赤色
		混雑：橙色
		青色：順調

■ 駐車場情報表示

駐車場情報	混雑状況：色
	満車：赤色
	混雑：橙色
	空車：青色
	不明：黒色

地図上の VICS 情報を見る

地図画面に表示された VICS の規制情報と駐車場情報マークから、詳しい情報を確認します。

- 規制情報または駐車場情報のマークをタッチする

地点情報表示に規制情報または駐車場情報が表示されます。

緊急情報の割り込み表示

■ VICS サービスによる緊急割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機の全ての画面に割り込み表示されます。

■!知識

- VICS 図形情報や文字情報の割り込み表示をオフに設定している場合でも表示されます。
- 緊急情報表示は [閉じる] をタッチするまで表示されます。
- 注意警戒情報表示は、約 15 秒経過すると自動的に消えます。

■「VICS WIDE」サービスによる緊急割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機の全ての画面に割り込み表示されます。

- [詳細] : 緊急情報（特別警報）の詳細を表示します。
[閉じる] : 緊急情報（特別警報）を画面の下部に表示します。

VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

- <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [情報] → [渋滞情報] をタッチする
- [文字情報]/[図形情報]/[緊急情報] から表示したいものを選んでタッチする

FM 多重放送の選局をする (VICS 受信)

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼] → [情報] → [渋滞情報] → [周波数設定] をタッチする
周波数設定画面が表示されます。

項目	機能・操作説明
自動選局	自動で放送局をサーチして、選局します。 [自動] の <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けると自動選局となり、外すと自動選局が解除されます。
手動選局	放送局周波数を手動で変更して選局する方法です。[◀]/[▶] をタッチし、放送局周波数を変更してください。
エリア選局	現在地周辺の放送局リストから選局する方法です。[リスト] をタッチし、放送局リストから選局してください。
プリセット選局	あらかじめプリセットキーに登録しておいた放送局を選局する方法です。プリセットキーから選局してください。

図!知識

- 広域移動する場合は自動選局が便利です。県境付近を移動中で FM VICS を自動変更されたくない場合などは、手動選局が便利です。
- 電波が強くなければ VICS 情報は受信できません。音声放送が聞けたとしても、VICS 情報は受信できない場合があります。
- 自動選局に設定中は、手動選局は操作できません。自動選局を解除してから操作してください。
- 自動選局に設定中に、エリア選局またはプリセット選局のいずれかで選局操作をした場合、自動選局は自動的に解除されます。
- 自動選局に設定中は、受信中の電波が弱くなると自動的に電波の強い周波数（放送局）に切り替えます。

手動選局について

- [◀]/[▶] をタッチするたびに 0.1 MHz ずつ放送局周波数が変わります。タッチしたままにすると、0.1 MHz ずつ連続的に変わります。

■ プリセットキーに放送局を登録する

- 周波数設定画面で登録したい放送局を手動選局またはエリア選局で選局する
- 登録先のプリセットキーを選んでピッと音がするまで 2 秒以上タッチし続ける
選局中の放送局周波数が上書きで登録されます。

図!知識

- 放送局を 3 局まで登録できます。
- 自動選局に設定している場合は解除してください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始め、登録する前に周波数が変わってしまう場合があります。

VICS 情報の表示設定をする

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [ナビ設定] → [渋滞情報] → [VICS 情報表示] をタッチする
地図上に表示させたい VICS 情報に □ (チェックマーク) を付けます。

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	機能・操作説明
[渋滞 / 混雑 / 順調線の表示方式]	高速道路・有料道路、一般道路の渋滞 / 混雑 / 順調線表示、および統計情報による高速道路・有料道路、一般道路の渋滞 / 混雑 / 順調線表示の点滅*、点灯を設定します。
[渋滞 / 混雑線の表示：高速道]	高速道路・有料道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
[渋滞 / 混雑線の表示：一般道]	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
[順調線の表示：高速道]	高速道路・有料道路の順調情報を地図上に表示する、表示しない*を設定します。
[順調線の表示：一般道]	一般道路の順調情報を地図上に表示する、表示しない*を設定します。
[渋滞 / 混雑線（統計）の表示：高速道]	統計情報による高速道路・有料道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
[渋滞 / 混雑線（統計）の表示：一般道]	統計情報による一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
[順調線（統計）の表示：高速道]	統計情報による高速道路・有料道路の順調情報を地図上に表示する、表示しない*を設定します。
[順調線（統計）の表示：一般道]	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示する、表示しない*を設定します。
[規制情報の表示]	交通規制情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
[駐車場情報の表示]	駐車場情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。

図!知識

- [表示オフ] をタッチすると全ての VICS 情報が表示されなくなります。

地図を更新する

地図更新について

- 本機では、車両初年度登録日より3年の間に、日産販売会社（ディーラー）で点検入庫時（安心6か月点検、法定12か月点検、初回車検）に限り、全国地図更新を無料で3回ご利用いただけます。
(レンタカー、自家用貨物自動車は、期間内の法定6か月点検も含みます。)
※無料地図更新での更新可能な地図データは2025年第02版までとなりますので、ご了承ください。
- 全国地図更新は、日産販売会社にて取り扱う更新となります。詳しくは日産販売会社へご相談ください。

知識

- 地図更新ではEV充電スポットなどの収録情報も更新されます。

システム情報を見る

本機のソフトウェアのバージョン、ナビゲーションID、地図データに関する情報を表示します。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼]→[情報]→[システム情報]をタッチする

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータの情報を確認します。

項目	説明
利用開始日	利用開始日を表示します。
地図データバージョン	地図データバージョンを表示します。
無料地図更新(1回目)	無料地図更新(1回目)の有効期間を表示します。
無料地図更新(2回目)	無料地図更新(2回目)の有効期間を表示します。
無料地図更新(3回目)	無料地図更新(3回目)の有効期間を表示します。
地図データクーポン	地図データクーポンの有効期間を表示します。
ナビゲーションバージョン	ナビゲーションバージョンを表示します。
ナビゲーションID	ナビゲーションIDを表示します。
地図更新ID	地図更新IDを表示します。

オーディオ・ビジュアル

オーディオ・テレビの基本操作

ソースを切り替える	55
AVの画質を調整する	56
同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能	58
AV の設定をする	58
その他のサウンド設定をする	60
目的地 / 自宅接近時の AV 音量ダウンを設定する	62

ラジオを聞く

ラジオで交通情報を聞く	63
FM/AM 放送を聞く	63
プリセットモードを切り替える	64

テレビを視聴する

テレビを表示する	65
放送局を登録（プリセット）する	67
番組表を見る	67
データ放送を見る	69
テレビの設定をする	71
緊急警報放送について	71

CD・オーディオファイルディスクを使う

ディスクを入れる / 取り出す	72
CD・オーディオファイルディスクを再生する	73

DVD を再生する

DVD を見る	75
DVD の設定をする	77

USB メモリー / SD カード / iPod / Bluetooth オーディオ機器を使う

USB メモリーを接続する	78
SD カードを入れる / 取り出す	78
iPod を接続する / 取り外す	79
Bluetooth オーディオ機器を使用する	80
再生する	81
オーディオファイルを再生する	81
ビデオファイルを再生する	82
再生リストについて	83

(次のページに続く)

オーディオ・ビジュアル

REC Audio を使う

音楽 CD を録音する	85
録音設定をする	86
REC Audio の音楽を聞く	86
録音した曲を消去する	88
Gracenote データベースを更新する	88
録音した曲のタイトル情報を修正する	89

外部機器の接続

外部機器の映像を見る / 音声を聞く	90
--------------------	----

オーディオ・テレビの基本操作

ソースを切り替える

<メニュー>ボタンを押し、画面左側の [>] をタッチし、AV メニューを表示する
AV メニュー画面でソース（音源）を切り替えます。

[iPod]	iPod/iPhone の曲を再生します。⇒ 再生する (P.81)
[SD]	SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。⇒ 再生する (P.81)
[FM/AM]	FM/AM ラジオ放送を受信します。⇒ FM/AM 放送を聞く (P.63)
[TV]	地上デジタル TV 放送を受信します。⇒ テレビ画面を表示する (P.65)
[USB]	USB メモリーのオーディオ / ビデオファイルを再生します。⇒ 再生する (P.81)
[Bluetooth Audio]	本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。⇒ 再生する (P.81)
[CD/DVD] ^[1]	市販のオーディオ CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。 ⇒ 曲を再生する (P.73) 、⇒ DVD を再生する (P.75)
[REC Audio] ^[1]	本機で録音した音楽 CD の曲を再生します。⇒ REC Audio の音楽を聴く (P.86)
[VTR] *	本機に接続した外部映像機器のソースに切り替えます。⇒ 外部機器を再生する (P.90)
[ドライブレコーダー] *	別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー / ドライブレコーダーを本機に接続している場合、接続したドライブレコーダーの画面に切り替えます。⇒ 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見る (P.96) 、⇒ ドライブレコーダーの映像を見る (P.102)
[AUX] ^[3]	本機に接続した外部オーディオ機器のソースに切り替えます。⇒ 外部機器を再生する (P.90)
[交通情報]	交通情報を受信します。⇒ ラジオで交通情報を聞く (P.63)

!!知識

- CD または DVD^[1] を挿入すると、ソースが「CD/DVD」^[1] または「CD」^[2] に切り替わり再生がはじまります。
- CD または DVD^[1] ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。
- 別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー / ドライブレコーダーを接続している場合、「VTR」が「ドライブレコーダー」表示になります。

[1]… [MJ322D-L](#) [MJ322D-W](#)

[2]… [MJ122D-W](#) [MJ122D-A](#)

[3]… [MJ322D-W](#) [MJ122D-W](#) のみ

★ オプションの装着により異なります。

AV の画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

1. 調整したい画面を表示し、<現在地>ボタンを押し続ける
2. [-] または [+] をタッチして調整 (-4 ~ +4) する

項目	機能・操作説明	
明るさ	画面の明るさを調整します。	[+] : 明るくなります。 [-] : 暗くなります。
コントラスト	コントラストを調整（強弱）します。	[+] : 白さが増します。 [-] : 黒さが増します。
ブライトネス	映像の明るさを調整します。	[+] : 明るくなります。 [-] : 暗くなります。
黒レベル	黒い部分の明るさを調整します。	[+] : 明るくなります。 [-] : 暗くなります。
色の濃さ	色の濃淡を調整します。	[+] : 色が濃くなります。 [-] : 色が淡くなります。
色合い	色合いを調整します。	[+] : 赤みが強くなります。 [-] : 緑みが強くなります。
アスペクト	画面に表示する映像のサイズを変更します。	❸ 映像の画面表示サイズを変更する (P.57)

画面によって調整できる項目が異なります。調整できる項目は次のとおりです。

	明るさ	コントラスト	ブライトネス	黒レベル	色の濃さ	色合い
DVD、SD または USB ソースのビデオファイル再生画面 TV ソースの画面	○	○	○	○	○	—
VTR*または ドライブレコーダー*ソースの画面 バックビューモニター*の画面	○	○	○	○	○	○

■!知識

- 「明るさ」、「黒レベル」以外の項目はソースごとに設定されます。
- 「明るさ」、「黒レベル」は、全ての画面に共通で設定されます。
- 明るさ調整は、車のライト点灯時と消灯時で別々に設定できます。
- 地図画面などの調整項目は ❸ 画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.22) をご覧ください。
- [⇠ 戻る] をタッチすると前の画面に戻ります。

★ オプションの装着が必要です。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

1. サイズを変更する映像ソース画面を表示する
2. <現在地>ボタンを押し続ける
3. 「アスペクト」の [◀] または [▶] をタッチして、画面表示サイズを調整する

	16:9 画像	4:3 画像	その他
ノーマル			
フル			
オリジナル			
オート	映像のアスペクトに応じて自動でフルとノーマルを切り替えます。	—	

画面によって変更できるサイズが異なります。変更できるサイズは次のとおりです。

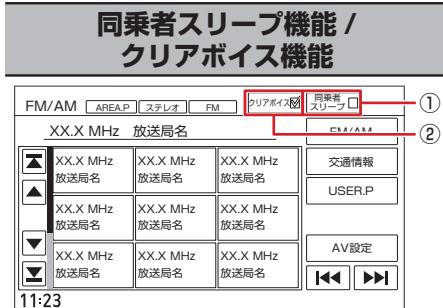
	アスペクト
SD または USB ソースのビデオファイル再生画面	ノーマル、フル、オリジナル
DVD ソースの再生画面	ノーマル、フル、オート
VTR*または ドライブレコーダー*ソースの画面	フル、ノーマル

図!知識

- バックビューモニター★、インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）★の映像または TV の映像は、画面表示サイズの変更はできません。
- 変更した内容はソースごとに設定されます。
- [戻る] をタッチすると前の画面に戻ります。

★ オプションの装着により異なります。

オーディオ・テレビの基本操作



① 同乗者スリープ機能キー

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にし、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

!知識

- 同乗者スリープ機能がオン中は、AV 設定を変更できません。
② AV の設定をする (P.58)
- 同乗者スリープ機能は、全ての AV ソースで共通にオン / オフ設定されます。
- ナビゲーションの音声案内など AV ソース以外では、同乗者スリープ機能は動作しません。

② クリアボイス機能キー

FM/AM 放送、交通情報やテレビを視聴するときに使用します。人の声が聞き取りやすくなります。

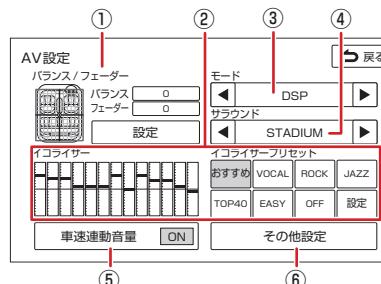
!知識

- クリアボイス機能がオン中は、イコライザーの調整、イコライザープリセットの設定ができません。
- クリアボイス機能は、各ソースごとにオン / オフ設定できます。

AV の設定をする

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [AV 設定] をタッチする

音質、音響効果など、本機の AV の設定に関する項目を設定します。



① バランス / フェーダー

バランス / フェーダーを設定します。

② バランス / フェーダーを設定する (P.59)

② イコライザー / イコライザープリセット

イコライザーの設定をします。
② イコライザープリセットを設定する (P.58)

③ モード

DSP : サラウンドの設定を表示します。
OFF : サラウンドを使用しません。

④ サラウンド

サラウンドの種類を設定します。
② 音響効果を設定する (P.59)

⑤ 車速連動音量

ON : 車速に連動して AV ソースの音量を自動で調整します。
OFF : 車速連動音量の設定を解除します。

⑥ その他設定

その他の音響効果設定をします。
② その他のサウンド設定をする (P.60)

!知識

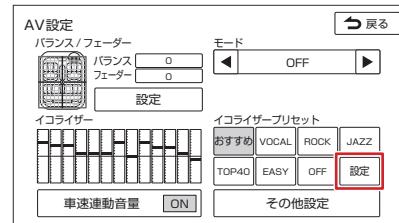
- 各ソース画面の [AV 設定] をタッチしても AV 設定画面を表示できます。

イコライザープリセットを設定する

ジャンル別に設定されたイコライザープリセットをソースごとに設定します。

1. 「イコライザープリセット」の [設定] をタッチする

ユーザープリセット以外のジャンルに設定する場合は、この画面の「イコライザープリセット」から選択することもできます。



2. [プリセット選択] をタッチする

オーディオ・テレビの基本操作

- 設定したいイコライザープリセット（おすすめ、VOCAL、ROCK、JAZZ、TOP40、EASY）をタッチする

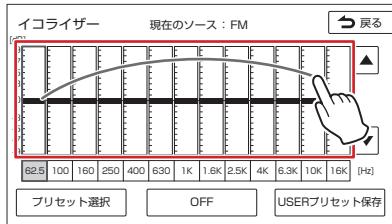
イコライザを調整する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整します。イコライザーカーブはソースごとに設定できます。

- 「イコライザープリセット」の【設定】をタッチする

画面を指でなぞる

【OFF】をタッチすると、全ての周波数帯域を「0dB」（フラット）にします。



■!知識

- 手順2の指でなぞる以外に、調整したい周波数をタッチし、【▲】または【▼】をタッチするとピンポイントでレベルを設定することができます。

■調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自に調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーのUSER1～4に保存します。

- イコライザーカーブを調整する

- 【USER プリセット保存】をタッチする
- 保存先をタッチする
タッチしたイコライザーカーブが保存され、イコライザーフェード画面に戻ります。

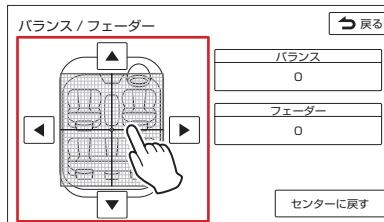
バランス / フェーダーを設定する

左右のバランスと前後のフェーダーを調整します。

- 「バランス / フェーダー」の【設定】をタッチする

画面をタッチする

【センターに戻す】をタッチすると、バランスとフェーダーを「0」にします。



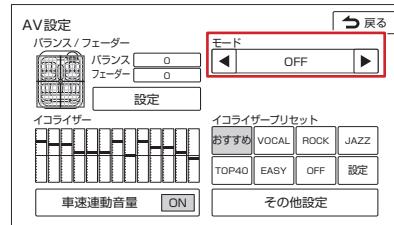
■!知識

- 【◀】または【▶】をタッチして左右のバランスを調整することもできます。
- 【▲】または【▼】をタッチして前後のフェーダーを調整することもできます。
- モードを「DSP」にしてサラウンドを設定しているとき、リアスピーカーは残響音などのサラウンド効果音が多くなるため、音量が小さくなります。

⇒ 音響効果を設定する (P.59)

音響効果を設定する

- 「モード」の【◀】または【▶】をタッチして「DSP」にする



- 「サラウンド」の【◀】または【▶】をタッチする

サラウンドが切り替わります。

■!知識

- 音響効果の設定を解除するには、「モード」の【◀】または【▶】をタッチして、「OFF」にしてください。
- モードを「DSP」にしてサラウンドを設定しているとき、リアスピーカーは残響音などのサラウンド効果音が多くなるため、音量が小さくなります。

その他のサウンド設定をする

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼] → [AV 設定] → [その他設定] をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[ラウドネス(小音量時低高音強調)]	小音量時に不足する低音と高音を補います。録音レベルが大きい曲の場合はLOW、小さい曲の場合はHIGHが適しています。(OFF*/LOW/HIGH)
[バスブースト(低音強調)]	低音を増強するレベル(OFF/LEVEL 1*/LEVEL 2/LEVEL 3)を設定します。
[サウンドライザー(音像位置調整)]	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは仮想スピーカーの位置(高さ:OFF*/LOW/MIDDLE/HIGH)を設定します。
[リアライザー(音の輪郭補正)]	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。 ここではそのレベル(OFF/LEVEL 1*/LEVEL 2/LEVEL 3)を設定します。圧縮された音楽に効果的です。
[K2テクノロジー(原音復元)]	圧縮・劣化したデジタル音源に拡張処理を施し、CDや圧縮音源をオリジナルマスタークオリティーに復元します。(OFF/ON*)
[ソースレベル(ソース間音量補正)]	各ソースの音量をそろえます。 ソースの音量レベルを設定する(P.61)
[スピーカー出力レベル設定]	スピーカーの出力レベルを設定します。 スピーカーの出力レベルを設定する(P.61)
[スピーカーディレイ設定]	スピーカーディレイを設定します。 スピーカーディレイを設定する(P.61)
[Gracenote 設定]	Gracenoteのデータベースを更新します。 Gracenoteデータベースを更新する(P.88)

■!知識

- 各ソース画面の[AV 設定]をタッチしても AV 設定画面を表示できます。
- 設定画面の[詳細]をタッチすると設定項目の説明が表示されます。
- 「K2テクノロジー」は、株式会社JVCケンウッドと株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントが共同開発した、音源のデジタル化における高音質化情報処理技術です。時間軸上で変化する波形情報の解析技術などのオリジナルテクノロジーで、音楽制作のプロフェッショナルであるビクタースタジオのエンジニア達の音質評価をクリアし、限りなくオリジナルマスター音源の忠実な再生を目指した技術です。

オーディオ・テレビの基本操作

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1. [ソースレベル(ソース間音量補正)]をタッチする
2. 各ソースの[+]または[-]をタッチして、音量を調整する
[初期値に戻す]をタッチし、確認画面で[はい]をタッチすると、ソースの音量レベルが初期値に戻ります。



- 音量レベルを最小に設定したAVソースから、他のAVソースに切り替えたときは、突然大きな音が出ることがありますのでご注意ください。



- iPodをUSB接続せずにBluetoothで接続している場合、iPodソースとBluetooth Audioソースは共通の設定となり、「Bluetooth Audio/iPod」項目で調整します。

MJ322D-L MJ322D-W

- USB、SD、REC Audioソースは共通の設定となり、「USB/SD REC Audio」項目で調整します。

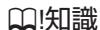
MJ322D-W

- 各機器の接続状況によって項目が2ページにわたる場合があります。[次ページへ]/[前ページへ]をタッチしてページを切り替えます。

スピーカーの出力レベルを設定する

最も小さく聞こえるスピーカーの音量に合わせて、他のスピーカーの音量を調整します。

1. [スピーカー出力レベル設定]をタッチする
2. [◀]または[▶]をタッチして、各スピーカーの出力レベルを調整する



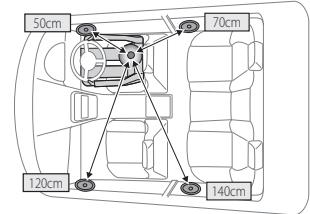
- 2スピーカーの場合でも「リアL」「リアR」の[◀]/[▶]をタッチできますが、設定は無効です。

スピーカーディレイを設定する

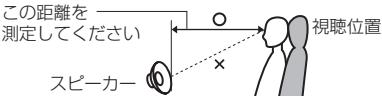
視聴位置から最も距離の離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの出力タイミングを遅らせることで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。

1. [スピーカーディレイ設定]をタッチする
2. [◀]または[▶]をタッチして、視聴位置からスピーカーまでの距離を設定する

設定例



- 視聴位置からスピーカーまでの距離は水平距離を測って設定してください。



- 2スピーカーの場合でも「リアL」「リアR」の[◀]/[▶]をタッチできますが、設定は無効です。

オーディオ・テレビの基本操作

目的地 / 自宅接近時のAV音量ダウンを設定する

目的地および自宅の約700m手前から、目的地および自宅に近づくにつれ音量を徐々に下げていきます。音量は「5」になるまで下がります。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼]→[システム設定]→[音量]をタッチする
2. [目的地 / 自宅接近時のAV音量ダウン]をタッチする

知識

- 残り距離が700mで音量が「10」以下のときはこの機能は働きません。
- 目的地 / 自宅接近時のAV音量ダウンが働いているときに音量を調整すると、この機能は解除されます。
- この機能が働いたあと、目的地到着後または自宅周辺(100m以内)で本機の電源をオフしてオンすると、音量「5」から5秒ごとに音量を「1」ずつ大きくし、この機能が働く前の音量に戻します。

知識

- 目的地が自宅以外のルート案内中は、自宅に近づいてもこの機能は働きません。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、残り距離700m以内で本機の電源をオフしてオンすると、この機能は解除されます。
- ルート案内しないで自宅周辺を通過する場合にも、この機能が働きます。ただし、機能が働いたあと自宅との距離が離れても、自動的にこの機能が働く前の音量には戻りません。

ラジオを聞く

ラジオで交通情報を聞く

交通情報（1620kHz または 1629kHz）を受信します。交通情報を切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

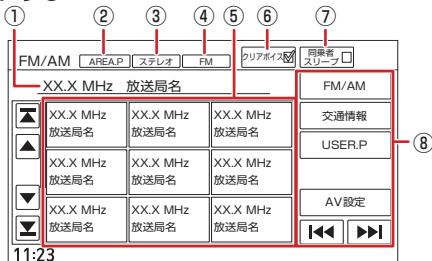
1. <メニュー>ボタンを押し、画面左側の [▶] をタッチし、AV メニューで [交通情報] をタッチする
交通情報が受信されます。
2. 交通情報を切り替える場合は、[1620kHz] または [1629kHz] をタッチする

■!知識

- [終了] をタッチすると、交通情報を選択する前の AV ソースに戻ります。

FM/AM 放送を聞く

<メニュー>ボタンを押し、画面左側の [▶] をタッチし、AV メニューで [FM/AM] をタッチする



① 受信中の周波数、放送局名

現在受信中の周波数、放送局名が表示されます。

② プリセットモード

現在のプリセットモードが表示されています。 プリセットモードを切り替える (P.64)

③ ステレオ受信表示

放送がステレオ受信されている場合に表示されます。

④ 受信中のバンド

現在受信中のバンドが表示されます。

⑤ プリセット放送局

タッチすると、その放送局を受信します。

⑥ [クリアボイス]

クリアボイスの設定をオン / オフで切り替えます。

同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.58)

⑦ [同乗者スリープ]

同乗者スリープの設定をオン / オフで切り替えます。

同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.58)

⑧ 操作メニュー

項目	機能・操作説明
[FM/AM]	FM 放送と AM 放送を切り替えます。
[交通情報]	交通情報を切り替えます。
[AREA.P] / [USER.P]	プリセットモードを切り替えます。 プリセットモードを切り替える (P.64)

項目	機能・操作説明
[AV 設定]	AV 設定画面が表示されます。 AV の設定をする (P.58)
[◀◀] / [▶▶]	周波数を変えて選局します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。もう一度タッチすると、オート選局を中止します。 受信電波の弱い地域では、自動選局できないこともあります。

ラジオを聞く

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアプリセット」と「ユーザープリセット」があります。

● エリアプリセット (AREA.P)

放送局データと現在地エリアの位置関係から、受信可能な放送局が表示されます。

エリアモードのプリセットキーには、現在地エリアで受信できる可能性の高い放送局が周波数の低い順に自動的に登録されます。

● ユーザープリセット (USER.P)

手動でお好みの放送局をユーザープリセットに6局まで登録できます。

② **ユーザープリセットに放送局を登録する (P.64)**

エリアプリセットの放送局をリストから選局する

エリアプリセットモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1. [AREA.P] をタッチして、エリアプリセットモードに切り替える

タッチするたびに、エリアプリセットとユーザープリセットが切り替わり、画面上部に現在のプリセットモードが表示されます。

2. 受信する放送局をタッチする

タッチした放送局が受信されます。

知識

- エリアプリセットの放送局リストにはお客さま自身で放送局を登録することはできません。ユーザープリセットに登録ください。エリアプリセットのキーを2秒以上タッチしたときは、お知らせを表示します。

ユーザープリセットに放送局を登録する

ユーザープリセットモードのプリセットキーに手動で放送局を6局まで登録します。

1. 登録する放送局を受信する

② **FM/AM 放送を聞く (P.63)** を参照して、登録したい放送局を受信します。

2. [USER.P] をタッチして、ユーザープリセットモードに切り替える

タッチするたびに、エリアプリセットとユーザープリセットが切り替わります。
[AREA.P] 表示のときはユーザープリセットモードです。

3. 登録先のプリセットキーをピッと音がするまで2秒以上タッチし続ける

受信中の放送局がプリセットキーに登録されます。

登録した放送局は、ユーザープリセットモードで該当するプリセットキーをタッチすると受信できます。

テレビを視聴する

テレビを表示する

本機は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式（コンテンツ権利保護専用方式）を採用しており、従来のB-CASカードは必要ありません。コンテンツ保護専用の方式については一般社団法人地上放送RMP管理センターのサイトをご確認ください。

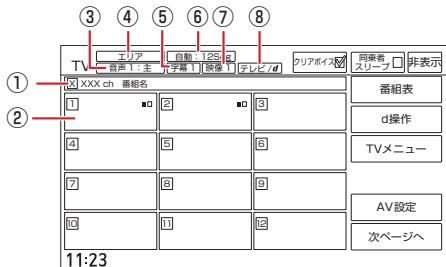
<http://www.trmp.or.jp/>

テレビ画面を表示する

<メニュー>ボタンを押し、画面左側の[]をタッチし、AVメニューで[TV]をタッチする

画面表示の見かた

画面をタッチすると操作キーが表示されます。



① 受信チャンネル番号 / 番組名

現在受信中のチャンネル番号と番組名が表示されます。

② プリセットチャンネルキー

プリセット番号、サービス名、サービス表示が表示されます。表示されるキーとはたらき (P.65)

③ 音声の種類

複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。

④ プリセットモード

現在のプリセットモードが表示されています。プリセットモードを切り替える (P.67)

⑤ 字幕の種類

字幕を選択しているときに表示されます。

⑥ 受信モード

12セグとワンセグの受信モードを表示します。

受信モードの切り替えについては、表示されるキーとはたらき (P.66) の[受信モード切替]をご覧ください。

⑦ 映像の種類

複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。

⑧ データ放送の種類

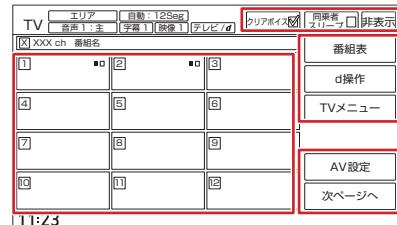
データ放送があるか、番組と連動したデータ放送があるかが表示されます。

□!知識

- 操作キーは一定の時間がすぎると非表示になります。

表示されるキーとはたらき

右側の操作キーは[次ページへ]または[前ページへ]をタッチして切り替えられます。



□!知識

- 操作キーは一定の時間がすぎると非表示になります。
- 12セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像 / 音声のつながりが途切れの場合があります。
- 放送局によっては、12セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は5.1chサラウンドには対応しておりません。音声は2chで出力されます。

テレビを視聴する

キー	説明
[1]～[12] (プリセットチャンネルキー)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、キーの右上に■□が表示されます。視聴中のプリセットキーをタッチするたびにサービスを切り替えます。
[クリアボイス]	クリアボイスの設定をオン／オフで切り替えます。 ⇒ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.58)
[同乗者スリープ]	同乗者スリープの設定をオン／オフで切り替えます。 ⇒ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.58)
[非表示]	操作キーを非表示にします。
[番組表]	番組表を表示します。 ⇒ 番組表を表示する (P.67)
[d 操作]	データ放送を操作するキーを表示します。 ⇒ データ放送を表示する (P.69)
[TV メニュー]	テレビの設定画面を表示します。 ⇒ テレビの設定をする (P.71)
[AV 設定]	AV 設定画面を表示します。 ⇒ AV の設定をする (P.58)
[次ページへ]/ [前ページへ]	右側の操作キーを切り替えます。
[受信モード切替]	受信モードを切り替えます。 固定：1Seg ワンセグ固定モードに切り替えます。 固定：12Seg 12 セグ固定モードに切り替えます。 自動：自動受信モード（12 セグまたはワンセグ）に切り替えます。 設定は「TV メニュー」の「[1Seg / 12Seg 自動切替設定]」をご覧ください。 ⇒ テレビの設定をする (P.71)
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / ホーム / お出かけ）が切り替わります。 「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。 ※「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。 ⇒ テレビの設定をする (P.71)
[音声切替]	視聴番組に複数の音声／二重音声があるときに、音声を切り替えます。 なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕表示を切り替えます。 なお、キーが表示されていても、番組によっては字幕が放送されていない場合があります。
[映像切替]	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。

テレビを視聴する

放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。

放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットキーに放送局を登録します。

放送局を登録（プリセット）する

1. [次ページへ] をタッチする

右側の操作キーを切り替えます。

※操作キーが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

2. [プリセット切替] をタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

3. [前ページへ] → [TVメニュー] → [初期スキャン] をタッチする

4. 現在地の都道府県をタッチして [はい] をタッチする

受信できる放送局が検索され、プリセットに登録されます。

現在地の都道府県が表示されていない場合は、上下にスクロールをしてください。

□!知識

- [再スキャン] は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットキーに登録します。
- 再スキャンを行っても、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の3つのモードがあります。
 - エリア：自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。
 - ホーム / お出かけ：それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺ではホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。
- プリセットしたあとに初期スキャンをするとプリセットされていた内容は全て消去され新たにプリセットします。

番組表を見る

視聴しているチャンネルでは最大8日分の番組表を表示できます。

また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

番組表を表示する

1. [番組表] をタッチする

番組表が表示されます。

※操作キーが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

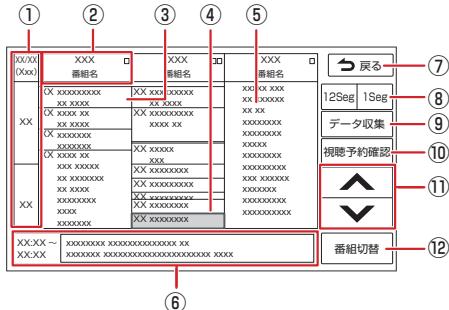
□!知識

- 放送が終了した番組は番組表に表示されません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 視聴しているチャンネルでは、番組表データを自動で最大8日分を収集し表示します。
- 視聴していないチャンネルの番組表を表示したいときは [データ収集] をタッチし、確認画面で [はい] をタッチすると、24時間分のデータを取得します。
番組表は取得したチャンネルごとに表示し、データ取得が完了するまでは [データ収集] をタッチできません。
- ワンセグ番組表では、最大10番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- 番組表が表示されるまで時間がかかる場合があります。

テレビを視聴する

番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。



- ① **日時**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。
- ② **放送局**
タッチするとその放送局を受信します。
- ③ **現在視聴中の番組**
背景が青色で表示されます。
- ④ **フォーカス**
選択した番組が、緑色枠で表示されます。
- ⑤ **現在放送中の番組**
背景が紫色で表示されます。
- ⑥ **番組詳細**
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。番組詳細画面で視聴予約ができます。
⑦ 視聴予約をする (P.68)

⑦ [戻る]

AV 画面に戻ります。

⑧ [12Seg 1Seg]

タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。

⑨ [データ収集]

プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。

⑩ [視聴予約確認]

番組の視聴予約の確認と編集をします。
⑪ 視聴予約を確認する / 取り消す (P.69)

⑪ [▲ / ▼]

フォーカスを移動します。

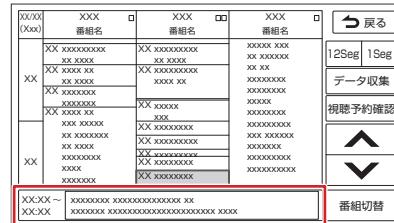
⑫ [番組切替]

フォーカスされている番組がマルチ編成番組（1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること）の場合は、番組表内の番組情報が切り替わります。

視聴予約をする

1. 番組表から視聴予約したい番組を選んでタッチする

2. 番組詳細をタッチする



3. [視聴予約] をタッチする

■!知識

- 視聴予約できる件数は、最大 20 件です。
- 予約開始時間が重なった場合は、視聴予約できません。
- 車両のキースイッチ（電源ポジション）を OFF にしているとき、視聴予約は実行されません。
- 番組視聴中に予約した番組が始まると、その番組のチャンネルに切り替わります。
- 他のソース使用中に予約した番組が始まると、自動で TV ソース（予約番組）に切り替わります。
- 視聴予約した放送局が受信できない場合、予約した番組のチャンネルに切り替わったあと、自動で中継局や系列局のサーチを行います。

テレビを視聴する

□!知識

- 走行中でも視聴予約は実行されますが、TV 映像は表示されません。
- 放送時間が変更になっても、予約時間は自動では変更されません。
- 視聴予約をした番組が終了しても、予約した番組が始まる前に見ていたチャンネルには戻りません。
- [受信モード切替]が「固定(12seg/1seg)」になっている場合、予約した番組が12セグ番組かワンセグ番組にかかわらず、受信モード設定に従ったチャンネルに切り替えられます。
- CD録音中は視聴予約を実行しません。CDの録音を中止してTV 視聴予約を実行するかどうかの確認メッセージが表示されます。[はい]をタッチすると視聴予約が実行されます。

視聴予約を確認する / 取り消す

1. TV 操作画面で [TV メニュー] → [視聴予約確認 / 編集] または、[番組表] → [視聴予約確認] をタッチする
② [テレビの設定をする \(P.71\)](#)
② [番組表を表示する \(P.67\)](#)
視聴予約している番組のリストが表示されます。
2. 視聴予約を取り消したい番組をタッチし、[取り消し] をタッチする
[全て選択]：リスト内の全ての番組を選択します。
[全て解除]：リスト内の全ての番組の選択を解除します。
3. 確認画面で [はい] をタッチする
選択した番組が視聴予約リストから消去されます。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合、データ放送画面を表示します。

データ放送を表示する

1. [d 操作] をタッチする
※操作キーが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。
2. [d] をタッチする
データ放送画面が表示されます。

□!知識

- データ放送画面では、画面の項目に直接タッチして操作することができません。データ放送用操作キーを使用します。
- 地域を対象としたサービスを行っているときは、郵便番号設定の地域情報を表示します。② [テレビの設定をする \(P.71\)](#)
- ワンセグを受信中はデータ放送を見ることができません。
- ワンセグのデータ放送には対応していません。

テレビを視聴する

表示されるキーとはたらき

通常の操作キーまたは数字用の操作キーに切り替えることができます。

1. [数字] または [操作] をタッチして、操作キーの表示を切り替える



キー	説明
[▲]/[▼]/ [◀]/[▶]	データ放送画面中のカーソルを移動します。
[決定]	項目を決定します。
[青]/[赤]/ [緑]/[黄]	青ボタン/赤ボタン/緑ボタン/黄ボタンとして使用します。
[d]	データ放送画面と放送画面を切り替えます。
[戻る]	1つ前の操作に戻ります。
[1]～[12/#]	数字を入力します。



キー	説明
[◀位置]/ [位置▶]	操作キーの表示位置を切り替えます。
[数字]/[操作]	数字用の操作キー/通常の操作キーを切り替えます。
[非表示]	操作キーを非表示にします。

テレビの設定をする

[TV メニュー] をタッチする

設定項目を選びます。

※操作キーが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[視聴予約確認／編集]	番組の視聴予約の確認と編集をします。 ➔ 視聴予約を確認する / 取り消す (P.69)
[初期スキャン] (ホームまたはお出かけプリセットのみ)	放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットキーに放送局を登録します。 ➔ プリセットモードを切り替える (P.67)
[再スキャン] (ホームまたはお出かけプリセットのみ)	ホームまたはお出かけモードのプリセットキーに放送局を登録しなおします。 確認画面の [はい] をタッチすると再スキャンを開始します。
[1Seg / 12Seg 自動切替設定]	[受信モード切替] を「自動」に設定している場合に、優先させる内容(推奨*/12Seg を優先 / 切替頻度を低減)を設定します。 ➔ 表示されるキーとはたらき (P.66)
[中継局／系列局サーチ]	中継局サーチ時の切り替え方法（自動切替しない / 自動切替（中継局） / 自動切替（中継局+系列局）*）を設定します。
[文字スーパー]	受信中の番組が文字スーパーを提供している場合、文字スーパーを表示するかと、表示する言語を設定します。（表示しない / 第一言語*/第二言語）
[データ放送県域]	データ放送で使用する地域を設定します。
[郵便番号設定]	データ放送で使用する地域を設定します。
[デバイス ID]	メーカー IDなどの情報を表示します。

緊急警報放送について

緊急警報放送 (EWS:Emergency Warning System) とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。



- 緊急警報放送は、AV ソースが TV のときのみ表示されます。

CD・オーディオファイルディスクを使う

ディスクを入れる / 取り出す

⚠ 警告

- コントロールパネルを開いたまま走行しない

コントロールパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。

安全のため、ディスクを出し入れしたあとは、コントロールパネルを閉じてください。

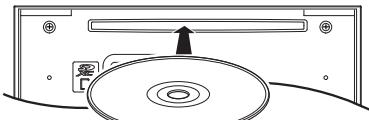


アドバイス

- 走行中にディスクの出し入れをしないでください。破損につながる可能性があります。

ディスクを入れる

1. <▲> (OPEN) ボタンを押す
2. [ディスクイジェクト] をタッチする
3. ディスクを挿入口に入れる
コントロールパネルが自動的に閉じます。
ソースが「CD/DVD」^[1] または「CD」^[2] に切り替わります。



[1]… MJ322D-L MJ322D-W
 [2]… MJ122D-W MJ122D-A

■知識

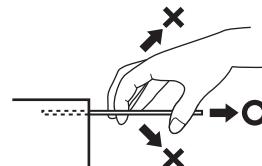
- ディスクを挿入すると、コントロールパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。
- すでにディスクが挿入されている場合は、「ディスクあり」と表示されます。

ディスクを取り出す

1. <▲> (OPEN) ボタンを押す
2. [ディスクイジェクト] をタッチする
コントロールパネルが開き、ディスクが排出されます。
3. ディスクを取り出す
4. <▲> (OPEN) ボタンを押す、または [クローズ] をタッチする
コントロールパネルが閉じます。

■知識

- ディスクがイジェクトされたあと、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクに傷を付ける原因となります。



- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合がありますので、お気を付けてください。

■ディスクを取り出せないときは

1. メッセージが表示されるまで <▲> (OPEN) ボタンを押し続ける
2. 確認画面で [はい] をタッチする
コントロールパネルが開き、ディスクが排出されます。
3. ディスクを取り出す

CD・オーディオファイルディスクを使う

CD・オーディオファイルディスク を再生する

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

曲を再生する

<メニュー>ボタンを押し、画面左側の [>] をタッチし、AV メニューで [CD/DVD]^[1] / [CD]^[2] をタッチする

!知識

- 本機で再生できる音楽 CD またはオーディオファイルディスクについては、① 本機で再生できるディスクメディア (P.159)、
② 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.162) をご覧ください。

Gracenote データベースについて

MJ322D-L MJ322D-W のみ

音楽 CD を再生すると、本機内蔵の Gracenote データベースから自動でタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、トラック名、ジャンル名）を検索し、取得したタイトル情報を CD 再生画面に表示します。

本機内蔵の Gracenote データベースからタイトル情報を検索できない場合は、パソコンを使って本機の Gracenote データベースを更新することができます。

本機の Gracenote データベースの更新方法については、③ Gracenote データベースを更新する (P.88) をご覧ください。

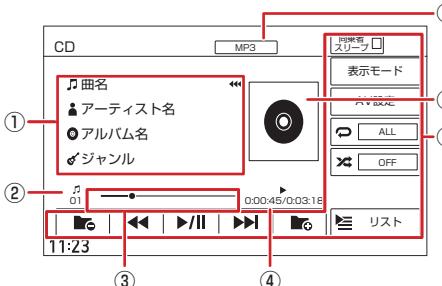
[1]… MJ322D-L MJ322D-W
[2]… MJ122D-W MJ122D-A

!知識

- タイトル情報が取得できない場合は、「Track XX」と表示されます。
- 本機の発売開始時期以降に発売された音楽 CD のタイトル情報は本機の Gracenote データベースから取得できません。また、それ以前の音楽 CD でも情報を取得できない場合があります。
- 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示する場合があります。
- タイトル情報を取得するまでに、時間がかかる場合があります。

画面表示の見かた

表示される項目はディスク、仕様、ソフトウェアバージョンなどによって異なります。



① 情報表示

《タイトル情報があるとき》

曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名などが表示されます。曲名、アルバム名を取得していない場合は、ファイル名、フォルダ名が表示されます。

《タイトル情報がないとき》

再生中のトラック番号が表示されます。

② 《音楽 CD》

トラック番号 / 総曲数

再生中のトラック番号と総曲数が表示されます。

《オーディオファイルディスク》

ファイル番号

再生中のファイル番号が表示されます。

③ シークバー

現在の再生位置が表示されます。バーをドラッグ、またはタッチして再生位置を変更できます。

④ 演奏時間 / 総演奏時間

演奏時間と総演奏時間が表示されます。

⑤ 《オーディオファイルディスク》

音声形式

再生ファイルの音声形式が表示されます。

⑥ 《音楽 CD》

MJ322D-L MJ322D-W

ジャンル画像

Gracenote データベースのジャンル情報を基にジャンルに合った画像を表示します。アルバムアートワークは表示されません。

CD・オーディオファイルディスクを使う

[MJ122D-W] [MJ122D-A]

ソースアイコン画像

ソースアイコンのみ表示します。アルバムアートワークは表示されません。

《オーディオファイルディスク》

アルバムアートワーク

再生中のアルバムアートワークが表示されます。

⑦ オーディオ操作キー

キー	説明
[同乗者スリー ブ]	同乗者スリープの設定をオン／オフで切り替えます。 ➡ 同乗者スリープ機能／クリアボイス機能 (P.58)
[▶/II]	再生または一時停止（ボーズ）します。
[◀◀]/[▶▶]	前／次の曲を再生したりします。
[録音]	再生中の音楽CDをSDカードに録音します。 ➡ 録音する (P.85)
[録音停止]	音楽CDの録音を停止します。録音中のみ表示されます。
[録音モード 終了]	録音終了後表示されます。タッチすると録音モードが終了します。
[◀]/[▶]	前／次のフォルダの先頭ファイルから再生します。

キー	説明
[録音設定]	音楽CDから録音するときの設定をします。➡ 録音設定をする (P.86)
[表示モード]	情報表示と再生リスト表示を切り替えます。
[AV 設定]	AV 設定画面を表示します。➡ AV の設定をする (P.58)
[◀◀ ALL]	タッチするたびにリピート再生モードが「ALL」／「1」／「フォルダ」 ^[1] に切り替わります。
[◀ OFF]	タッチするたびにランダム再生モードが「OFF」／「ALL」／「フォルダ」 ^[1] に切り替わります。
[次ページへ]/ [前ページへ]	右側の操作キーを切り替えます。
[タイトル検索]	タイトル情報を取得します。 [別候補タイトル]をタッチすると、アルバムタイトルの候補リストが表示されます。 [タイトル消去]をタッチすると、確認メッセージが表示され[はい]をタッチすると、現在の曲を含むアルバム内全てのタイトルを消去します。
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。

[1]…オーディオファイルディスクで選択できます。

■!知識

- アルバムアートワークは、ディスクによっては表示されない場合があります。
- 曲名（ファイル名）、アーティスト名、アルバム名（フォルダ名）、ジャンルでそれぞれの情報が全て表示されないときは、[◀◀◀]をタッチするとスクロール表示します。
- 行走中は、アルバム名とアーティスト名、ジャンル名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。
- シークバーは走行中でも操作できます。
- リピート再生モードを「ALL」以外に設定するとランダム再生モードは「OFF」になります。
- ランダム再生モードを設定するとリピート再生モードは「ALL」になります。

[MJ322D-L]

- ハイレゾ音源ファイルを再生中は、画面上中央にインジケーターが表示されます。

DVD を見る

DVD を再生します。

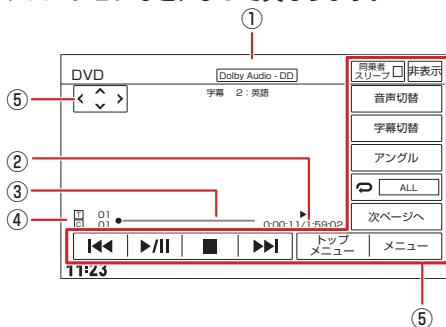
ディスクの出し入れについては、❸ ディスクを入れる / 取り出す (P.72) をご覧ください。

DVD を再生する

<メニュー>ボタンを押し、画面左側の [◀▶] をタッチし、AV メニューで [CD/DVD] をタッチする

画面表示の見かた

画面をタッチすると操作キーが表示されます。表示される項目はディスク、仕様、ソフトウェアバージョンなどによって異なります。



① 音声形式

再生ファイルの音声形式が表示されます。

② 再生時間 / 総再生時間

再生時間と総再生時間が表示されます。

③ シークバー

現在の再生位置が表示されます。バーをドラッグ、またはタッチして再生位置を変更できます。

④ タイトル番号、チャプター番号

再生中のタイトル番号およびチャプター番号が表示されます。

⑤ DVD 操作キー

キー	説明
[同乗者スリープ]	同乗者スリープの設定をオン / オフで切り替えます。 ❸ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.58)
[非表示]	操作キーを非表示にします。
[◀ ▶]	カーソルを表示します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル] ^[1]	アングルを切り替えます。
[ALL]	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 DVD ビデオ :「ALL」/「チャプター」/「タイトル」 DVD-VR :「ALL」/「チャプター」/「プログラム」/「プレイリスト」
[次ページへ]/[前ページへ]	右側の操作キーを切り替えます。

キー	説明
[AV 設定]	AV 設定画面を表示します。 ❸ AV の設定をする (P.58)
[DVD 設定]	DVD の設定画面を表示します。 ❸ DVD の設定をする (P.77) このキーにタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[▶ スロー送り]	スローモーションで再生します。タッチするたびに 3 段階で再生速度が切り替わります。
[◀ スロー戻し]	スローモーションで逆再生します。タッチするたびに 3 段階で再生速度が切り替わります。
[▶/II]	再生または一時停止 (ポーズ) します。
[■]	再生を停止します。

DVD を再生する

MJ322D-L MJ322D-W のみ

キー	説明
[◀◀]/[▶▶]	<ul style="list-style-type: none">[▶▶] をタッチすると次のチャプターを再生します（スキップ）。[◀◀] をタッチするとチャプターの先頭に戻り、さらに [◀◀] をタッチすると前のチャプターを再生します。タッチし続けると、早戻しままたは早送りされます。
[トップメニュー] ^[1]	ディスクのトップメニューを表示します。
[メニュー] ^[1]	ディスクのメニューを表示します。
[プログラムリスト] ^[2]	プログラムリストを表示します。
[プレイリスト] ^[2]	プレイリストを表示します。

[1]…DVD ビデオで選択できます。

[2]…DVD-VR で選択できます。

!知識

- 操作キーは一定の時間がすぎると非表示になります。画面右上の「非表示」でも非表示にできます。
- シークバーは走行中でも操作できます。

DVD の設定をする

DVD の設定を変更します。

1. [DVD 設定] をタッチする

設定項目が表示されます。

※操作キーが表示されていないときは、画面にタッチして [次ページへ] をタッチすると表示されます。

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[メニュー言語]	DVD ビデオのメニュー / トップメニューの表示優先言語を設定します。
[音声言語]	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
[字幕言語]	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
[ダイナミックレンジコントロール]	DVD 音声のダイナミックレンジ（最小音と最大音の音量差）を設定します。 ワイド→ノーマル→ダイアログ*の順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。

図 知識

- 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

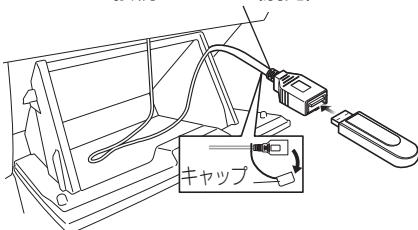
USB メモリー /SD カード /iPod/Bluetooth オーディオ機器を使う

USB メモリーを接続する

本機で再生できる USB メモリーは ② 本機で使用できる USB メモリー (P.161) をご覧ください。「USB メモリー使用上のご注意」もお読みください。

1. USB 接続ケーブルに USB メモリーを接続する

USB 接続ケーブル (別売)



!!知識

- 接続には別売の USB 接続ケーブルが必要です。日産販売会社へご相談ください。
- USB 接続ケーブルはグローブボックスなどに配線されています。
- USB 接続ケーブル位置は車種により異なる場合があります。日産販売会社にお問い合わせください。
- USB メモリーを取り外すときは、ソースを USB 以外に切り替えてください。USB ソースのまま取り外すと、USB メモリー内のデータが破損する場合があります。
- 無理な接続や取り外しをすると、USB メモリー本体およびプラグが破損するおそれがあります。プラグの向きにご注意ください。
- USB メモリーの接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となりますので接続、挿入しないでください。

SD カードを入れる / 取り出す

! 警告

- コントロールパネルを開いたまま走行しない

コントロールパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。

安全のため、SD カードを出し入れしたあとは、コントロールパネルを閉じてください。



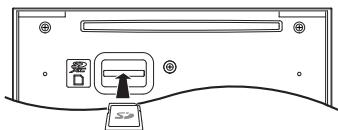
アドバイス

- miniSD カード /microSD カードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターに装着してご使用ください。ただし、アダプターをご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- SD カードを挿入するときに、強い力で押し込みすぎないようにしてください。SD カードの損傷や本機の故障の原因となるおそれがあります。

USB メモリー /SD カード /iPod/Bluetooth オーディオ機器を使う

SD カードを入れる

- <▲> (OPEN) ボタンを押す
- [オープン] をタッチする
コントロールパネルが開きます。
- SD カードを插入入口に入れる**
SD カードは、カチッと音がするまで押し込んで離してください。



- <▲> (OPEN) ボタンを押す、または [クローズ] をタッチする
コントロールパネルが閉じます。

■!知識

- フルオープンの状態で SD カードを挿入しても、コントロールパネルは自動的に閉じません。
- 本機で再生できる SD カードは **② 本機で再生できる SD カード (P.160)** をご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。
- SD カードを取り外すときは、ソースを SD 以外に切り替えてください。
SD ソースのまま取り外すと、SD カード内のデータが破損する場合があります。
- 長時間使用すると、SD カードが熱くなっている場合がありますが、故障ではありません。

iPod を接続する / 取り外す

本機の iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は USB 接続と Bluetooth 接続から選択することができます。

● USB 接続ケーブルで接続する場合

USB 接続ケーブル（別売）と Apple 社純正の Lightning-USB ケーブルが必要です。② **iPod を接続する (USB 接続) (P.79)**

● Bluetooth で接続する場合

あらかじめ本機に iPod/iPhone を Bluetooth 機器として登録（ペアリング）が必要です。② **Bluetooth 機器を登録する (P.26)**

アドバイス

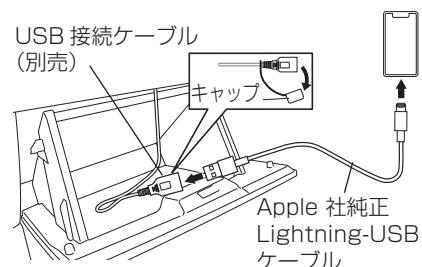
- iPhone を初めて本機に接続すると、iPhone 側にアプリのインストールを促すメッセージが表示されることがあります。
音声入力による検索機能を利用する場合は「VOIPUT」アプリをインストールしてください。② **音声認識でルート探索 / 楽曲検索する (P.117)**
- iPod 本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。

■!知識

- 本書では iPod および iPhone をまとめて「iPod」と表記する場合があります。
- 音楽再生のみ対応しています。
- 本機の対応可能な iPod/iPhone については、② **本機でコントロールできる iPod について (P.167)** をご覧ください。
- iPod の接続には、Apple 社純正の Lightning-USB ケーブル（USB 接続ケーブルに接続できる形状の接続口のもの）をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。

iPod を接続する (USB 接続)

- USB 接続ケーブルに Apple 社純正の Lightning-USB ケーブルを接続し、iPod を接続する



■ アドバイス

- 無理な接続や取り外しをすると、接続した iPod 本体およびプラグが破損するおそれがあります。プラグの向きにご注意ください。
- iPod の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続、挿入しないでください。

■ 知識

- 接続には別売の USB 接続ケーブルが必要です。日産販売会社へご相談ください。
- USB 接続ケーブルはグローブボックスなどに配線されています。
- USB 接続ケーブル位置は車種により異なる場合があります。日産販売会社にお問い合わせください。
- iPod は、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPhone または iPod touch を接続して使用する際は、iPhone または iPod touch 側のアプリケーションを終了させてから使用してください。
音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

■ 知識

- iPod が正しく動作しないときは、本機から iPod を取り外して iPod をリセットし、再度接続してください。
iPod のリセット方法は、iPod の取扱説明書をご覧ください。
- iPod に楽曲を追加する操作を行う場合は、iPod を本機から取り外してください。
- iPod の動作や、バージョンアップされる iPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続して iPod を使用中に、iPod のデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- 接続中は、iPod を操作しないでください。
- iPod のリモコンやヘッドフォンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 車両のキースイッチ（電源ポジション）を「OFF」にしたあとは、必ず iPod を取り外してください。iPod の電源が切れず、iPod のバッテリーを消耗することがあります。
- 本機起動中に iPod を USB 接続すると、iPod への充電が行われます。
- iPod ソースのときに、iPod の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- iPod が USB と Bluetooth の両方で接続されている場合、接続方法は USB 接続と表示されます。

Bluetooth オーディオ機器を使用する

Bluetooth オーディオ機器を使用するには、本機に Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを Bluetooth 機器として登録（ペアリング）が必要です。

② Bluetooth 機器を登録する (P.26)

■ 知識

- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種や使用しているアプリケーションによっては、操作キーや楽曲情報、リストを表示できない場合があります。また、再生方法（スキップ操作やランダム再生モード切替など）や表示モードを操作できない場合があります。
- Bluetooth 機器や使用する音楽プレーヤーによっては、本機から操作できない場合があります。その場合は、機器側で操作してください。
- Bluetooth 機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは [▶] をタッチしてください。
- Bluetooth 機器によっては、音声出力や画面表示するのに時間がかかる場合があります。
- Bluetooth 機器によっては、機器側の音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。

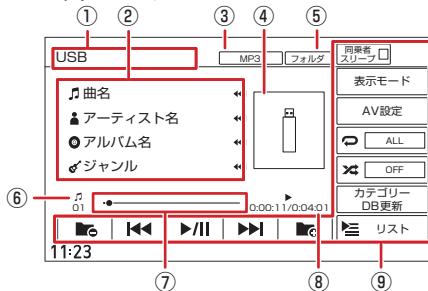
USB メモリー /SD カード /iPod/Bluetooth オーディオ機器を使う

再生する

USB メモリー、SD カード、iPod、Bluetooth オーディオ機器を接続して、<メニュー>ボタンを押し、画面左側の [▶] をタッチし、AV メニューで該当の項目をタッチする

オーディオファイルを再生する

接続した機器に保存されているオーディオファイルを再生します。
表示される項目は接続機器、モード、再生ファイル、仕様、ソフトウェアバージョンなどによって異なります。



① ソース名、接続方法、デバイス名

選択しているソース名が表示されます。
iPod を選択している場合は、接続方法も表示されます。

Bluetooth オーディオ機器を選択している場合は、デバイス名も表示されます。

② 楽曲情報表示

曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなどが表示されます。曲名、アルバム名を取得していない場合は、ファイル名、フォルダ名が表示されます。

③ 音声形式

再生ファイルの音声形式が表示されます。

④ アルバムアートワーク

アルバムアートワークが表示されます。
アルバムアートワーク情報がないファイルや Bluetooth オーディオでは、ソースアイコンが表示されます。

⑤ 再生リスト名

選曲方法の再生リスト名が表示されます。

⑦ 再生リストについて (P.83)

⑥ ファイル番号

再生中のファイル番号が表示されます。

⑦ シークバー

現在の再生位置が表示されます。

バーをドラッグ、またはタッチして再生位置を変更できます。

⑧ 演奏時間 / 総演奏時間

演奏時間と総演奏時間が表示されます。

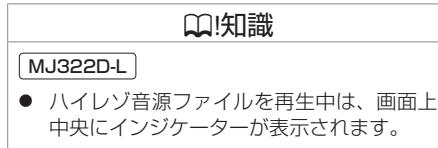
⑨ 操作キー

キー	説明
[◀◀]/[▶▶]	● [▶▶] をタッチすると次の曲を再生します（スキップ）。 ● [◀◀] をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに [◀◀] をタッチすると前の曲を再生します。 ● タッチし続けると、早戻しましたは早送りします。
[◀⊖]/[◀⊕]	前 / 次のフォルダの先頭ファイルから再生します (* カテゴリー モード再生時には表示されません)。
[表示モード]	情報表示と再生リスト表示を切り替えます。
[デバイス切替] ^[3]	機器選択画面を表示します。 ⑦ 登録した機器の設定をする (P.108)
[AV 設定]	AV 設定画面を表示します。 ⑦ AV の設定をする (P.58)
[◀⊖ ALL]	タッチするたびにリピート再生モードが「ALL」/「1」/「フォルダ」に切り替わります。
[✖ OFF]	タッチするたびにランダム再生モードが「OFF」/「ALL」 ^{[1][3]} /「フォルダ」 ^[1] /「曲」 ^[2] に切り替わります。

キー	説明
[◀◀]/[▶▶]	● [▶▶] をタッチすると次の曲を再生します（スキップ）。 ● [◀◀] をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに [◀◀] をタッチすると前の曲を再生します。 ● タッチし続けると、早戻しましたは早送りします。
[◀⊖]/[◀⊕]	前 / 次のフォルダの先頭ファイルから再生します (* カテゴリー モード再生時には表示されません)。
[表示モード]	情報表示と再生リスト表示を切り替えます。
[デバイス切替] ^[3]	機器選択画面を表示します。 ⑦ 登録した機器の設定をする (P.108)
[AV 設定]	AV 設定画面を表示します。 ⑦ AV の設定をする (P.58)
[◀⊖ ALL]	タッチするたびにリピート再生モードが「ALL」/「1」/「フォルダ」に切り替わります。
[✖ OFF]	タッチするたびにランダム再生モードが「OFF」/「ALL」 ^{[1][3]} /「フォルダ」 ^[1] /「曲」 ^[2] に切り替わります。

USB メモリー /SD カード /iPod/Bluetooth オーディオ機器を使う

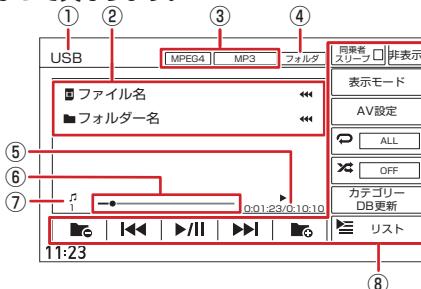
キー	説明
[カテゴリー DB 更新] ^[1]	再生中の USB メモリーまたは SD カードの、カテゴリーデータベースを作成または更新をします。 ➡ カテゴリーデータベースを作成、更新する (P.84)
[リスト] ^{[1][3]}	再生リストを表示します。USB メモリーおよび SD 再生中の操作については、 ➡ 再生リストについて (P.83) をご覧ください。
[] / [] /[] / []	カテゴリーマまたは曲リストを表示します。 ^[2]



ビデオファイルを再生する

USB メモリーおよび SD に保存されているビデオファイルを再生します。

画面をタッチすると操作キーが表示されます。表示される項目は接続機器、モード、再生ファイル、仕様、ソフトウェアバージョンなどによって異なります。



- ① ソース名
選択しているソース名が表示されます。
 - ② ファイル情報表示
ファイル名、フォルダ名が表示されます。
 - ③ 映像形式、音声形式
再生ファイルの映像形式、音声形式が表示されます。
 - ④ 再生リスト名
選曲方法の再生リスト名が表示されます。
⑤ 再生リストについて (P.83)

⑤ **再生時間 / 総再生時間**
再生時間と総再生時間が表示されます。

⑥ **シークバー**
現在の再生位置が表示されます。
バーをドラッグ、またはタッチして再生位置を変更できます。

⑦ **ファイル番号**
再生中のファイル番号が表示されます。

⑧ **操作キー**

キー	説明
[同乗者スリープ]	同乗者スリープの設定をオン / オフで切り替えます。 ➡ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.58)
[非表示]	操作キーを非表示にします。
[▶/II]	再生または一時停止 (ポーズ) します。
[◀◀]/[▶▶]	<ul style="list-style-type: none"> [▶▶] をタッチすると次のファイルを再生します (スキップ)。 [◀◀] をタッチするとファイルの先頭に戻り、さらに [◀◀] をタッチすると前のファイルを再生します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
[◀]-/[▶]+	前 / 次のフォルダの先頭ファイルから再生します。

USB メモリー /SD カード /iPod/Bluetooth オーディオ機器を使う

キー	説明
[表示モード]	情報表示と再生リスト表示を切り替えます。 ➡ 再生中のファイルリストから再生する (P.83)
[AV 設定]	AV 設定画面を表示します。➡ AV の設定をする (P.58)
[ALL]	タッチするたびにリピート再生モードが「ALL」/「1」/「フォルダ」に切り替わります。
[OFF]	タッチするたびにランダム再生モードが「OFF」/「ALL」/「フォルダ」に切り替わります。
[カテゴリー DB 更新]	再生中の USB メモリーまたは SD カードの、カタログリーデータベースを作成または更新をします。 ➡ カタログリーデータベースを作成、更新する (P.84)
[リスト]	再生リストを表示します。 ➡ 再生リストについて (P.83)

□!知識

- 操作キーは一定の時間がすぎると非表示になります。画面右上の「[非表示]」でも非表示にできます。

再生中のファイルリストから再生する

1. **画面をタッチする**
操作キーが表示されます。
2. **[表示モード] をタッチする**
再生中のファイルリストが表示されます。
3. **ファイル名をタッチする**
タッチしたファイルが再生されます。

再生リストについて

USB ソースおよび SD ソースの選曲方法は
フォルダリストまたはカタログリーリストから
選択できます。

再生リストを選ぶ

1. **[リスト] をタッチする**
再生リスト画面が表示されます。
2. **選曲したい再生リストを選ぶ**
[カタログリーリスト]/[フォルダリスト]をタッチすると再生リストが切り替わります。

フォルダリスト：パソコンで保存したファイルをそのままの状態で再生します。[トップ階層へ]、[1 つ上の階層へ]をタッチするとフォルダが表示されます。

カタログリーリスト：本機でカタログリーデータベースを作成した USB メモリーまたは SD カードをカタゴリーから選んで再生します。[トップ階層へ]、[1 つ上の階層へ]をタッチするとアーティスト、アルバムなどのカタゴリーが表示されます。

□!知識

- カタログリーリストからの選曲にはデータベースを作成する必要があります。カタログリーデータベースがないときは確認画面が表示されます。

フォルダから再生する

1. **[リスト] をタッチする**
再生リスト画面が表示されます。
カタログリーリストが表示されている場合は
フォルダリストに切り替えます。➡ [再生リストを選ぶ \(P.83\)](#)
2. **再生したいファイル名をタッチする**
選択したファイルから再生が開始され、元の画面に戻ります。
フォルダを選択した場合は、フォルダ内の
ファイルがリスト表示されます。
[リスト内全曲再生]：リストの最初のファイルから再生します。
[トップ階層へ]：一番上の階層のフォルダに移動します。
[1 つ上の階層へ]：1 つ上の階層のフォルダに移動します。

カテゴリーデータベースを作成、更新する

はじめてカテゴリー mode で再生するときは、カテゴリーデータベースを作成します。アーティスト、アルバムなどのカテゴリーから再生する曲を選択できるようになります。

1. [カテゴリー DB 更新] をタッチする
2. 確認画面で [はい] をタッチする
カテゴリーデータベースが作成または更新されます。

!知識

- カテゴリーモードで再生するには、カテゴリーデータベースを作成する必要があります。
- オーディオ / ビデオファイルの追加、消去を行ったときには、カテゴリーデータベースを更新してください。
- USB メモリーまたは SD カード内のオーディオ / ビデオファイルを追加、消去した場合に、カテゴリーデータベースを更新します。
- カテゴリーデータベースは、VOINPUT (音声入力アプリ) での楽曲の音声検索にも利用します。
- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB メモリーまたは SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作ができません。
- カテゴリーデータベースを作成すると、USB メモリーまたは SD カードに「_ContentsDB」フォルダが作成されます。「_ContentsDB」フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。

カテゴリーリストから再生する

1. [リスト] をタッチする
再生リスト画面が表示されます。
フルダリストが表示されている場合はカテゴリーリストに切り替えます。④ 再生リストを選ぶ (P.83)

2. **再生したいカテゴリー、またはファイル名をタッチする**

選択したファイルから再生が開始され、元の画面に戻ります。

カテゴリーを選択した場合は、カテゴリー内のファイルがリスト表示されます。

[リスト内全曲再生] : リストの最初のファイルから再生します。

[ ] : オーディオファイルのリストとビデオファイルのリストを切り替えます。

[トップ階層へ] : 一番上の階層のフォルダに移動します。

[1 つ上の階層へ] : 1 つ上の階層のフォルダに移動します。

!知識

- SD カード /USB メモリーに収録されているファイル数が多くなるほど各リストが表示されるまでに時間がかかります。
- カテゴリーモードでビデオファイルを選択している場合、ビデオファイルのリストが同じ階層に全て表示されます。

音楽 CD を録音する

音楽 CD を本機に挿入されている SD カードに録音することができます。
録音された曲は、「REC Audio」ソースで再生することができます。

録音について

- 音楽 CD を録音するときは、お買い上げ時に本機に挿入されている専用 SD カードを使用してください。
- 録音中に他の AV ソースに切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、REC Audio ソース、TV ソース、SD ソースは選択することができません。
- 録音中に地図などの別の画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 録音中は、現在地図画面左下に「REC」アイコンが表示されます。
② 情報バーの表示について (P.32)
- 本機は SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を録音することはできません。
- SD カードの容量がいっぱいと録音できない場合は、メッセージが表示されます。不要なデータを消去してから録音してください。
② 録音した曲を消去する (P.88)
- 録音する音楽 CD のアルバム情報がない場合は、次のように名前が付けられます。

- 曲名: _ "Track" + Track 番号 _ 年 (西暦)
_ 月日 _ 時刻 (24 時間制)
- アーティスト名: _ "Artist" _ 年 (西暦)
_ 月日 _ 時刻 (24 時間制)

- アルバム名: _ "Album" _ 年 (西暦)
_ 月日 _ 時刻 (24 時間制)

なお、年、月日、時刻は、その音楽 CD が初めて録音されたときの開始時のものです。

- 楽曲情報は本機で編集することができます。
② 画面表示の見かた (P.86)
- 録音中は、録音設定の変更はできません。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。

- 付属の SD カード (8GB) :
 - 96kbps…約 2900 曲
 - 128kbps…約 2100 曲
 - 192kbps…約 1450 曲
 - 256kbps…約 1050 曲
 - 320kbps…約 850 曲
- 録音可能アルバム数は最大 999 枚です。

録音する

1. **録音したい音楽 CD を本機に挿入する**
② ディスクを入れる / 取り出す (P.72)
「自動録音」に設定している場合は録音が開始されます。手順 2 から 4 の操作は必要ありません。
② 録音設定をする (P.86)
2. **[録音] をタッチする**

3. 録音する曲を選択する

- : 録音していない曲
- : 録音済みの曲

[全て選択] : 全ての曲を選択します。
[全て解除] : 全ての曲の選択を解除します。

4. [録音開始] をタッチし、確認画面で [はい] をタッチする

全ての録音が終了すると、[録音モード終了] が表示されます。

5. [録音モード終了] をタッチする

確認メッセージが表示されます。
[はい] をタッチすると、録音モードが終了します。

Q!知識

- CD 再生画面を表示するには音楽 CD 挿入中に、AV メニューから [CD/DVD] をタッチします。
- 電源をオフしたいときは、録音を停止してください。録音を中断しても、その時点での録音を完了しているデータは保存されます。
- 本機に SD カードが挿入されていないと録音できません。
- 手順 3 で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが上書きされます。

■!知識

- SD カードに録音できない場合は、SD カードの初期化を行ってください。ただし、データは全て消去されます。
- ② システムの設定をする (P.126)
- 録音中は、録音中アイコンと録音済み / 録音予定の曲数が表示されます。また、プログレスバーで録音の状況を確認できます。



- 録音中に電源をオフになると、次回電源オン時に引き続き録音が再開されます。
- 録音中はシークバーを操作できません。
- 録音中に [リスト] をタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されます。
 - : 録音済みの曲
 - : 録音中の曲（赤）
 - : 録音予定の曲（白）
 - : 録音予定がない曲（グレー）
 - : エラーが発生して録音されなかった曲
- 録音中に [録音停止] をタッチすると、録音を停止します。
- 録音を停止しても、録音が終わっているトラックは SD カードに保存されます。

録音設定をする

音楽 CD から録音するときの設定をします。また、SD カードに録音できる残り時間も表示されます。

- CD 再生画面で [録音設定] をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[録音管理]	「自動録音」* は挿入した音楽 CD に含まれる曲を全て録音します。音楽 CD を挿入すると録音を開始します。 ただしすでに（一曲でも）録音したことのある音楽 CD を挿入した場合は、録音を開始しません。 「手動録音」は、全曲または録音したい曲を選択して録音することができます。② 録音する (P.85)
[録音音質]	録音音質（ビットレート：96kbps/128kbps/192kbps/256kbps*/320kbps）を設定します。

■!知識

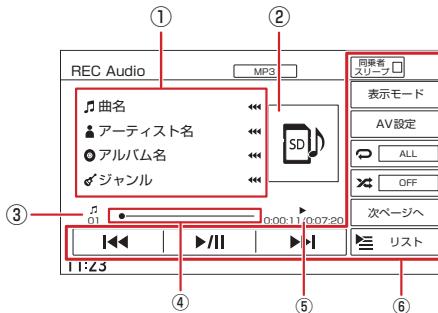
- CD 再生画面を表示するには音楽 CD 挿入中に AV メニューから [CD/DVD] をタッチします。
- 「残り録音可能時間」には、SD カードに録音できる時間が表示されます。

REC Audio の音楽を聞く**録音したファイルを再生する**

<メニュー>ボタンを押し、画面左側の [▶] をタッチし、AV メニューで [REC Audio] をタッチする

■!知識

- 録音された曲は、本機の REC Audio ソースでのみ再生できます。SD ソースでは再生できません。

画面表示の見かた

① ♪ 曲名（ファイル名）

② アーティスト名

③ アルバム名

④ ジャンル

再生中の曲名（ファイル名）、アーティスト名、アルバム名、ジャンルが表示されます。

② アルバムアートワーク

再生中のアルバムアートワークが表示されます。

③ ファイル番号

再生中のファイル番号が表示されます。

④ シークバー

現在の再生位置が表示されます。

バーをドラッグ、またはタッチして再生位置を変更できます。

⑤ 演奏時間 / 総演奏時間

演奏時間と総演奏時間が表示されます。

⑥ 操作キー

キー	説明
[同乗者スリープ]	同乗者スリープの設定をオン / オフで切り替えます。 ⇒ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.58)
[▶/■]	再生または一時停止（ポーズ）します。
[◀◀]/[▶▶]	<ul style="list-style-type: none"> ● [▶▶] をタッチすると次の曲を再生します（スキップ）。 ● [◀◀] をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに [◀◀] をタッチすると前の曲を再生します。 ● タッチし続けると、早戻しましたは早送りします。
[表示モード]	情報表示と再生リスト表示を切り替えます。

キー	説明
[AV 設定]	AV 設定画面を表示します。 ⇒ AV の設定をする (P.58)
[ALL]	タッチするたびにリピート再生モードが「ALL」 / 「1」に切り替わります。
[OFF]	タッチするたびにランダム再生モードが「OFF」 / 「曲」に切り替わります。
[次ページへ]/[前ページへ]	右側の操作キーを切り替えます。
[タイトル編集]	録音したファイルのタイトルを編集します。 ⇒ 録音した曲のタイトル情報を修正する (P.89)
[録音データ削除]	本機で録音した音楽ファイルを消去します。 ⇒ 全ての曲を消去する (録音データ初期化) (P.88) ⇒ 曲を選んで消去する (P.88)
[リスト]	再生リストを表示します。

□!知識
● アルバムアートワークは、情報があるときに表示されます。アルバムアートワークの情報がなく、ジャンル情報があるときはジャンルの画像を表示します。どちらも情報がない場合は、左の画面と同じになります。
● 曲名（ファイル名）、アーティスト名、アルバム名、ジャンルでそれぞれの情報が全て表示されないときは、[◀◀◀] をタッチするとスクロール表示します。
● 走行中は、アルバム名とアーティスト名、ジャンル名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。
● シークバーは走行中でも操作できます。
● リピート再生モードを設定するとランダム再生モードは「OFF」になります。
● ランダム再生モードを設定するとリピート再生モードは「ALL」になります。

録音した曲を消去する

SD カードに録音したデータを消去します。

全ての曲を消去する (録音データ初期化)

SD カードに録音した全てのデータを消去します。

- [録音データ削除] をタッチする
- [REC Audio 全て削除] をタッチする
メッセージが表示されます。
- [はい] をタッチする
ファイルが全て消去されます。

曲を選んで消去する

- [録音データ削除] をタッチする
- 消去するファイルを選んでタッチする
[全て選択]: 全ての曲を選択します。
[全て解除]: 全ての曲の選択を解除します。
- [消去] をタッチする
メッセージが表示されます。
- [はい] をタッチする
ファイルが消去されます。

Gracenote データベースを 更新する

本機の Gracenote データベースを更新します。

パソコンで指定のホームページからデータベース更新ファイルを取得して、本機の Gracenote データベースを更新します。Gracenote データベースの更新方法は、「ローカルアップデート」と「カスタムアップデート」があります。

■ アドバイス

- Gracenote データベース更新中にエンジンを切らないでください。ファイルが消えてしまったり、USB メモリーまたは SD カードが破損するおそれがあります。

■ 知識

- ローカルアップデートのデータベース更新は 2030 年 12 月をもって終了させていただきます。ご了承ください。

■ ローカルアップデート

ローカルアップデート（定期更新）では、複数のタイトル情報をまとめてデータベースを更新します。

■ カスタムアップデート

アルバムを個別に取得し、データベースを更新します。

準備する

データベースの更新（ローカルアップデート / カスタムアップデート）をするには、パソコン、インターネット接続環境、SD カードなどの動作環境が必要です。必要な動作環境については、指定のホームページをご覧ください。また、専用のアプリケーションが必要です。専用アプリケーションも指定のホームページから入手できます。操作方法についても指定のホームページをご覧ください。

■ 指定のホームページ

<http://www.nissan.co.jp/>

※上記にアクセスし、「アクセサリー」メニューから「ナビゲーション／オーディオ」→「ナビ関連データ」→「楽曲タイトルデータベース更新について」を選んでください。

※ Web サイトのアドレスやメニューは都合により変更させていただく場合があります。

■ アップデートするメディアを選ぶ

- <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [AV 設定] → [その他設定] → [Gracenote 設定] → [アップデートメディア選択] をタッチする
- [USB] または [SD] をタッチする

ローカルアップデートで更新する

- 指定のホームページの手順に従って、
➡ アップデートするメディアを選ぶ
(P.88) で設定したメディアにタイトル
情報を保存する
- 本機にタイトル情報を保存したメディアを
認識させる
- <メニュー>ボタンを押し、[情報・
設定 ▼] → [AV 設定] → [その他設
定] → [Gracenote 設定] → [楽曲情報
の読み込み (カスタムアップデート)] をタッ
チする
メッセージが表示されます。
- [はい] をタッチする

カスタムアップデートで更新する

- ➡ アップデートするメディアを選ぶ
(P.88) で設定したメディアを本機に認
識させる
- <メニュー>ボタンを押し、[情報・
設定 ▼] → [AV 設定] → [その他設
定] → [Gracenote 設定] → [楽曲情報
の書き出し (カスタムアップデート)] をタッ
チする
メッセージが表示されます。
- [はい] をタッチする
- 指定のホームページの手順に従って、タイ
トル情報を保存したメディアを本機に認識
させる

- <メニュー>ボタンを押し、[情報・
設定 ▼] → [AV 設定] → [その他設
定] → [Gracenote 設定] → [楽曲情報
の読み込み (カスタムアップデート)] をタッ
チする
メッセージが表示されます。

- [はい] をタッチする

録音した曲のタイトル情報を 修正する

録音時にタイトル情報が取得できなかった場
合や、録音時に取得したタイトル情報を変更
したい場合は、本機で編集することができます。

- REC Audio 再生画面で [タイトル編集]
をタッチする
- [はい] をタッチする
再生していた曲が含まれるアルバムの全曲
リストが表示されます。

タイトル情報を編集する

- 編集したい曲をタッチする
編集項目が表示されます。

項目	説明
[ジャンル]	ジャンルを選択します。
[アルバムアートワーク]	録音ファイルにお好みの画像をアートワークとして表示させることができます。

Q!知識

- アルバムアートワークは、録音データを再
生するときにアルバム単位で、SD カード
または USB メモリーに保存したお好みの
画像ファイル (JPEG または PNG、データ
サイズ 650KB 以下) をアートワークと
して表示させることができます。
- 本機で SD カードに録音した曲のフォルダ
/ ファイル名をパソコンなどで変更した場
合、REC Audio で再生できなくなります。

タイトルを消去する

- [タイトル消去] をタッチする
- 確認メッセージが表示され [はい] をタッ
チする
現在の曲を含むアルバム内全てのタイトル
を消去します。

項目	説明
[曲名]	曲名を編集します。
[アルバム名]	アルバム名を編集すると、同一アルバム内 の全ての曲に反映されます。
[アーティスト名]	アーティスト名を編集しま す。

外部機器の接続

外部機器の映像を見る / 音声を聞く

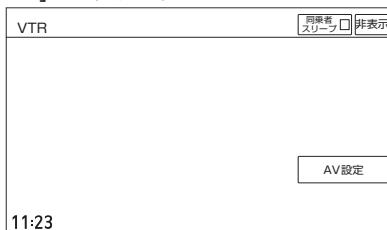
本機に接続した外部ビデオ機器の映像や外部オーディオ機器の音楽を視聴します。

アドバイス

- 外部機器の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続、挿入しないでください。
- 接続する前に、外部機器と本機の電源を切ってください。(本機の電源を入れたまま AV 機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。)
- 電源を切るときは、接続した機器の電源を切ってから本機の電源を切ってください。

外部機器を再生する

<メニュー>ボタンを押し、画面左側の [▶] をタッチし、AV メニューで [VTR] * または [AUX] [!] をタッチする



知識

- 外部ビデオ機器の接続には別売の AV ケーブルが必要です。日産販売会社へご相談ください。
- AV ケーブルの場所は、車種によって異なります。詳しくは日産販売会社にご確認ください。
- 操作のしかたはそれぞれの機器の取扱説明書をご確認ください。
- ドライブレコーダー装着車は、[VTR] が [ドライブレコーダー] になり、[VTR] を選択することはできません。
- 別売の日産オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダー / ドライブレコーダーを本機に接続している場合、AV ケーブルの接続はできません。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるよう調整してください。

MJ322D-W MJ122D-W

- 外部オーディオ機器の接続には市販品のステレオミニプラグ (Φ 3.5mm) のオーディオケーブルが必要です。

[!] … [MJ322D-W] [MJ122D-W] のみ

★ オプションの装着により選択できない場合があります。

カメラシステム・ドライブレコーダー・ETC

カメラシステム

バックビューモニターシステムについてのご注意	92
バックビューモニターの見かた	93
バックビューモニターの目安線を調整する	94
インテリジェントアラウンドビューモニター (移動物検知機能付き) を使う	95

ETC

ETC の利用について	103
ETC2.0 の設定をする	104
ETC2.0 情報を見る	106

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの 映像を見る	96
録画 / 記録したファイルを再生する	97
ファイルを消去する	99
日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの microSD カードを初期化（フォーマット）する	99
日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの 設定をする	100

ドライブレコーダー

ドライブレコーダーの映像を見る	102
-----------------	-----

バックビューモニターシステムについてのご注意

本機にディーラーオプションのバックビューモニターを接続すると、画面に車両後方の映像を表示できます。

カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

△ 注意

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直視目で車の周囲の安全を確認して、すぐに止まれる速度（徐行）でご利用ください。

アドバイス

- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- バックビューモニターシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

使用上のお願い

■ カメラには強い衝撃を与えない

カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。破損して火災・感電の原因となることがあります。

■ カメラを汚さない

- カメラ部に泥・雨滴・雪などが付着すると、バックビューモニターの映りが悪くなりますので、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- カメラ部に泥・雪などが付着して、泥が固まったり、氷がついてしまっているときは、棒などでたたいて泥や氷を落とさずに、ぬるま湯をかけて洗い流してください。破損して火災・感電の原因となることがあります。

■ タバコなどの火気を近づけない

カメラやコード類にタバコなどの火気を近づけないでください。破損や発火の原因となることがあります。

■ 安全な保守・点検を行うために

● カメラレンズ部は傷を付けない

ボディ洗車する場合やカメラレンズ部の汚れを拭き取る際は傷を付けないよう注意してください。カメラレンズ部への洗車ブラシ等のご使用はしないでください。バックビューモニター映像への影響がでることがあります。

● ボディワックスはカメラレンズ部に付けない

ボディワックスをかける場合は、ワックスがカメラレンズ部に付かないよう注意してください。カメラレンズ部のコーティング性能を劣化させる原因となることがあります。

■ カメラの映像について

部分的に明るい光を映したとき、画面が白くぼやけて見えにくくなることがありますが、故障ではありません。

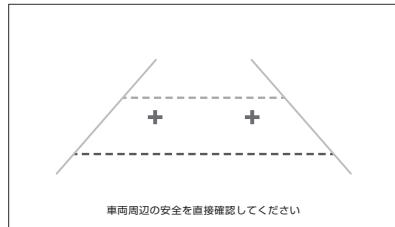
■ 無線機のアンテナを近くに取り付けない

無線機の電波がケーブルに飛び込むと、バックビューモニター映像に斜めの縞模様が出ることがあります。

バックビューモニターの見かた

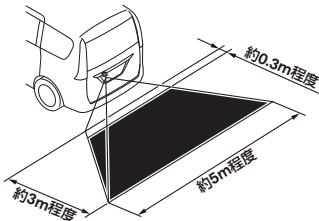
バックビューモニターの映像を表示する

- シフトレバーを“R”（リバース）にする
バックビューモニターの映像が表示されます。

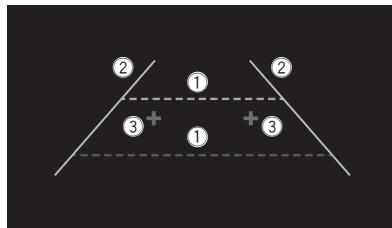


映し出す範囲のイメージ図

※車種によりバックビューモニターの映し出す範囲が異なります。



目安線について



- ① 距離目安線（緑色：車両後端約 2 m、赤色：車両後端約 0.5 m）
車両後方の距離の目安を表示
- ② 車幅目安線（黄色）
後退したときの車幅の目安を表示
- ③ バックドア開閉目安点（青色）
バックドアの開閉に必要なスペースの目安を表示

■知識

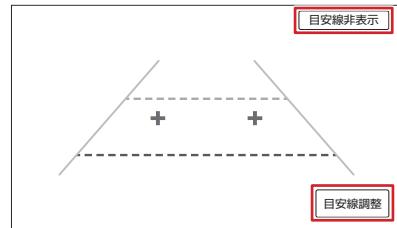
- カメラのレンズ部が汚れていると、映りが悪くなりますので清掃してください。
- 次のような場合は、バックビューモニターの映像が見づらくなることがあります、故障ではありません。
 - 暗いところ（夜間など）や極端に暑いとき（寒いとき）は、映りが悪くなることがあります。
 - 直接カメラに強い光が入ると、映像に影響が出ることがあります。
 - 蛍光灯等の照明の下では、画面がちらつくことがあります。
 - バンパーなどからの強い反射光が入ると、映像に影響が出ることがあります。

■知識

- 夜間や暗い場所、照明の下などではモニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着すると、バックビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。

■バックビューモニター操作キーを使う

- バックビューモニター映像をタッチする
バックビューモニター操作キーが表示されます。

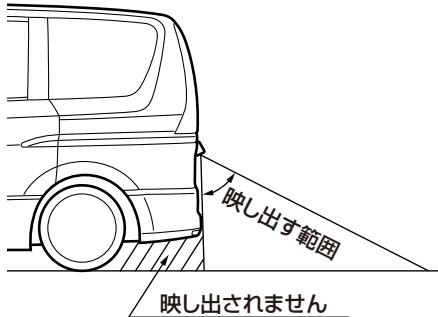


[目安線表示]/[目安線非表示]：目安線を表示、または目安線を非表示にします。

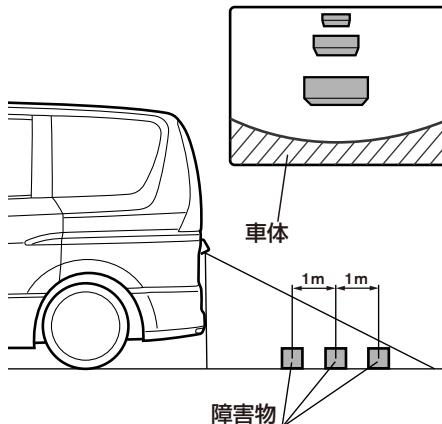
[目安線調整]：目安線を調整します。

カメラシステム

バックビューモニター使用時の ご注意



バックビューモニター映像画面



⚠ 警告

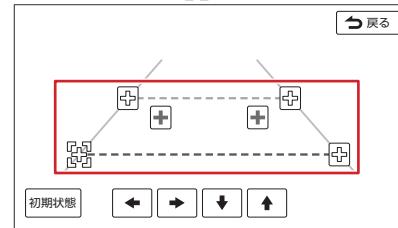
- バックビューモニターが映し出す範囲には限界があります。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら後退を開始してください。
- バックビューモニターの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- バックビューモニターの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。

⚠ 注意

- バックビューモニターの映像は広角レンズを使用しておりますので、実際の距離と感覚が異なります。ゆっくり後退してください。
- バックビューモニターの映像はバックミラー やサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた鏡像です。

バックビューモニターの目安線を 調整する

1. バックビューモニター映像をタッチする
2. [目安線調整] をタッチする
バックビューモニター操作キーが表示されます。
3. 調整するカーソル (+) をタッチする
カーソルに緑枠 (■) が追加されます。



4. [←]/[→]/[↓]/[↑] をタッチして、ガイド線を調整する
[初期状態]：ガイド線の位置を初期状態に戻します。

アドバイス

- バックビューモニター画面上の "+" はバックドアの開閉に必要なスペースの目安点です。これ以上車両を後退させるとバックドアを開いたとき障害物とぶつかる危険性があります。

インテリジェントアラウンドビュー モニター（移動物検知機能付き） を使う [MJ322D-L] [MJ322D-W] のみ

インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）搭載車は、インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）の映像を表示できます。※車種によっては、モニター名称が異なります。



- インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）の注意事項および詳しい操作方法については、車両の取扱説明書をご覧ください。



- 車種によっては、本機の画面にインテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）の映像が表示できない場合があります。

映像を表示する / 非表示にする

■ 映像を表示する

1. < ⇧ >（オプション）ボタンを押す、または車両のシフトレバーをリバースに入れる

※車種によっては、< ⇧ >ボタンを操作しても表示できない場合があります。この場合、車両側のスイッチを操作して表示させてください。

■ 映像を非表示にする

1. < ⇧ >ボタンを数回押す、または車両のシフトレバーをリバース以外に入れる走行速度が上がると、インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）の映像から元の画面に切り替わります。
※車種によっては、< ⇧ >ボタンを操作しても非表示にできない場合があります。この場合、車両側のスイッチを操作して非表示にさせてください。

ソナーのオン / オフを切り替える

ソナー付きのインテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）装着車の場合は、本機でソナーのオン / オフを切り替えることができます。

1. < ⇧ >ボタンを長押しする



- ソナーについて詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください。



- 車種によってはソナーのオン / オフができない場合があります。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

日産オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーの映像を見る

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面で日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの映像を見ることができます。



- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの注意事項および詳しい操作方法については、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

日産オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーの映像を 表示する

1. <メニュー>ボタンを押し、画面左側の[\blacktriangleright]をタッチし、AVメニューで[ドライブレコーダー]をタッチする
ドライブレコーダーの映像が表示されます。

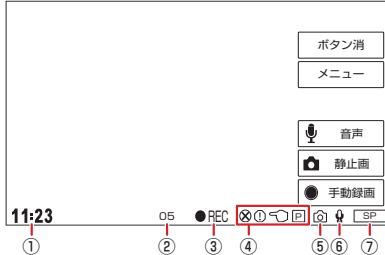


- 別売のAVケーブルを本機に接続している場合、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは接続できません。
- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは、パソコンとビューアーソフトを使って、ファイルの再生やバックアップなどを行うことができます。詳しくは日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

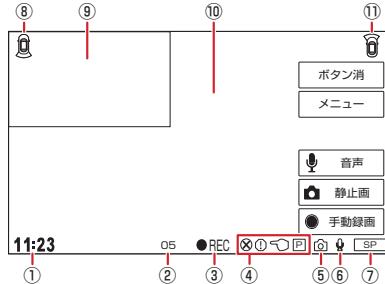
★ オプションの装着により異なります。

画面表示の見かた

ドライブレコーダー（フロント）画面*



ドライブレコーダー（フロント+リヤ）画面*



③ 録画マーク

- REC : 常時録画中
- : 手動録画中
- ① : イベント記録中
- ② : 録画停止中

④ エラーマーク

- ✗ : 手動録画不可
- ✗ ① : イベント記録不可
- ✗ P : 駐車録画不可

⑤ 静止画撮影マーク

静止画を撮影したときに表示します。

⑥ 音声記録マーク

- : 音声記録オン
- ✗ : 音声記録オフ

⑦ 録画画質マーク

- UXP : 最高画質
- XP : 高画質
- SP : 標準画質
- LP : 長時間画質

⑧ リヤカメラアイコン

⑨ リヤ常時録画映像

⑩ フロント常時録画映像

⑪ フロントカメラアイコン

日産オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーの映像を 表示する

1. <メニュー>ボタンを押し、画面左側の[\blacktriangleright]をタッチし、AVメニューで[ドライブレコーダー]をタッチする
ドライブレコーダーの映像が表示されます。

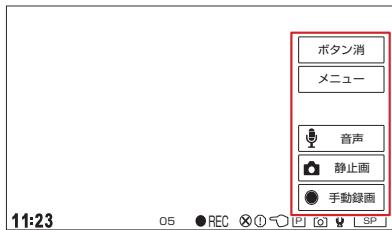


- 別売のAVケーブルを本機に接続している場合、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは接続できません。
- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーは、パソコンとビューアーソフトを使って、ファイルの再生やバックアップなどを行うことができます。詳しくは日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

★ オプションの装着により異なります。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

表示されるキーとはたらき



キー	説明
[ボタン消]	操作キーを非表示にします。
[メニュー]	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのメニュー画面を表示します。
[音声]	常時録画の音声記録のオン(音声記録する)、オフ(音声記録しない)を切り替えます。
[静止画]	静止画を撮影します。
[手動録画]	手動録画を行います。

知識

- お買い上げ時の設定については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。
- 操作キーは一定の時間がすぎると非表示になります。画面の[ボタン消]でも非表示にできます。
- 操作キーは、映像画面をタッチすると表示されます。

知識

- [メニュー]をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。
- 地図画面やトップメニュー画面に切り替えたり、AVソースの切り替えなどをしても日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー画面を終了すると録画が再開されます。
- [音声]では手動録画とイベント記録の音声記録オン/オフの切り替えはできません。
- 現在地図画面の手動録画(■)または静止画撮影(●)をタッチしても手動録画または静止画撮影を行うことができます。
- 手動録画中に[手動録画]をタッチすると手動録画を延長できます。

録画 / 記録したファイルを再生する

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画 / 記録したファイルを本機で再生できます。

録画 / 記録したファイルを選んで再生する

- ドライブレコーダーの映像画面をタッチし、[メニュー] → [ファイル再生]をタッチする
- フォルダを選んでタッチする
- 再生したいファイルを選んでタッチする

知識

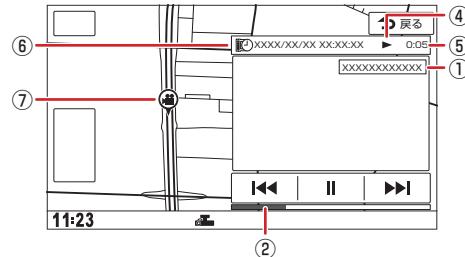
- 走行中は録画 / 記録したファイルを再生することはできません。
- 手順1で[メニュー]をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

画面表示の見かた

ファイル再生画面（録画再生時）



ファイル再生画面（地図表示時）



日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

- ① ファイル名
 - ② プログレスバー
再生の進捗を表示します。
 - ③ 時計表示
現在の時刻を表示します。
※設定により非表示にできます。
[④ システムの設定をする \(P.126\)](#)
 - ④ 動作状態
 - ▶ : 通常再生 ■ : 一時停止
 - ▶▶ : 早送り ◀◀ : 早戻し
 - ▶▶▶ : スロー送り ◀◀◀ : スロー戻し
 - ⌚ : 静止画ファイル再生
 - ⑤ 再生時間
 - ⑥ 再生ファイルの日時
 - ⑦ 撮影地点マーク
撮影した場所を⌚ (静止画の場合は📍) で示します。
- 📖!知識**

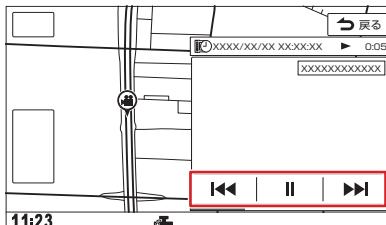
 - [地図表示] をタッチして表示された地図画面では、地図のスクロールができません。
 - 再生中のファイルが保護されていると、ファイル名に保護マーク (🛡) が表示されます。
 - 本機の電源を入れてから日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーと接続できるまでの間など、録画中に位置情報を記録できない場合があります。この場合、撮影地点マークは表示されません。

表示されるキーとはたらき

ファイル再生画面（録画再生時）



ファイル再生画面（地図表示時）



キー	説明
[消去]	再生中のファイルを消去します。 ※保護されているファイルは消去されません。
[◀◀]	前のファイルに戻します。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早戻しします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー戻しします。
[■]/[▶]	一時停止 / 再生します。
[▶▶]	次のファイルに進めます。 録画ファイルの再生中にタッチしたままにすると、早送りします。 録画ファイルの一時停止中にタッチしたままにすると、スロー送りします。

📖!知識

- 操作キーは一定の時間がすぎると非表示になります。画面の [ボタン消] でも非表示にできます。
- 操作キーは、映像画面をタッチすると表示されます。
- 常時録画ファイルは保護できません。

キー	説明
[ボタン消]	操作キーを非表示にします。
[地図表示]	画面を 2 つに分け、地図画面と再生画面を表示します。
[ズーム]	ズーム操作キーを表示し、映像を拡大 / 縮小します。
[保護] / [保護解除]	再生中のファイルの保護 / 保護解除が切り替わります。 ※常時録画ファイルは保護できません。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

ファイルを消去する

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーで録画 / 記録したファイルを消去できます。

ファイルを選んで消去する

1. ドライブレコーダーの映像画面をタッチし、[メニュー] → [ファイル再生] をタッチする
2. フォルダを選んでタッチする
3. [ファイル管理] → [ファイルを選択して消去] をタッチする
4. リストから消去したいファイルを選んでタッチし、 (チェックマーク) を付けるタッチするたびに (チェックマーク) の表示 / 非表示が切り替わります。
5. [決定] をタッチし、確認画面で [はい] → [はい] をタッチする
 (チェックマーク) を付けたファイルが消去されます。

■!知識

- 手順 1 で [メニュー] をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

■!知識

- 保護されたファイルは消去されません。
- [全て選択] をタッチすると全てのファイルに (チェックマーク) を付けます。(保護されたファイルは (チェックマーク) が付きません。)
- [全て解除] をタッチすると全てのファイルの (チェックマーク) を消します。

フォルダ内のファイルを全て消去する

1. ドライブレコーダーの映像画面をタッチし、[メニュー] → [ファイル再生] をタッチする
2. フォルダを選んでタッチする
3. [ファイル管理] → [フォルダ内のファイルを全て消去] をタッチし、確認画面で [はい] → [はい] をタッチする

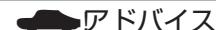
■!知識

- 保護されたファイルは消去されません。
- 手順 1 で [メニュー] をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。

日産オリジナルナビゲーション連動 ドライブレコーダーの microSD カードを初期化 (フォーマット) する

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの microSD カードを初期化 (フォーマット) します。

※本操作では本機の SD カードは初期化されません。



アドバイス

- microSD カードを初期化 (フォーマット) すると、保護したファイルを含め全てのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップしてから初期化 (フォーマット) してください。

1. ドライブレコーダーの映像画面をタッチし、[メニュー] → [SD カード初期化] をタッチする
2. 確認画面で [はい] → [はい] をタッチする

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする

別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合、本機で日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定を行うことができます。

1. <メニュー>ボタンを押し、画面左側の [▶] をタッチし、AV メニューで [ドライブレコーダー] をタッチする
ドライブレコーダーの映像が表示されます。
2. 画面をタッチし、[メニュー] をタッチする

図!知識

- 手順 2 で [メニュー] をタッチすると、録画が停止します。録画停止中は、手動録画やイベント記録の録画も行いません。
- 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音やファイル再生音声は、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー本体のスピーカーから出力されます。

録画時間の目安について

- microSD カード容量 8GB で常時録画の場合、最高画質：最大 70 分、高画質：最大 100 分、標準画質：最大 150 分、長時間画質：最大 240 分

(お買い上げ時の設定については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。)

項目	説明
[駐車録画設定]	[録画時間] 駐車録画の録画時間を設定します。 「録画しない」に設定すると、駐車録画を行いません。
	[録画待機開始時間] 車両のキースイッチ（電源ポジション）を OFF にした直後から一定時間、駐車録画を無効にします。 無効にする時間を設定してください。 「降車時から」に設定すると、車両のキースイッチ（電源ポジション）を OFF にした直後から駐車録画が有効になります。
	[録画待機終了時間] 車両のキースイッチ（電源ポジション）を ACC または ON にする直前の一定時間、駐車録画を無効にします。 無効にする時間を設定してください。 「乗車時まで」に設定すると、車両のキースイッチ（電源ポジション）を ACC または ON にする直前の駐車録画を無効にしません。
	[上書き保存] 駐車録画のファイル数がいっぱいになると、古い駐車録画ファイルから順に上書き「ON」（上書きする）、「OFF」（上書きしない）を設定します。

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー

項目	説明
[駐車録画設定]	[感度設定] 駐車録画を開始する検出の感度を5段階で設定します。 高い値に設定するほどに、小さな衝撃で検知します。 ※お買い上げ時の設定は車種により異なります。ただし、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定を初期化すると、車種にかかわらず3(中)になります。
[動画記録設定]	[動画画質] 録画する映像の画質を設定します。
	[音声記録] 録画時に音声を記録するかどうかを設定します。
	[上書き保存(手動)] 手動録画のファイル数がいっぱいになると、古い手動録画ファイルから順に上書き「ON」(上書きする)、「OFF」(上書きしない)を設定します。
	[上書き保存(イベント)] イベント記録のファイル数がいっぱいになると、古いイベント記録ファイルから順に上書き「ON」(上書きする)、「OFF」(上書きしない)を設定します。
	[感度設定(イベント)] イベント記録を開始する検出の感度を5段階で設定します。 高い値に設定するほどに、小さな衝撃で検知します。 ※お買い上げ時の設定は車種により異なります。ただし、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定を初期化すると、車種にかかわらず3(中)になります。
[システム設定]	[通知音量] []/[]をタッチして、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの報知音の音量を設定します。
	[再生音量] []/[]をタッチして、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのファイル再生音量を設定します。
	[出荷時設定に初期化] 確認画面で[はい]→[はい]をタッチして、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[システムバージョン] 日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムバージョンを表示します。
[SDカード初期化]	確認画面で[はい]→[はい]をタッチして、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのmicroSDカードを初期化(フォーマット)します。
[システム更新]	確認画面で[はい]をタッチして、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーのシステムを更新します。 ※システム更新については日産販売会社にお問い合わせください。

ドライブレコーダーの映像を見る

別売のドライブレコーダーを接続している場合、本機の画面でドライブレコーダーの映像を見ることができます。

ドライブレコーダーの映像を表示する

1. <メニュー>ボタンを押し、画面左側の[]をタッチし、AVメニューで[ドライブレコーダー]をタッチする
ドライブレコーダーの映像が表示されます。



知識

- ドライブレコーダーの映像画面をタッチするとソース名が表示されます。
- 本機からはドライブレコーダーを操作できません。操作方法については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ETC の利用について

本機は ETC2.0 車載器（別売）を接続することができます。
ETC2.0 車載器について詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。接続可能な ETC2.0 車載器の詳細は、日産販売会社へご相談ください。

■!知識

- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス（情報配信サービス）には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。
- 車両のキースイッチ（電源ポジション）を ON にしたときに、ETC2.0 車載器からエラーメッセージが音声でお知らせされた場合は、ETC2.0 車載器の故障が原因と考えられます。再度車両のキースイッチ（電源ポジション）を ON にしても異常が発生する場合は、ETC2.0 車載器のアンテナにある確認ランプが点灯していることを確認してください。確認ランプが消灯しているときは ETC を利用できません。詳しくは別売の ETC2.0 車載器の取扱説明書をご覧ください。

ETC2.0 情報について

ETC (Electronic Toll Collection System) は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

ETC2.0 車載器（別売）を接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報の提供を受けることができます。

■!知識

- ETC 機能についての音声案内（料金案内、カード挿入 / 排出、カード有効期限、エラーコード）は、本機から出力されます。
- 有効期限は、期限から 1 か月以内になったときに出力されます。

■ITS スポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0 車載器との 5.8GHz 帯を利用した双方向通信により、前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムにお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

- 国土交通省 国土技術政策総合研究所
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html
- 道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用および取り扱いについて）
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html

■!知識

- ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

■ETC 予告アンテナについて

ETC 料金所の手前や SA・PA からの合流後に ETC 予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETC カードの挿し忘れや挿し込み不良、ETC カードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETC がご利用できません」または「ETC カードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC／一般」と表示されたレーンをご使用ください。

- 運転中に ETC カードの挿入操作は危険ですのでおやめください。

■アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）を ITS スポットに送信する機能です。

送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。

走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。

アップリンクしないように設定することができます。❷ ETC の渋滞情報を設定する（P.105）

アップリンクについては ETC2.0 車載器の取扱説明書をご覧ください。

■ VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS 情報が表示されます。
② **VICS 情報を見る (P.48)**
- 案内情報を受信すると、割り込み表示されます。

音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。

対応している情報の種類は、次のとおりです。

- 優先情報：安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
- 一般情報：電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。
- 渋滞のある箇所に近づいたら、渋滞情報をもとに最適時間を考慮したルートが探索されます。

知識

- 渋滞考慮探索は、ルート探索時点で所要時間が最短と予測されるルートを表示するものであり、必ずしも渋滞を回避するものではありません。

ETC2.0 の設定をする

別売の ETC2.0 車載器を接続している場合は、ETC2.0 の交通情報サービスの利用や、ETC2.0 の設定ができます。

■ ETC の案内出力を設定する

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [ナビ設定] → [ETC] をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[ETC 音声の出力]	本機での ETC 利用料金などの音声案内の ON* (案内する)、OFF (しない) を設定します。 ※利用料金などの音声案内は、画面の表示と異なる場合があります。
[カード入れ忘れ案内]	本機を起動したときに ETC カードが挿入されていない場合の、音声とメッセージ画面でのお知らせの ON* (お知らせする)、OFF (お知らせしない) を設定します。
[カード抜き忘れ案内]	本機の電源を切ったときに ETC カードが挿入されたままの場合の、音声でのお知らせの ON* (お知らせする)、OFF (お知らせしない) を設定します。
[カード有効期限切れ案内]	ETC カードの有効期限が当月の場合、または有効期限が切れている場合の、音声とメッセージ画面でのお知らせの ON* (お知らせする)、OFF (お知らせしない) を設定します。 ※本機起動中に ETC カードを挿入したとき、もしくは挿入したままで本機を起動したときにお知らせします。

■ ETC の料金表示を設定する

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [ナビ設定] → [案内] をタッチする

2. [ETC 料金の表示] をタッチする

- [ON] : ETC 料金を表示します。
- [OFF] : ETC 料金を表示しません。

■ ETC の渋滞情報を設定する

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [ナビ設定] → [渋滞情報] → [ETC2.0 設定] をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[ETC2.0 受信音]	ETC2.0 情報の受信音の ON* (鳴らす)、OFF (鳴らさない) を設定します。
[ETC2.0 割り込み]	ETC2.0 車載器で自動割り込み表示する情報を受信したときの割り込み表示の ON* (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。
[ETC2.0 自動音声再生]	ETC2.0 車載器で音声情報を受信した場合の、音声の自動再生の ON* (自動再生する)、OFF (自動再生しない) を設定します。
[ETC2.0 アップリンク]	本機および ETC2.0 車載器で収集した情報について、路側機（情報を配信するため道路に設置された無線基地局：ITS スポット）への自動的な送信の ON* (自動送信する)、OFF (自動送信しない) を設定します。
[割り込み表示の時間]	ETC2.0 車載器で受信した情報の割り込み表示の時間（5 秒間 / 10 秒間 / 15 秒間 *）を設定します。

ETC2.0 情報を見る

別売のETC2.0車載器を接続している場合は、本機で使用したETCの利用履歴や登録情報を確認できます。また、道路本線上や料金所に設置された路側機(ITSスポット)から提供される情報を受けられます。

ETC 履歴情報を見る

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼] → [情報] → [ETC情報]をタッチする

ETCの履歴情報が表示されます。

■!知識

- [車載器情報]をタッチすると、車載器の情報を表示します。
- ETCの利用履歴は、100件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETCカードを挿入しているときのみ表示されます。
- ETC履歴表示中はETCカードを抜かないでください。

ETC画面について

本機に対応のETC2.0車載器を接続している場合、ITSスポットからデータを受信したとき、または指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます。(優先情報は地図以外でも割り込み表示されます。) 音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。

対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- 優先情報
安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
- 一般情報
電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報



① [▲]/[▼]

一つ前/次の情報に切り替えます。(切り替える情報がある場合のみ)

② [再生]/[停止]

音声情報を再生または停止します。(音声がある場合のみ)

■!知識

- 特に優先度の高い情報については、[ETC2.0割り込み]をOFFに設定しても割り込み表示する場合があります。
- [戻る]をタッチすると、音声情報の再生を停止して、割り込みが発生する前の画面に戻ります。
- ETC2.0一般情報は交差点案内図、高速分岐イラストを表示していると割り込み表示しません。

ハンズフリーフォン

Bluetooth 機器の設定

Bluetooth 機器の登録について	108
登録した機器の設定をする	108
Bluetooth の設定をする	109

ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーフォンの基本操作	110
電話をかける電話機を選ぶ	112
ワンタッチダイヤルに登録する	112

Bluetooth 機器の設定

Bluetooth 機器の登録について

本機は、Bluetooth® 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、[Bluetooth 対応プロファイル \(P.166\)](#) をご覧ください。
- 本機の電源を入れたときに、ハンズフリーで使用する携帯電話と接続できない場合は、携帯電話未接続案内をします。
[Bluetooth の設定をする \(P.109\)](#)

!知識

- Bluetooth 機器の操作方法は、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用するには登録（ペアリング）が必要です。

登録操作は [Bluetooth 機器を登録する \(P.26\)](#) をご覧ください。

登録した機器の設定をする

1. <メニュー>ボタンを押し、[電話] → [Bluetooth設定] → [機器選択] をタッチする

2. 設定する Bluetooth 機器をタッチする
1 / 2 : ハンズフリー接続
♪ : Bluetooth Audio / アプリケーション連携接続



3. 設定する種別をタッチして、[閉じる] をタッチする

[電話 1] : 「電話 1」として使用します。
[電話 2] : 「電話 2」として使用します。
[Bluetooth Audio / アプリケーション連携] : Bluetooth オーディオ再生と本機対応のスマートフォン連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

!知識

- Bluetooth Audio / アプリケーション連携接続は 1 台のみ設定できます。
- [消去] をタッチすると、本機に登録した Bluetooth 機器を消去することができます。

Bluetooth 機器の接続を解除する

1. <メニュー>ボタンを押し、[電話] → [Bluetooth設定] → [機器選択] をタッチする

2. 解除したい Bluetooth 機器をタッチする

3. 解除する種別をタッチして、[閉じる] をタッチする
接続を全て解除するには、☑ (チェックマーク) を全て外します。

Bluetooth の設定をする

<メニュー>ボタンを押し、[電話] → [Bluetooth 設定] をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[Bluetooth]	Bluetooth 接続の ON* (接続する)、OFF (接続しない) を設定します。
[機器登録]	本機に Bluetooth 機器を登録します。  Bluetooth 機器を登録する (P.26)
[機器選択]	Bluetooth 機器の使用する種別を選択します。  登録した機器の設定をする (P.108)
[デバイス名]	現在の本機のデバイス名 (「NISSAN MJ322D」 ^[1] または「NISSAN MJ122D」 ^[2]) が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。
[デバイスアドレス]	本機のデバイスアドレスが表示されます。
[パスキー]	現在の本機のパスキー (「0000」) が表示されます。また、本機のパスキーを変更します。
[携帯電話未接続案内]	本機の電源を入れたときに、「電話 1」または「電話 2」に接続されている Bluetooth 電話機と接続できなかった場合にメッセージと音声で案内する接続確認の ON* (案内する)、OFF (案内しない) を設定します。
[着信の自動応答]	ON に設定すると着信時に、自動的に通話可能になります。ON(自動応答する)、OFF*(自動応答しない)を設定します。

[1]… [MJ322D-L](#) [MJ322D-W](#)
[2]… [MJ122D-W](#) [MJ122D-A](#)

ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーフォンの基本操作

本機に登録（ペアリング）したBluetooth対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。
電話を着信すると、着信画面が表示され電話を受けたり、切ることができます。

準備する

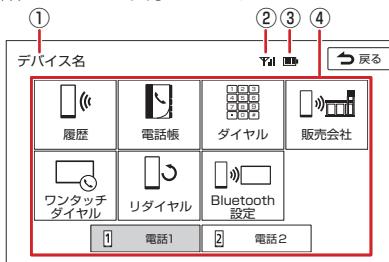
ハンズフリーフォンを使用するには、本機にBluetooth対応携帯電話、またはスマートフォンをBluetooth機器として登録（ペアリング）が必要です。

② Bluetooth機器を登録する (P.26)

電話画面を表示する

<メニュー>ボタンを押し、[電話]をタッチする

電話メニューが表示されます。



① デバイス名

発信に使用するBluetooth電話機のデバイス名が表示されます。

② 電波受信状態

接続したBluetooth電話機の電波受信状態が表示されます。

③ バッテリー残量

接続したBluetooth電話機のバッテリー残量が表示されます。

④ メニューリスト

[履歴]	発信、着信、不在着信履歴を表示します。 非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合、履歴から電話をかけ直すことはできません。
------	--

[電話帳]	電話帳を表示します。 電話帳を利用するには、はじめに[登録]をタッチし、電話帳の登録が必要です。 [消去]をタッチすると、本機に登録した電話帳を消去します。
-------	--

[ダイヤル]	電話番号を入力します。 走行中は電話番号を入力できません。
--------	----------------------------------

[販売会社]	購入した日産販売会社に発信します。
--------	-------------------

[ワンタッチダイヤル]	ワンタッチダイヤルに登録された番号に発信します。
-------------	--------------------------

[リダイヤル]	直前にハンズフリー通話でかけた番号に発信します。
---------	--------------------------

[Bluetooth設定]	Bluetooth機器を設定します。②Bluetoothの設定をする(P.109)
---------------	---

[電話1]/[電話2]	発信に使用する電話機を選択します。②電話をかける電話機を選ぶ(P.112)
-------------	---------------------------------------

!!知識

- Bluetooth電話機のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際のBluetooth電話機の表示と一致しない場合や表示できない場合があります。
- Bluetooth対応携帯電話を2台ペアリングしている場合、「電波受信状態」および「バッテリー残量」は、①デバイス名に表示されている携帯電話の情報です。

電話帳の登録

- 携帯電話がBluetoothプロファイルのPBAPに対応している場合に電話帳を登録することができます。
- 電話帳は最大1000件分（1件あたり最大5番号まで）の電話番号を本機に登録できます。
- 携帯電話によっては、電話帳および履歴情報へアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録がはじまります。

ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーで電話を受ける／切る

1. [] をタッチする

[] をタッチすると、着信を拒否します。



2. 通話が終わったら、 [] をタッチする

□!知識

- 電話機を2台接続しているときに通話すると、通話していない電話機とのBluetooth接続が切れます。通話が終わると再度Bluetoothが接続されます。
- [] をタッチするとキーの表示を最小化します。もう一度表示するには[操作画面に戻る] をタッチします。
- ハンズフリー通話中は、<音量>ダイヤル、または音量<->/<+>ボタンで受話音量を調整できます。

□!知識

- ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量は、AVの音量とは別に調整できます。
⇒ [システムの設定をする \(P.125\)](#)
- 着信したときに自動で電話を受けるように設定できます。
⇒ [Bluetoothの設定をする \(P.109\)](#)
- 車種によってステアリングスイッチでも電話を受けたり、切ることができます。
⇒ [ステアリングスイッチ \(P.20\)](#)

通話中画面の見たた



① [ミュート]/[通話]

タッチするたびに[ミュート]と[通話]に切り替わります。

[ミュート]をタッチすると、送話音声が相手に聞こえなくなります。

[通話]をタッチすると、送話音声が相手に聞こえるようになります。

② [送話音量]

通話中のエコーキャンセル、ノイズリダクションの値、および送話音量を調整します。

③ [ダイヤル]

ダイヤルをするための10キーが表示されます。

④ []

ハンズフリーでの通話と、携帯電話機での通話を切り替えます。

⑤ []

電話を切ります。

⑥ []

タッチするとキーの表示を最小化します。もう一度表示するには[操作画面に戻る] をタッチします。

⑦ 通話情報

通話相手の名前、通話時間、現在接続中のBluetooth電話機の電波受信状態とバッテリー残量が表示されます。

車 アドバイス

- 走行中に携帯電話での通話に切り替え、運転者が通話することはおやめください。

□!知識

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じにはなりません。(通話時間は目安です。)
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。

ハンズフリーフォンを使う

電話をかける電話機を選ぶ

携帯電話またはスマートフォンを2台接続している場合に、発信に使用する電話機を選択します。

1. <メニュー>ボタンを押し、[電話]をタッチする
2. [電話1]または[電話2]をタッチする
キーが選択状態になり、デバイス名が左上に表示されます。

ワンタッチダイヤルに登録する

よく使用する電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、簡単に発信できます。
あらかじめワンタッチダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。

図!知識

- ワンタッチダイヤルは8件まで登録できます。

1. <メニュー>ボタンを押し、[電話] → [ワンタッチダイヤル] → [編集]をタッチする
2. 登録する位置をタッチする
3. 登録方法をタッチし、電話番号を登録する
[履歴から登録]：登録する電話番号を発信、着信、不在着信履歴から選んでタッチします。
[電話帳から登録]：登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。
[10キーで登録]：電話番号を入力し、[登録]をタッチします。

図!知識

- [全て消去]をタッチすると、全てのワンタッチダイヤルが消去されます。
- 登録したワンタッチダイヤルをタッチし、[消去]をタッチすると、選択したワンタッチダイヤルが消去されます。

スマートフォン連携・音声認識

NaviCon を使う

NaviCon を準備する	114
NaviCon の操作	115
NaviCon 友達マップ機能を使う	115

音声認識でルート探索 / 楽曲検索する

VOINPUT（音声入力アプリ）を使う	117
---------------------	-----

NaviCon を準備する

「NaviCon」は、地点や店舗を検索して登録しておくことができるスマートフォン専用アプリです。

登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することができます。

NaviConについて

NaviConには次の機能があります。

- NaviConは、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報をNaviConに取り込むことができます。連携できるアプリの種類や詳細については下記のURLをご覧ください。
<https://navicon.com/user/support/>
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報をNaviConで目的地に設定できます。
- 他のNaviConユーザーに、地点情報をメールまたはSMSで送信することができます。
- 他のNaviConユーザーからの地点情報を受信することができます。
- 友達マップ機能に対応しています。

■!知識

- 「NaviCon」アプリのバージョンによっては一部機能が動作しない（友達マップが表示できないなど）場合があります。「NaviCon」アプリは最新のバージョンでご使用ください。

準備する

1. App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにダウンロードする

2. 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

対応スマートフォンについては、下記のURLをご覧ください。

<https://navicon.com/user/support/>

■Android™搭載スマートフォンを接続する場合

Android端末と本機をBluetooth接続します。 [Bluetooth機器を登録する\(P.26\)](#)

■iPod/iPhoneを接続する場合

接続方法はUSB接続とBluetooth接続から選択することができます。

● USB接続ケーブルで接続する場合 [iPodを接続する\(USB接続\)\(P.79\)](#)

USB接続ケーブル（別売）とApple社純正のLightning-USBケーブルが必要です。

● Bluetoothで接続する場合

あらかじめ本機にiPod/iPhoneをBluetooth機器として登録（ペアリング）が必要です。 [Bluetooth機器を登録する\(P.26\)](#)

■!知識

- 本機の対応可能なiPod/iPhoneについて
は、 [本機でコントロールできるiPodについて\(P.167\)](#)をご覧ください。
- iPodの接続には、Apple社純正のLightning-USBケーブル（USB接続ケーブルに接続できる形状の接続口のもの）をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。
- iPhoneまたはiPod touchをUSB接続した場合、ロック解除をうながすメッセージがiPhoneまたはiPod touchに表示されることがあります。その際は、iPhoneまたはiPod touchのロックを解除してご利用ください。

NaviCon の操作

NaviCon から本機の地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。なお、本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

NaviCon を使って目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に転送して、行き先として設定することができます。

- スマートフォン側で「NaviCon」を起動する
- アプリで目的地を設定し、「NaviCon」から本機に地点情報を転送する
転送された場所が本機に表示されます。
転送方法については、下記の URL をご覧ください。
<https://navicon.com/user/support/>
- [目的地] をタッチする
ルートの探索がはじまります。
② ルートの探索条件を選択して案内を開始する
(P.38)

NaviCon 友達マップ機能を使う

友達マップ機能を使うと、本機の地図画面に友達の位置が表示されます。友達の位置を目的地に設定することもできます。

本機の友達マップ機能を ON にする

- 本機にスマートフォンを接続する
- スマートフォン側で「NaviCon」を起動して、友達マップ機能をオンにする
- <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [システム設定] [スマートフォン連携] をタッチする
- [NaviCon 友達マップ表示] をタッチして ON にする

現在地画面を表示すると友達アイコンが表示されます。
① 友達マップ機能のアイコンについて (P.115)

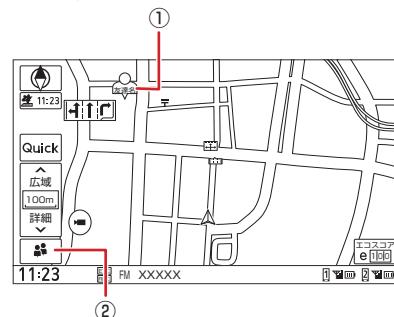
[OFF] になると、友達マップ機能をオフにします。

□!知識

- 友達マップは、NaviCon で事前にお友達を招待する必要があります。操作方法については、下記の URL をご覧ください。
<https://navicon.com/user/support/>
- 本機の友達マップ機能を ON に設定しても他のスマートフォンを接続したときは、[NaviCon 友達マップ表示] 機能が OFF になります。設定を ON にしたときと違うスマートフォンを使用する場合は、設定を ON にしなおしてください。

■ 友達マップ機能のアイコンについて

友達マップ機能のアイコンが本機の画面に表示されます。



① 友達アイコン

色	意味
緑色	友達の NaviCon が通信できる状態
灰色	友達の NaviCon が通信できない状態

② ② 本機との接続状態表示アイコン

色	意味
緑色	友達マップ機能は ON になっている
黄色	友達マップ機能は ON になっているが通信エラーが発生している
灰色	友達マップ機能が OFF になっている、または NaviCon と通信できない状態

□!知識

- 友達アイコンは NaviCon に登録しているニックネームを全角 3 文字まで表示します。
- NaviCon と通信できない状態が 10 分続くと友達マップ機能が OFF になります。

友達の位置を全体表示する

友達の位置が自車位置から遠い場合や複数の友達と接続している場合など、地図画面に友達の位置が表示できないときに全体画面で位置を表示させることができます。

- <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▶] → [システム設定] → [スマートフォン連携] → [NaviCon 友達マップ全体表示] をタッチする
全体表示画面が表示されます。

2. 友達を選択する

友達の位置を目的地に設定することができます。② 友達の位置を目的地に設定する (P.116)

友達の位置を目的地に設定する

- 地図画面に友達の位置を表示させる
③ 友達の位置を全体表示する (P.116)
- [◀]、[▶] をタッチして友達を選び、[この友達を選択] をタッチする
[リスト]：友達をリスト表示します。
目的地に設定する友達の名前をタッチします。
- [目的地] をタッチする
ルートの探索がはじまります。
④ ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.38)

□!知識

- 画面に表示される友達アイコンをタッチしても選択できます。

音声認識でルート探索 / 楽曲検索する

VOINPUT（音声入力アプリ）を使う

「VOINPUT」を使うと、音声入力によるフリー ワード施設検索、住所検索、楽曲検索が可能になります。

「VOINPUT」の使いかた、接続方法、対応スマートフォンについては、下記の URL をご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/mj/voinput/>

音声入力による検索機能を 有効に利用していただくために

■ 注意事項

- 音声入力による検索機能を利用するためには、スマートフォンで「VOINPUT」アプリを起動している必要があります。
- 「VOINPUT」を使用する際は、お使いのスマートフォンの音楽再生は停止してください。
- iPhone でハンズフリー接続中に電話着信し、iPhone 側で応答、または本機で応答後に携帯電話切り替えキーを押して、iPhone 側で通話を行って終話をした場合、「VOINPUT」を開始することができません。その場合は、iPhone で Bluetooth をオフにしたあと、Bluetooth を再度オンに設定してから、本機との接続確認をし、iPhone にて「VOINPUT」アプリが起動していることを確認してご利用ください。

- Android スマートフォンで Bluetooth Audio 機能を利用しているときは、スマートフォン側の音声認識機能を利用する場合でも、車のスピーカーから音声が出力される場合があります。その場合は、本機の Audio をオフまたは Bluetooth Audio 以外のモードに切り替えてから、スマートフォン側の音声認識機能を利用してください。
- Android スマートフォンにおいて、別途画面ロックアプリをインストールしていると、「VOINPUT」アプリが終了することがあります。
- 「VOINPUT」の各種サービスは予告なく変更、終了する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 音声入力支援機能は、本モデルでは対応しておりません。
- 「VOINPUT」の楽曲検索機能を使用した場合は、検索結果のリストから選択した曲の AV ソースに切り替わり、再生を開始します。（検索結果のリストの並び順での再生は行いません。）
- 「VOINPUT」を使用中は、AV ソースの音声が一時的に消音されます。「VOINPUT」を終了すると、音声が聞こえるようになります。

アドバイス

- iPhone を初めて本機に接続すると、iPhone 側にアプリのインストールを促すメッセージが表示されることがあります。(iOS のバージョンにより表示が変わることがあります。)

音声入力による検索機能を利用する場合は、「VOINPUT」アプリをインストールしてください。あとからインストールすることもできます。

音声認識でルート探索 / 楽曲検索する

準備する

- App Store または Google Play から「VOINPUT」アプリをダウンロードする
- 本機にスマートフォンを接続する
 - iPhone をお使いの場合
iPhone と本機を Bluetooth 接続します。 Bluetooth 機器を登録する (P.26)
 - * iPhone を、Apple 社純正の Lightning-USB ケーブルで本機の USB ケーブルに接続して使用する場合も Bluetooth 接続が必要です。
 iPod を接続する (USB 接続) (P.79)
 - Android スマートフォンをお使いの場合
Android スマートフォンと本機を Bluetooth 接続します。
 Bluetooth 機器を登録する (P.26)
- ダウンロードした「VOINPUT」を起動する
利用規約の画面が表示されます。画面に従って進んでください。

!知識

- 「VOINPUT」をインストールした iPhone または Android スマートフォンが、ハンズフリーと Bluetooth Audio / アプリケーション連携の両方に (チェックマーク) を付けていることを確認してください。
 登録した機器の設定をする (P.108)

施設を音声で検索する

!知識

- 音声認識画面を表示するには、あらかじめ VOINPUT (音声入力アプリ) を起動しておいてください。アプリが起動していない場合は、確認のメッセージが表示されます。

1. <メニュー>ボタンを押し続ける、または <メニュー>ボタンを押し、[VOINPUT] をタッチする

2. “探したい施設や楽曲の名称をお話ください。”と表示されたら本機のマイクに向かってキーワードを話す

例：横浜にいるときに、横浜でラーメンが食べたいときは、「横浜」で「ラーメン」が食べたい」と話します。

「VOINPUT」では、キーワードとは別にマジックワードを付けることにより、周辺検索または広域検索の切り替えが可能です。

例：日産のディーラーを探したいときは、「近くの日産ディーラー」と話します。

この場合「近くの」がマジックワードになります。

音声が認識されると検索が開始され検索結果が表示されます。

音声検索



探したい施設や楽曲の名称をお話ください。

■施設検索したい時
「近くの～」「～で周辺検索」
発話例「近くの日産ディーラー」

■楽曲検索したい時
「～で楽曲検索」「～を聴きたい」
発話例「歌手名」を聴きたい」

※楽曲検索の対象ソースは、SD、USB、REC Audio です。



音声検索



次のフレーズを検索します。

「近くのコンビニ」

やり直す



検索結果



音声認識でルート探索 / 楽曲検索する

□!知識

- 音声が正しく認識されなかった場合は、[やり直す]をタッチしてもう一度お話ください。
- 周辺検索のマジックワードが付いていると、現在地周辺の半径 20km 以内でフリー ワード検索をします。検索後、「周辺検索結果」が表示されます。この場合は、[一致順]、[距離順]が表示されません。
- ファミリーレストラン名やコンビニエンスストア名など、特定のキーワードが含まれている場合は、周辺検索のマジックワードが付いていなくても自動的に周辺検索します。全国規模の広域で検索したい場合は、広域検索のマジックワード「全国の」、「広域で」を付けて発話してください。
- マジックワードについては、❸マジックワード一覧 (P.120) をご覧ください。

住所を音声で検索する

1. <メニュー>ボタンを押し続ける、または <メニュー>ボタンを押し、[VOINPUT] をタッチする
2. “探したい施設や楽曲の名称をお話ください。”と表示されたら本機のマイクに向かってキーワードを話す
「VOINPUT」では、キーワードとは別にマジックワードを付けて発話してください。

例：東京都八王子市石川町 XXXX(番地)

を探すとき

“住所検索 東京都八王子市石川町 XXXX(番地)”と話します。

この場合「住所検索」がマジックワー ドになります。

音声が認識されると検索が開始され検索結果が表示されます。

□!知識

- 音声が正しく認識されなかった場合は、[やり直す]をタッチしてもう一度お話ください。
- 住所名は省略せずに（都道府県名、群名を含める）発話してください。
- 「丁目」「番地」「-」は「の」と発話してください

例：1丁目1番地1号→「いちのいちのいち」
3-12→「さんのじゅうに」

- 住所名を途中まで発話した場合は、認識できた住所の画面になります。

例：番地を発話しなかった場合

番地の前までを「VOINPUT」で認識し
番地入力画面を表示します。
番地は画面をタッチして入力してくだ
さい。

- マジックワードについては、
❸マジックワード一覧 (P.120) をご覧
ください。

楽曲を音声で検索する

1. <メニュー>ボタンを押し続ける、または <メニュー>ボタンを押し、[VOINPUT] をタッチする

2. “探したい施設や楽曲の名称をお話ください。”と表示されたら本機のマイクに向かってキーワードを話す

「VOINPUT」では、キーワードとは別にマジックワードを付けて発話してください。

例：AAAAAA というタイトルの曲を探すとき

“AAAAAA を聴きたい”と話します。
この場合「を聴きたい」が
マジックワードになります。

音声が認識されると検索が開始され検索結果が表示されます。

□!知識

- 音声が正しく認識されなかった場合は、[やり直す]をタッチしてもう一度お話ください。
- 検索するソースは USB、SD、または REC Audio^[1] です。
- 楽曲を検索するにはカテゴリーデータベースの作成または更新が必要です。
- 楽曲検索の場合はアーティスト名、アルバム名、曲名を発話してください。
- マジックワードについては、
❸マジックワード一覧 (P.120) をご覧
ください。

[1]… MJ322D-L MJ322D-W] のみ

マジックワード一覧

施設検索したいとき		楽曲検索したいとき	
周辺の施設検索	広域の施設検索	住所検索マジックワード	楽曲検索マジックワード
近くの～	全国の～	住所検索 “～県～市～”	～で楽曲検索
近所の～	～で全国検索	“～県～市～” で住所検索	～を楽曲検索
近場の～	全国検索で～	“～県～市～” を住所検索	～で音楽検索
近隣の～	広域で～		～を音楽検索
周辺の～	広域検索で～		楽曲検索で～
～で周辺検索	～で広域検索		音楽検索で～
周辺検索で～			～を聴（聞）きたい
			～が聴（聞）きたい

聴!知識

- マジックワードの詳細については、下記の URL をご覧ください。
<https://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/mj/voiput/>

情報・設定

情報表示や設定について

情報・設定メニューについて	122
---------------	-----

エコ運転診断

エコ運転診断を確認する	123
-------------	-----

システム設定

システムの設定をする	124
個人情報を初期化する	127
セキュリティコードの設定	128

車両のメンテナンス情報設定

車両のメンテナンス情報を設定する	129
------------------	-----

情報を見る

接続状態を確認する	130
-----------	-----

情報・設定メニューについて

情報・設定メニューでは、VICS 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] をタッチする

項目	機能・操作説明
[情報]	[渋滞情報] FM VICS、ETC2.0 ^[1] の情報を表示します。⇒ VICS 図形 / 文字情報を見る (P.49)
	[システム情報] 本機のソフトウェアのバージョン、ナビゲーション ID、地図データに関する情報を表示します。 ⇒ システム情報を見る (P.52)
	[ETC情報] ^[1] ETC の利用履歴や登録情報を表示します。⇒ ETC 履歴情報を見る (P.106)
	[取扱説明書] Web サイトで閲覧する取扱説明書の QR コードを表示します。 ⇒ スマートフォンで取扱説明書を閲覧する (P.5)
[ナビ設定]	[表示] 地点のアイコンなど、地図に表示させるものに関する設定を行います。⇒ 地図の表示を設定する (P.34)
	[案内] ルート案内画面や案内音声など、ルートの案内に関する設定を行います。⇒ ルート案内の設定 (P.44)
	[探索] 各種探索条件やルート学習結果を利用した探索など、ルートの探索に関する設定を行います。 ⇒ ルート探索の設定 (P.39)
	[渋滞情報] VICS 情報表示の設定を行います。⇒ VICS 情報の表示設定をする (P.51) ETC2.0 車載器接続車は ETC2.0 の設定を行います。 ^[1] ⇒ ETC の渋滞情報を設定する (P.105)
	[イージーセットアップ] イージーセットアップを行います。⇒ イージーセットアップを行う (P.25)
	[ETC] ^[1] ETC の設定を行います。⇒ ETC2.0 の設定をする (P.104)
	[登録地編集] 自宅や特別メモリ地点、グループに登録した地点に関する設定を行います。⇒ 登録地を編集する (P.47)
	[AV設定] バランスや音質など AV サウンドの設定をします。⇒ AV の設定をする (P.58)
[システム設定]	セキュリティや音量などシステムに関する設定をします。⇒ システムの設定をする (P.124)
[画面消し]	画面表示をオフにします。⇒ 画面表示をオフにする (P.23)

[1]… [MJ322D-L](#) [MJ322D-W](#) のみ

エコ運転診断を確認する

現在地図画面でエコ運転診断情報を見ることができます。

エコ運転診断情報は、走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、エコ度判定や総合評価グラフが表示されます。

1. [エコスコア] をタッチする

エコスコアが表示されます。

■知識

- エコ運転診断情報で表示される内容は、あくまで目安です。
- エコ運転診断を参考にして運転する場合は、地図画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。
- 急な坂道など走行環境によりエコスコアが低く計算される場合があります。
- エコ運転診断情報の各スコアはリセットされるまでの蓄積情報で計算をしていますので、リセット間隔が長いほどスコアが変動しにくくなります。

■画面表示の見かた



① エコ運転診断情報

画面を切り替えるには [エコ運転度] または [エコスコア] をタッチします。

エコスコア :

発進	発進の加速状態の評価です。ふんわりアクセルでやさしい発進を心がけましょう。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
巡航	走行中の加減速の評価です。車両間隔に余裕をもって、速度にムラがないと高評価となります。
減速	減速状態の評価です。早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキを利用して減速しましょう。急減速の回数が少ないと、高評価となります。

エコ運転度 :

瞬間	車の速度・加速度などから現在の運転を評価します。
平均	リセットしてから次にリセットするまでの平均を表します。

② エコ運転診断メニュー

[エコスコア]	エコスコアを表示します。
[エコ運転度]	エコ運転度を表示します。
[履歴]	燃費度合グラフを表示します。
[保存]	エコスコアとエコ運転度のデータを履歴に保存し、エコ運転診断をリセットします。
[□]	エコスコア画面を閉じます。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [システム設定] をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	機能・操作説明
[Bluetooth]	Bluetooth 接続や登録などを設定します。⇒ Bluetooth の設定をする (P.109)
[セキュリティ]	[セキュリティ設定] 本機の起動のためのセキュリティコードを設定します。セキュリティコードが設定されている場合は表示されません。⇒ セキュリティコードを設定する (P.128)
	[セキュリティ解除] 設定したセキュリティコードを解除します。セキュリティコードが設定されていない場合は表示されません。⇒ セキュリティコードを解除する (P.128)
	[セキュリティ変更] 設定したセキュリティコードを変更します。⇒ セキュリティコードを変更する (P.128)
	[セキュリティインジケーター] 本機の電源をオフにしたときのセキュリティインジケーターの ON (点滅する)、OFF* (点滅しない) を設定します。(⇒ MJ322D-L (P.14)、⇒ MJ322D-W MJ122D-W (P.16)、⇒ MJ122D-A (P.18)) ※はじめに「セキュリティ設定」をする必要があります。
	[盗難多発地点 音声案内] 盗難多発地点の音声案内の ON* (音声案内する)、OFF (音声案内しない) を設定します。
	[盗難多発地点 表示案内] 盗難多発地点の表示案内の ON* (表示案内する)、OFF (表示案内しない) を設定します。縮尺が 200 m 以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色 、橙色 、黄色 で区分し表示します。(お買い上げ時、市街地図では表示しません) ※盗難の危険が高い順に赤色→橙色→黄色で表示します。(地域により基準は異なります)
	[市街地図での盗難多発地点表示案内] 上記の「盗難多発地点 表示案内」を「ON」に設定しているときに、盗難多発地点の市街地図での表示案内の ON (表示案内する)、OFF* (表示案内しない) を設定します。
	[オプションスイッチ] コントロールパネルの < ⇧ > (オプション) ボタンに割り当てる機能 (消音*/AV ソース切替 / 電話リダイヤル発信 / 自宅) を設定します。 ※インテリジェントアラウンドビューモニター (移動物検知機能付き) 搭載車に本機を装着している場合は、オプションスイッチ設定はできません。①

①… MJ322D-L MJ322D-W のみ

システム設定

項目	機能・操作説明
[音量]	[案内音声の音量] 案内音声の音量（1～15*～40）を設定します。 ※ ETC2.0 車載器からの音声の音量も変わります。 [1]
	[案内音声出力時の AV 音量] 音声案内時の AV ソースの音量（そのまま / 下げる */ 消音）を設定します。
	[リバース時の AV 音量ダウン] バックするときに AV ソースの音量の ON*（下げる）、OFF（下げない）を設定します。
	[目的地 / 自宅接近時の AV 音量ダウン] 目的地 / 自宅接近時の AV 音量の ON（下げる）、OFF*（下げない）を設定します。 ② 目的地 / 自宅接近時の AV 音量ダウンを設定する (P.62)
	[着信音量] 着信音量（0～15*～40）を設定します。
	[受話音量] 相手の声の音量（受話音量：0～23*～40）を設定します。 ※接続した携帯電話によっては、携帯電話側で設定した受話音量になる場合があります。
	[送話音量] 相手に伝わる自分の声の音量（送話音量：1～11*～20）を設定します。
	[音量スイッチでの案内 / 通話音量調整] ON* に設定すると案内音声の音量とハンズフリー通話中の受話音量は、それぞれ <音量> ダイヤル、または音量 <-> / <+> ボタンで調整することができます。OFF に設定すると案内音声の音量とハンズフリー通話中の受話音量の調整ができなくなります。
[ユーザー切替]	[ユーザー選択] 本機は 2 ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。ユーザーを選択します。
	[ユーザー名編集] ユーザー名を編集します。
	[地図上にボタンを表示] 現在地図画面に表示されるユーザーカスタマイズキーの ON*（表示する）、OFF（表示しない）を設定します。
[スマートフォン連携]	NaviCon 友達マップの機能を使用します。③ NaviCon 友達マップ機能を使う (P.115)
[言語]	[表示言語] ナビゲーションに表示する言語を設定します。日本語 *、英語、韓国語、中国語から選択します。
	[音声言語] ナビゲーションの音声案内に使用する言語を設定します。日本語 *、英語、韓国語、中国語から選択します。

[1]… **MJ322D-L** **MJ322D-W** のみ

システム設定

項目	機能・操作説明
[その他設定]	[販売会社専用メニュー] 日産販売会社専用のメニューとなります。 [いいえ] をタッチします。日産販売会社以外での設定変更は行わないでください。
	[車両メンテナンス] 車両のメンテナンス情報を設定すると交換時期をお知らせします。  車両のメンテナンス情報を設定する (P.129)
	[接続確認] GPS アンテナなど各接続状態を確認します。  接続状態を確認する (P.130)
	[個人情報の初期化] ユーザーが登録したデータ（登録地点、検索履歴など）を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。  個人情報を初期化する (P.127)
	[操作音の出力] 操作音の ON*（出力する）、OFF（出力しない）を設定します。
	[Quick メニュー設定] [Quick1]～[Quick6]に機能を割り当てることができます。 タッチすると Quick メニュー設定画面を表示します。設定するキーにタッチして登録する機能を選択します。
	[時計表示] 時計の ON*（表示する）、OFF（表示しない）を設定します。
	[オープンソースライセンス] ライセンスを表示します。
	[SD カード初期化] SD カードの初期化を行います。SD カード内のデータは、全て消去されます。
	[名称検索入力候補の初期化] 目的地メニューの「名称」検索で使用した入力履歴を初期化します。
	[センサー学習結果の初期化] センサー学習結果を初期化します。  センサーの学習について (P.127)

⚠ 注意

- 初期化中は AV ソースを切り替える、車両のキースイッチ（電源ポジション）を切り替えるなど他の操作をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

📖 知識

- SD カードに誤消去防止スイッチ（LOCK）が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。

センサーの学習について

本機は、GPSの情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習したあとも、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換したあと、自車位置のずれが大きいようであれば、センサー学習結果の初期化を行ってください。

④システムの設定をする (P.126)

センサー学習結果を初期化した場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

■正しくセンサー学習をするには

- GPS情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。

□!知識

- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- GPSアンテナの接続状態や、GPS情報の受信状態は、本機の画面で確認することができます。
- センサー学習結果の初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。

個人情報を初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [システム設定] → [その他設定]をタッチする
2. [個人情報の初期化]をタッチして、[はい]をタッチする

全ての設定がお買い上げ時の状態に戻り、本機が再起動します。

□!知識

- セキュリティコードは、個人情報の初期化をしても消去されません。[④セキュリティコードを解除する \(P.128\)](#)で解除してください。
- 別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー★が接続されている場合は、ドライブレコーダーの設定は初期化されません。[④日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの設定をする \(P.100\)](#)で消去してください。

★オプションの装着が必要です。

システム設定

セキュリティコードの設定

盗難防止対策のためのセキュリティコードを設定します。



- お客様が設定したセキュリティコードは、お客様ご自身で管理をお願いします。
- セキュリティコードを忘れた場合は、お買い上げの日産販売会社へご相談ください。
- セキュリティコード記入欄

--	--	--	--	--	--

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードを設定すると、本機を取り外した場合、または車のバッテリーを交換した場合（バッテリーに接続している+端子を外した場合）に、ここで設定したセキュリティコードの入力が必要になります。

正しいセキュリティコードが入力されないと、本機は起動しません。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼] → [システム設定] → [セキュリティ] → [セキュリティ設定] をタッチする
2. 設定する4～8桁のセキュリティコードを入力し、[決定] をタッチする
3. もう一度、同じセキュリティコードを入力し、[決定] をタッチする

セキュリティコードを変更する

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼] → [システム設定] → [セキュリティ] → [セキュリティ変更] をタッチする
2. 現在設定されているセキュリティコードを入力し、[決定] をタッチする
3. 新しく設定する4～8桁のセキュリティコードを入力し、[決定] をタッチする
4. もう一度、同じセキュリティコードを入力し、[決定] をタッチする

セキュリティコードを解除する

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定▼] → [システム設定] → [セキュリティ] → [セキュリティ解除] をタッチする
2. 現在設定されているセキュリティコードを入力し、[決定] をタッチする
現在のセキュリティコードが解除されます。

車両のメンテナンス情報を設定する

車両のオイル交換など、メンテナンス情報を登録すると交換時期にお知らせします。

1. <メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [システム設定] → [その他設定] → [車両メンテナンス] をタッチする
2. 設定する情報をタッチする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	説明
[お知らせ設定]	お知らせの ON (お知らせする)、OFF* (お知らせしない) を設定します。
[通知年月日]	交換日などを設定します。
[通知開始設定]	[通知年月日] を設定すると表示されます。お知らせを開始する日(なし*/3日前から/7日前から)を設定します。
[通知開始距離]	お知らせを通知する距離を設定します。
[通知まであと]	お知らせを通知するまでの残りの距離を表示します。
[メンテナンス名称]	お好み1、お好み2でお知らせする名称を設定します。 文字入力については  文字入力のしかた (P.24) をご覧ください。
[設定消去]	タッチすると確認メッセージが表示されます。[はい] をタッチすると設定内容を消去します。

■!知識

- [通知開始距離] と [通知まであと] は「バッテリー交換」、「お好み1」、「お好み2」では設定できません。
- [メンテナンス名称] は「お好み1」、「お好み2」のみ設定できます。
- 通知開始設定の日になった / 設定日当日になった / 設定日をすぎた、または設定した距離を走行すると、本機を起動したときにそれぞれメッセージを表示してお知らせします。
※ [今後表示しない] をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。(“お知らせ設定” OFFになります)
- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げの日産販売会社へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず [設定消去] をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPSからの日付情報と車速信号を使用します。

接続状態を確認する

<メニュー>ボタンを押し、[情報・設定 ▼] → [システム設定] → [その他設定] → [接続確認]をタッチする
本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

項目	説明
GPS アンテナ	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキングブレーキの状態を表示します。 パーキングブレーキがかかっている場合は「ON」、パーキングブレーキが解除されている場合は「OFF」と表示します。
車速	車速パルスの値を表示します。
リバース	シフトレバーのリバース状態を表示します。 リバースにしている場合は「ON」、リバース以外は「OFF」と表示します。
ナビ連動ドライブレコーダー	別売の日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーが接続されている場合は「ON」と表示します。連動しないドライブレコーダーが接続されている、またはドライブレコーダーを接続していない場合は「OFF」と表示します。
ETC2.0 車載器 ^[1]	ETC2.0 車載器の接続状況を表示します。 ETC2.0 車載器が未接続の場合は「未接続」、接続されている場合は「ETC2.0 接続中」と表示します。

付録

困ったとき

故障かなと思ったら	132
こんなメッセージが表示されたら	146

知っておいていただきたいこと

自車位置の測位精度について	150
地図データベースについて	152
ソフトウェア使用許諾契約書	153
VICSについて	155
AVの設定について	158
Gracenoteデータベースについて	158
メディアおよびファイルについて	159
Bluetoothについて	166
iPodについて	167
後席専用モニターについて	167
商標など	169
主な仕様	173
保証とアフターサービス	174

索引

175

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの日産販売会社へご相談ください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素があるが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがある。	液晶パネル特有の現象です。 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。 ➡ 画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.22)
画面が見にくい。	コントロールパネルの角度や明るさ、コントラストが合っていない。	コントロールパネルの角度や画面の明るさ、コントラストを調整してください。➡ コントロールパネルの角度、画面の明るさおよび黒レベルを調整する、画面表示を消す (P.22)、 ➡ AVの画質を調整する (P.56)
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。➡ AVの画質を調整する (P.56)
車を後退させたときにAVの音量が下がる。	リバース時のAV音量ダウンが“ON”に設定されている。	リバース時のAV音量ダウンを“OFF”に設定してください。 ➡ システムの設定をする (P.125)

ナビゲーション機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m以下のスケールです。

困ったとき

症状	考えられる原因	対処方法
地点登録できない。	すでに 300 か所登録されている。	不要な登録地点を消去してください。 ➡ 登録地を編集する (P.47)
経由地を設定できない。	すでに 5 か所が設定されている。	不要な経由地を消去してください。 ➡ 現在のルートを編集する (P.47)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。 ➡ 行き先を探す (P.37)
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。 ➡ 行き先を探す (P.37)
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に保存されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は保存されません。
	履歴に保存されたのが最近の 100 か所よりも古い。	履歴として保存されるのは、1 ユーザーにつき 100 か所までです。不要な履歴を消去してください。 ➡ 行き先を探す (P.37)
デモ走行で目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにデモ走行のスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y 字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサー学習結果の初期化をしてください。➡ システムの設定をする (P.126) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。

困ったとき

症状	考えられる原因	対処方法
VICS の地図表示情報（レベル 3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報（レベル 3）を表示できるのは、10m～1km（一般道路は 10m～500m、一般道路の駐車場情報は 10m～200m）のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。
	VICS からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。 ➡ FM 多重放送の選局をする（VICS 受信）(P.50)
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が“昼色に固定”に設定されている。	“時刻連動”などに設定してください。 ➡ 地図の表示を設定する (P.34)
音声案内されない。	ルート案内音声の出力が“OFF”に設定されている。	ルート案内音声の出力を“ON”に設定してください。 ➡ ルート案内の設定 (P.44)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	<現在地>ボタンを押して現在地図画面に切り替えてください。 ➡ 現在地図画面の見かた (P.30)
	画面がオフになっている。	<現在地>ボタンを押すか、画面をタッチしてください。 ➡ 画面表示をオフにする (P.23)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。 ➡ 現在地図画面の見かた (P.30)
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。

困ったとき

症状	考えられる原因	対処方法
案内音声が小さい。	—	案内音声の音量を大きくしてください。 ➡ <u>システムの設定をする</u> (P.125)
ルートメニューが表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。 ➡ <u>目的地に設定してルートを探索する</u> (P.38)
地図画面が赤色または黄色で表示された。	VICS 情報の気象・災害情報エリアが表示されている。	画面の異常ではありませんので、そのままご使用ください。 ➡ <u>地図に表示される VICS 情報</u> (P.48)

AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。 ➡ バランス / フェーダーを設定する (P.59)
	音量が小さすぎる。	音量を適正に調整してください。 MJ322D-L ➡ MJ322D-L (P.14) MJ322D-W MJ122D-W ➡ MJ322D-W MJ122D-W (P.16) MJ122D-A ➡ MJ122D-A (P.18)
TV や DVD、USB メモリー、SD カードなどの動画が映らない。	走行中に動画ファイル、映像ソースを表示しようとした。	安全運転への配慮から、走行中は映像表示をせず、地図画面に切り替わります。車を安全な場所に停車してから、操作してください。
AV の設定ができない。	同乗者スリープ機能がオンになっている。	同乗者スリープ機能をオフにしてから、操作してください。 ➡ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.58)
	ハンズフリー通話中、または発信、着信中。	通話を終了してから、操作してください。
	AV ソースがオフになっている。	AV ソースをオンにしてから、操作してください。
	ドライブレコーダーが選択されている。	ドライブレコーダー以外に切り替えてから、操作してください。
イコライザーカーブの調整ができない。	クリアボイス機能がオンになっている。	クリアボイス機能をオフにしてから、操作してください。 ➡ 同乗者スリープ機能 / クリアボイス機能 (P.58)

ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。 ➡ ディスクを取り出す (P.72)
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置（約1時間）してから使用してください。➡ ディスクを取り出す (P.72)
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。 ➡ ディスクを取り出す (P.72)
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。 ➡ ディスクを取り出せないときは (P.72)
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ／ファイル／階層が多い。	最初にディスク内の全てのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。 ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。 これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。
DVDの禁止マーク “  ” が画面に表示されて、操作ができない。 ^[1]	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。 禁止マークの表示中は操作はできません。

[1]… [MJ322D-L](#) [MJ322D-W](#) のみ

ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	ファイルフォーマットが、本機で再生できない ファイルフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。 ⇒ 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.162)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。 ⇒ 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.162)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては 再生できない場合がある。	—
	ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが 4GB 以下のビデオファイルが 再生できます。

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。 ⇒ 放送局を登録（プリセット）する（P.67）
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合がある。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。 ⇒ 放送局を登録（プリセット）する（P.67）
	「ホーム」または「おでかけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。 ⇒ 放送局を登録（プリセット）する（P.67）
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	見通しのいい場所に移動してください。 ワンセグに切り替えてください。 受信モードの切り替えについては、⇒ 表示されるキーとはたらき（P.66） の [受信モード切替] をご覧ください。
	ワンセグ /12 セグを切り替えた。	受信モードの切り替え時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。リセット方法は iPod の取扱説明書をご覧ください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod から全ての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。リセット方法は iPod の取扱説明書をご覧ください。 iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	コネクタを奥までしっかりと接続してください。
音がひずむ。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）をオフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。充電は本機の電源がオンのときにできます。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
iPhone または iPod touch を接続しているときに、充電が開始されない。	iPhone または iPod touch の画面がロックされている。	iPhone または iPod touch のロックを解除してください。
iPhone または iPod touch を接続しているときに、iPod ソースが選択できない。		

USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB メモリーを認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。 USB 延長ケーブルを使用している。	USB メモリーや USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。 USB 延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
USB メモリーや SD カード内のオーディオ / ビデオ ファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオ ファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。 ファイル名に使用できない文字が使われている。 フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	再生できるフォーマットを確認してください。 ⇒ 本機で再生できるオーディオ / ビデオ フォーマット (P.162) 次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、＼、／、：、＊、？、”、＜、＞、 ファイル名を変更してください。 本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に変更してください。
カテゴリーデータベースを作成できない。	SD カードの誤消去防止スイッチをロックにしている。 USB メモリーが書き込みロックされている。 USB メモリーや SD カードに登録できるファイル数の上限に達している。 USB メモリーや SD カードの容量が不足している。	SD カードのロックを解除してください。 USB メモリーの書き込みロックを解除してください。 使用状況を確認し、不要なファイルを削除してください。

困ったとき

症状	考えられる原因	対処方法
カテゴリー モードの再生ができない。	カテゴリー リストが壊れている。	<p>パソコンで USB メモリーまたは SD カードのルート フォルダにある「_ContentsDB」フォルダを消去してください。 その後、カテゴリー リストを作成します。</p> <p>⇒ カテゴリー データベースを作成、更新する (P.84)</p>  <p>USB/SD (□) : フォルダ └ _ContentsDB (□) ← 消去 └ audio.rec (□) ※ 消去禁止 [i]</p>
カテゴリー モードの再生で表示された曲が再生できない、またはあるはずの曲が出てこない。	USB メモリーや SD カード内のオーディオファイルとリストの情報が合っていない。	<p>USB メモリーや SD カード内のオーディオ ファイルを追加、消去した場合はカテゴリー リストの更新が必要です。</p> <p>⇒ カテゴリー データベースを作成、更新する (P.84)</p>

Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	認証コードが合っていない。	<p>Bluetooth 機器側の登録を消去して、もう一度 Bluetooth 機器の登録を行ってください。</p> <p>⇒ Bluetooth 機器を登録する (P.26)</p>
	パスキーが合っていない。	<p>本機に設定したパスキーを確認してください。</p> <p>⇒ Bluetooth の設定をする (P.109) 初期設定は“0000”です。</p>
	Wi-Fi 機器と電波が干渉している。	周辺機器の Wi-Fi 機能をオフにするか、Wi-Fi 機器を離して操作してください。

困ったとき

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機とBluetooth対応オーディオプレーヤーの距離が遠い。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げている。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。 または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中、または、他のプロファイルで通信中。	たとえば、電話帳の登録中などには、音声が途切れる場合があります。
	ハンズフリーフォン、データ通信などを行っている。	故障ではありません。通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。
ハンズフリー通話の受話音量が小さい。	受話音量が小さい。	通話中に <音量> ダイヤル、または音量 <-> / <+> ボタンで調整してください。通話中以外でもシステム設定の「受話音量」で設定できます。❷ システムの設定をする (P.125)

REC Audio

MJ322D-L MJ322D-W のみ

症状	考えられる原因	対処方法
録音した SD カードが再生できない。	録音データ (audio.rec フォルダのデータ) を編集または変更した。	録音データ (audio.rec フォルダのデータ) を編集または変更すると、本機では再生できなくなります。編集や変更はしないでください。
	SD ソースが選択されている。	REC Audio ソースを選択してください。
音楽 CD を SD カードに録音できない。	SCMS によるコピー制限がかかっている音楽 CD を録音しようとした。	コピー制限がかかっていない音楽 CD を使用してください。
CD を再生しても自動で録音されない。	録音管理が手動録音に設定されている。	録音管理を自動録音に設定してください。
	録音しようとしている音楽 CD の曲を一曲以上録音したことがある。	一曲でも録音したことのある音楽 CD の場合は、自動録音されません。録音したい場合は ❷ 音楽 CD を録音する (P.85) をご覧ください。

バックビューモニター★

症状	考えられる原因	対処方法
映像が表示されない。	シフトレバーが“R”（リバース）になっていない。	シフトレバーが“R”（リバース）になっているか確認してください。
映像の映りが悪い。	カメラのレンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
	太陽光や後続車のヘッドライトの光が直接カメラレンズ面に当たっている。	レンズ面に当たっている光が消えれば元に戻ります。
映像が暗い。	画面の明るさなどが正しく調整されていない。	画面の明るさ等の調整を行ってください。 ➡ 画面の明るさおよび黒レベルを調整する (P.22)

インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付き）★ MJ322D-L MJ322D-W のみ

症状	考えられる原因	対処方法
映像が表示されない。	車の速度が表示条件を満たしていない。	減速してください。 ※表示条件は車両取扱説明書をご覧ください。
	● 接続に異常がある。 ● 本機または接続した機器のヒューズが切れている。	日産販売会社へご相談ください。
映像の映りが悪い。	レンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などでレンズカバーを軽く拭いてください。
画面上に×や！マークが表示される。	エラーが発生している。	日産販売会社へご相談ください。

★ オプションの装着が必要です。

ドライブレコーダー★

症状	考えられる原因	対処方法
映像が表示されない。	ドライブレコーダーが起動していない。	ドライブレコーダーの取扱説明書に従って起動してください。
ドライブレコーダーの設定ができない。	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダー以外のドライブレコーダーを接続している。	本機でドライブレコーダーの設定ができるのは、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーを接続している場合のみです。 ※日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーに関する情報は、日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

後席専用モニター

MJ322D-L MJ322D-W のみ

症状	考えられる原因	対処方法
映像が出ない。	TV や DVD などの AV ソースを選んでいない。	地図画面、ラジオ (FM/AM)、CD などは後席専用モニター側では黒画面が表示されます。映像表示が可能な AV ソースを選んでください。  後席専用モニターに表示できる映像について (P.168)
	ディスクを読み込んでいる。	ディスクを読み込んでいる間は、黒画面が表示されます。故障ではありませんので映像が表示されるまでしばらくお待ちください。
	AV ソースを切り替えた。	AV ソースを切り替えた直後は、数秒間黒画面が表示される場合があります。故障ではありませんので映像が表示されるまでしばらくお待ちください。

★ オプションの装着が必要です。

困ったとき

こんなメッセージが表示されたら

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

共通

メッセージ	対処
セキュリティコードが違います。 もう一度入力してください。	正しいセキュリティコードを入力してください。セキュリティコードを思い出せない場合は、日産販売会社へご相談ください。
システムの起動ができませんでした。 お買い上げの販売会社にお問い合わせください。	お買い上げの日産販売会社へご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は販売会社にお問い合わせください。	
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	
車速パルスに異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は販売会社にお問い合わせください。	
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、日産販売会社へご相談ください。

ナビゲーション

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 他の場所に「目的地」「経由地」を設定して、再度ルート探索を行ってください。 ⇒ 目的地に設定してルートを探索する (P.38)

VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

VOIPUT

メッセージ	対処
該当する住所が見つかりませんでした。	● 地図データベースに該当する施設がない場合は検索ができません。
該当する施設が見つかりませんでした。	● カテゴリーデータベースに該当する楽曲がない場合は検索ができません。
該当する楽曲が見つかりませんでした。	● マジックワードを付けて発話しなかった場合は検索したい目的のマジックワードを付けて発話してください。⇒ マジックワード一覧 (P.120)
サーバーに接続できませんでした。	● VOIPUT（音声入力アプリ）の起動を確認してください。
アプリケーションと通信できませんでした。スマートフォンを確認してください。	● iPhone の場合、バックグラウンド動作（スマートフォンの画面に表示されていない状態）に対応していません。必ずフォアグラウンド（アプリがスマートフォンの画面に表示され操作できる状態）でご利用ください。
認識できませんでした。	● お使いのスマートフォンの Bluetooth 設定を一度 OFF して、再度 ON してください。 それでも問題が発生する場合は、本機の Bluetooth 設定を一度 OFF して、再度 ON してください。 ⇒ Bluetooth の設定をする (P.109)
解析できませんでした。	

AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。 ④ 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.162)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

AV(Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。 ④ 使用できないディスク (P.159)
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。④ ディスクを取り出せないときは (P.72) それでもディスクが取り出せない場合は、日産販売会社にお問い合わせください。
再生できないリージョンコードの ディスクです。 ^[1]	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」(または2を含むもの) と「ALL」のディスクが再生できます。
録音可能なアルバム数の上限を超えてい ます。 ^[1]	録音できるアルバムは最大999枚までです。 不要なアルバムを消去してから録音してください。④ 録音した曲を消去する (P.88)
録音を続行できないため、録音を中断し ました。 ^[1]	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音でき ません。 ^[1]	不要な楽曲を消去してから録音してください。④ 録音した曲を消去する (P.88) 空き容量や残り録音可能時間は、録音設定画面で確認できます。④ 録音設定をする (P.86)

ドライブレコーダー★

メッセージ	対処
ドライブレコーダーと接続できません。 (ID:D01)	日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーと通信エラー、コネクター部の接触不良、ワイヤーの断線、コネクターの抜けが発生しています。 本機、または日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの電源を入れなおしてください。日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの操作については日産オリジナルナビゲーション連動ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。電源を入れなおしても改善されない場合はお買い上げの日産販売会社へご相談ください。

ETC2.0★

MJ322D-L MJ322D-W のみ

メッセージ	対処
ETC カードの挿入不良です。カードの差込状況を確認してください。(ID:01)	原因と処置については別売の ETC ユニットの取扱説明書をご覧ください。
ETC カードのデータが読み出せませんでした。(ID:02)	
挿入されたカードが ETC カードであるか確認できませんでした。カードを確認して再度挿入してください。(ID:03)、(ID:05)	
ETC 車載器が故障しています。(ID:04)	
料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください。(ID:06)、(ID:07)	

★ オプションの装着が必要です。

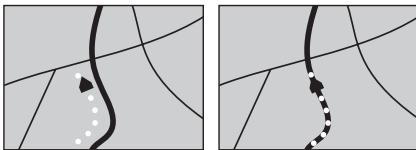
知っておいていただきたいこと

自車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

車速パルスと内蔵のジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

3D センサーについて

内蔵の3D センサーによって、道路傾斜や自車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。

高さ情報があるのは、高速道路・有料道路／国道／県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

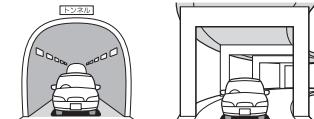
誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

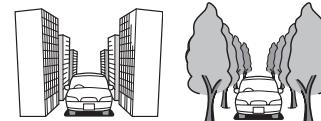
■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

1) 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。

トンネルの中や
ビル内の駐車場



高層ビルなどの間　密集した樹木の間



- 2) GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
- 3) 3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

■ GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

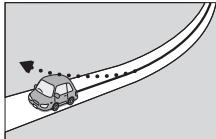
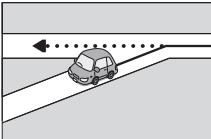
- 1) 電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

知っておいていただきたいこと

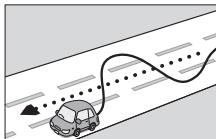
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

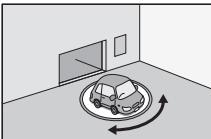
角度の小さいY字路を走
行した場合 直線や緩やかなカーブを、
長距離走ったすぐあと



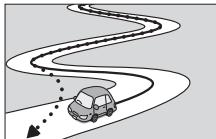
砂利道や雪道などで、タ
イヤがスリップした場合



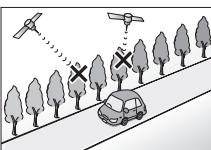
駐車場などのターンテ
ブルで旋回した場合



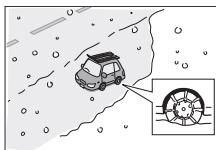
ヘアピンカーブが続いた
場合



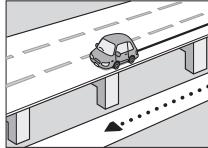
GPSによる測位ができな
い状態が長く続いた場合



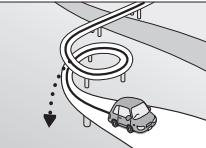
チェーンを装着したときや、
タイヤを交換した場合



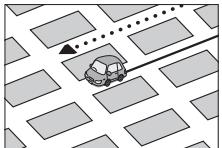
高速道路と側道などが隣
接している場合



ループ橋などを走行した
場合



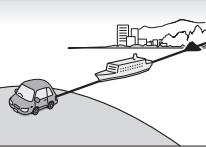
碁盤の目状の道路を走行
した場合



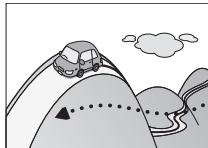
地図データにはない、
新設道路を走行した場合



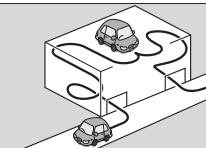
フェリーや車両運搬車な
どで移動した場合



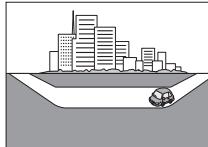
勾配の急な山道や、高低
差のある道路を走行した
場合



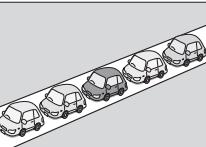
立体駐車場などで、旋回
や切り返しを繰り返した
場合



地下駐車場やトンネルな
ど、GPS衛星による測
位が長時間できない場合



渋滞などで、低速で発進
や停車を繰り返した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行はじめた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道
路をルート探索できない場合があります。
そのような道路にはマップマッチングもでき
ない場合があります。

準天頂衛星について

従来のGPS衛星からの信号に加え、準天頂衛
星からの信号を受信することで、山間部やビ
ル街でも測位精度を向上することができます。

知っておいていただきたいこと

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第44条に基づく成果使用承認）**[2021年3月発行データ使用]**
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 令元情使、第320号-46号）

■交通規制データについて

本製品に使用している交通規制データは、2021年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。

■放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは2021年8月現在のものです。
- 放送局の開局、廃局、名称変更、周波数（チャンネル）変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

■施設情報および個人情報（電話番号）について

- 電話番号検索は、タウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあつた場合でも、当社は何らの責を負いません。

■道路地図データについて

本製品の道路地図データは、2021年3月に一般財団法人日本デジタル道路地図協会から発行された全国デジタル道路地図データベースを使用しています。

■EV充電スポット情報について

EV充電スポット情報は2021年9月現在のものです。

■その他

- タウンページデータは、NTTタウンページ株式会社が提供する2021年9月号のデータを収録しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区的代表地点が表示されます。
- 駐車場データは、2022年4月1日まで対応する。但し、2021年11月時点のデータです。
- タイムズデータについては、パーク24(株)提供リストに準拠し、2021年11月時点のデータです。
- 高速道路（有料道路を含む）料金データは、2021年9月調査で2022年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるものののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。

知っておいていただきたいこと

- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

©2017 (一般財団法人) 日本デジタル道路地図協会
©2022 GeoTechnologies, Inc.

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品をご使用前に 必ずお読みください

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および／または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。

許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。

書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

使用許諾契約書

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とにかわらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契

知っておいていただきたいこと

- 約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
- 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行つてはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

- ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に關していくかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
- ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- 本契約に定める条項に違反したとき
- 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立てを受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

- 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
- 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

- 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
- 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
- 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

- 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
- 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
- ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
- 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

知っておいていただきたいこと

ソフトウェアに関する重要な お知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。

ホームページアドレス
<http://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、あらかじめ御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示または黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を以し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならぬ事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。掲載場所は [情報・設定 ▶] — [システム設定] — [その他設定] — [オープンソースライセンス] です。

VICS について

VICS サービスの問い合わせ

VICS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS 関連商品、VICS 情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはお買い上げの日産販売会社にお問い合わせください。
- VICS の概念、計画、または表示された情報内容に関することは VICS センターにお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）

【問い合わせ先】

VICS センター

電話番号：0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になります。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

電話受付時間：9:30～17:45

（但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）

FAX 番号（全国）：03-3562-1719

FAX 受付時間：24 時間

- VICS の最新情報について
VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <http://www.vics.or.jp/>

知っておいていただきたいこと

■知識

- VICS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはお買い上げの日産販売会社へご相談ください。

VICS リンクの更新について

VICS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICS リンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しい VICS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザーに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来どおり情報を提供する仕組みになっています。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

- 第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

- 第 2 条 当センターは、この約款を変更することができます。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

- 第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランプラー

FM 多重放送局からのスランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

- 第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畠型サービス

車載機のモニタデジタル道路地図上に情報を重畠表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

- 第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

- 第 6 条 当センターは、VICS デスクランプラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

- 第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

- 第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランプラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

知っておいていただきたいこと

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1)加入者が VICS デスクランブルーの使用を将来にわたって停止したとき

(2)加入者の所有する VICS デスクランブルーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することができます。
2. 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雜則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となつた場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。

知っておいていただきたいこと

当センターは、やむを得ない事情があると認める場合は、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330 円（税込み）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人交通情報通信システムセンター（VICS センター）の技術が用いられています。

AV の設定について

- AV の設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ（OFF）のとき、またはドライブレコーダーのときは、AV の設定はできません。
- AV の設定をするときは同乗者スリープ機能をオフにしてください。同乗者スリープ機能がオンのときは、AV の設定はできません。
- ラジオやテレビソースのイコライザーの設定をするときは、クリアボイス機能をオフにしてください。クリアボイス機能がオンのときは、イコライザーの調整、イコライザーパリセットの設定ができません。

- ハンズフリー通話中や発信、着信中は設定できません。
- 車速連動音量の設定により自動で音量調整されるのは、AV ソースの音量のみです。
- 各ソース画面の [AV 設定] をタッチしても AV 設定画面を表示できます。

Gracenote データベースについて

MJ322D-L MJ322D-W のみ

CD を REC Audio に録音した場合、本機に収録されている Gracenote データベースの中から、アルバム名やアーティスト名、トラック名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote データベース情報を使用しています。

● Gracenote データベースについて

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ : copyright © 2000-present Gracenote.

Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。

適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote のホームページをご覧ください。

Gracenote、CDBB、MusicID、Media VOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および “Powered by Gracenote” ロゴは、米国および／またはその他の国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標です。

■!知識

- 「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を 100% 保証するものではありません。



知っておいていただきたいこと

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB メモリーや SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

■ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD ^[1]	DVD ビデオ	○	—
	DVD オーディオ	×	—
	DVD-R	○	VR モード対応
	DVD-RW	○	(DVD-R/RW のみ)
	DVD+R	○	CPRM 対応
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2層)	○	
	DVD-R DL (2層)	○	
	DVD-RAM	×	—

分類	規格	対応	説明
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	—
	ビデオ CD、 スーパービデオ CD	×	—
	フォト CD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
	CCCD	×	—
その他	デュアルディスク	×	—
	スーパーオー ディオ CD	△	CD 層のみ 再生可能

○：再生できます

△：一部のみ再生できます

×：再生できません

■再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/
Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

■使用できないディスク

- 以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていないDVD-R/RW および CD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面上に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

[1]… [MJ322D-L] [MJ322D-W] のみ

知っておいていただきたいこと

■ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

■DVD のリージョン番号

本機で再生できるDVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。
DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

■DVD ディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ(4:3)で見た場合、ワイド映像(16:9)は上下に黒帯の入る(レターボックス)映像となります。



禁止マーク

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは上記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

本機で再生できるSDカード

規格	SD/SDHC/SDXC ^{*1}
最大容量	2GB (SD) /32GB (SDHC) /2TB (SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT ^{*2}

*1 : MMC (MultimediaCard) には対応していません。

*2 : このほかのファイルシステムには対応していません。

- SDスピードクラスはClass10まで対応しています。

■SDカード使用上のご注意

- miniSDカード、microSDカードはSDカードアダプターを使用することで使用可能ですが全てのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ずSDカードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムがFAT16またはFAT32であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、[SDカード初期化]で再フォーマットしてから使用してください。
 システムの設定をする (P.126)
- 本機はSD-Audioには対応していません。
- 全てのSDカードに対して、動作を保証するものではありません。
- SDカードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。

知っておいていただきたいこと

- SDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で使用できるUSBメモリー

規格	USB 1.1/USB 2.0 ^{*1}
デバイスクラス	マストレージクラス(MSC device) ^{*2}
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT ^{*3}

*1: USB3.0には対応していません。

*2: 使用するUSBメモリーがUSBマストレージクラスに対応しているかは、USBメモリーの販売メーカーにお問い合わせください。

*3: このほかのファイルシステムには対応していません。

- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリ一本体にセキュリティがかかっていないもの

!!知識

- 本機で再生できるフォーマットについては、 [本機で再生できるオーディオ/ビデオフォーマット\(P.162\)](#)をご覧ください。
- パーティションが複数あるもの
- パソコンに接続した際、ドライバーを要求されるもの
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
- 全てのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。

■USBメモリー使用上のご注意

- 接続したUSBメモリーは運転の支障となるないように設置してください。全てのUSBメモリーに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USBハブには対応していません。
- マルチカードリーダーは使用できませんので接続しないでください。
- セキュリティ機能付きのUSBメモリーは使用できません。
- USB規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USBメモリーの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全てのUSBメモリーに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USBメモリーのデータは必ずバックアップをしてください。USBメモリーの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 下記のUSBメモリーには対応していません。
 - パーティションが複数あるもの
 - パソコンに接続した際、ドライバーを要求されるもの
 - セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
 - 全てのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。

ハイレゾ音源について

MJ322D-L のみ

- 本機は、以下のハイレゾ音源ファイルの再生に対応しています。

- コーデック

コーデック	サンプリング周波数	量子化ビット数
FLAC/ WAV	44.1～ 198kHz	24bit
	48kHz 超過～ 198kHz	16bit

- メディア
: USBメモリー、SDカード

知っておいていただきたいこと

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

■対応ファイル

コーデック		メディア			
		DVD ^[1]	CD	USB	SD
オーディオ ファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○
ビデオ ファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/ MPEG-4 AVC	×	×	○	○

○：再生できます ×：再生できません

■著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

知っておいていただきたいこと

■オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC, HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCMのみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット 数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit	16bit	16bit/24bit
ビットレート	8～320kbps, VBR	8～320kbps	8～320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング 周波数	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～48kHz	16k～ 192kHz *1	16k～48kHz	16k～192kHz *1
タグ	ID3 タグ ver 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 (ID3v2 の非同期化は 非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデー タ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイント ステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生 可能 DRM/ マルチチャンネ ルは非対応	圧縮レベル： 0～8	-	-

※オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、画像データのサイズが 650KB 以下のファイルです。

*1：オーディオファイルディスクは 48kHz まで対応しています。

知っておいていただきたいこと

■ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC			
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC			
ファイルコンテナ	AVI	MP4	M4V	AVI	MP4	FLV	M4V
拡張子	.avi	.mp4	.m4v	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.m4v
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル			ベースラインプロファイル、メインプロファイル			
対応音声コーデック	MP3, AAC			MP3, AAC			
最大ピクチャサイズ	1920 × 1080			1920 × 1080			
最大フレームレート	30fps			30fps			
最大ビットレート	8Mbps			8Mbps			

※ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。

※本機ではファイルサイズが 4GB 以下のビデオファイルが再生できます。

知っておいていただきたいこと

■ファイル名とフォルダ名

- 本機で表示できる文字：半角英数字、半角カタカナ、全角文字

- 文字数制限：ファイル名 全角 80 文字^{*}1
(拡張子は除く)

　　フォルダ名 全角 80 文字^{*}1

ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。

詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

*1：文字数は 3 バイト換算です。

- 使用できない文字：¥、＼、/、:、*、?、"、<、>、|

ファイルには正しく拡張子を付けてください。

ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

■ファイル数とフォルダ数の制限

- ディスク

1 フォルダ内の最大ファイル数：999

ディスク内の最大フォルダ数：500

ディスク内の最大ファイル数：5000

- フォルダ階層数は、ルートを含めて最大8階層となります。

- USB メモリーおよび SD カード

1 フォルダ内の最大ファイル数：999

1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999

- フォルダ階層数は、ルートを含めて最大8階層となります。ただし、フォルダ名／ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数と最大フォルダ数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

■再生する順番について

- ディスク

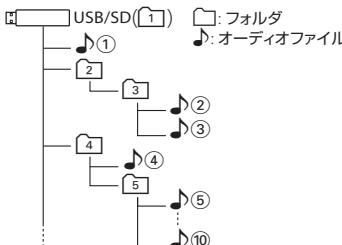
ライティングソフトで書き込まれた順で再生されます。

ファイル名の頭に “01”～“99” など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定することができます。

- USB メモリーおよび SD カード

ファイル名の昇順で再生されます。

下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



■ご使用上の注意事項

ディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。

再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

知っておいていただきたいこと

Bluetoothについて

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ver.1.6) (ハンズフリープロファイル)
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP (ver.1.2) (フォンブックアクセスプロファイル)
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP (ver.1.3)* (高度オーディオ配信プロファイル)
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (ver.1.5) (オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル)
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (ver.1.2) (シリアルポートプロファイル)
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.4.1 準拠

*SCMS-T 対応

(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聞くことができる機能です。)

■対応コーデック

SBC/AAC

図!知識

- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

ハンズフリーフォンについて

- ハンズフリーフォンを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。
 - 安全な場所へ停車してから通話を行ってください。
 - ハンズフリーフォンは本機のマイクを使用して通話します。
安全に運転できる姿勢で大きな声ではっきりとお話しください。(マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意になつたりしないようにしてください。)
 - 通話時は通話する相手と交互にお話しください。通話する相手と一緒に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません。)
 - 運転席以外からハンズフリーフォンで通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
 - 通話中に本機から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 本機は、通話アプリケーションに対応していません。スマートフォンなどにおいて、ハンズフリーフォンの発信ができない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信ができないことがあります。
 - 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
 - Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されています。携帯電話を金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置くと、音が悪くなったり接続できなかつたりする場合があります。
 - ハンズフリーフォンの状態で、携帯電話側での操作はしないでください。誤動作をする場合があります。
 - 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAX モード」などの機能を解除してから Bluetooth 接続してください。
 - ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合、Bluetooth の接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリーフォンの操作を行ってください。
 - 携帯電話を車内に放置しないでください。炎天下など、車内が高温となり、故障の原因となります。

知っておいていただきたいこと

iPodについて

本機でコントロールできる iPodについて

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。

Made for

iPhone 13 Pro Max	iPhone XS Max
iPhone 13 Pro	iPhone XS
iPhone 13	iPhone XR
iPhone 13 mini	iPhone X
iPhone 12 Pro Max	iPhone 8 Plus
iPhone 12 Pro	iPhone 8
iPhone 12	iPhone 7 Plus
iPhone 12 mini	iPhone 7
iPhone SE (2nd generation)	iPhone SE
iPhone 11 Pro Max	iPhone 6s Plus
iPhone 11 Pro	iPhone 6s
iPhone 11	iPod touch (7th generation)

※音楽再生のみに対応

- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と表記する場合があります。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

- iOS および iPod OS のバージョンにより対応状況が変わることがあります。

iPodの接続について

本機に iPod を接続するときは、USB 接続ケーブル（別売）と Apple 社純正の Lightning-USB ケーブルが必要です。

② iPod を接続する（USB 接続）(P.79)

!知識

- iPod の接続には、Apple 社純正の Lightning-USB ケーブル（USB 接続ケーブルに接続できる形状の接続口のもの）をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。

知っておいていただきたいこと

後席専用モニターについて

MJ322D-L MJ322D-W のみ

別売の後席専用モニターを接続することにより、後席でAVソースの映像を楽しむことができます。前席（本機）でナビゲーションを表示しながら、後席（後席専用モニター）でAVソース映像を表示することもできます。

- 後席専用モニターでは、AV映像（TV、ビデオなどの動画）のみ表示します。
- DVDを再生するとき、ディスク読み込み中は映像が表示されません。ディスクによっては読み込みに時間がかかる場合がありますので、映像が表示されるまでしばらくお待ちください。

後席専用モニターに表示できる 映像について

表示できる 映像	TV、DVD、SD（動画のみ）、 USB（動画のみ）、VTR、 ドライブレコーダー
表示できない 映像	上記以外の映像

- 後席専用モニターによっては、後席専用モニターのリモコンを使って本機の一部の操作が可能です。詳しくは後席専用モニターの取扱説明書をご覧ください。
- 後席専用モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。
- 車種によっては取り付けできない場合があります。後席専用モニターの詳細は日産販売会社へご相談ください。
- 本機から後席専用モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。TVを受信している場合、放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるため後席専用モニターへ出力できないときもあります。
- AVをOFFになると後席専用モニター側の表示も消えます。

知っておいていただきたいこと

商標など



「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft.

Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Manufactured under license from Dolby Laboratories.

Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

DVD VIDEO is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S., Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

VICS、VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。QR コードは(株) デンソーウェーブの登録商標です。

知っておいていただきたいこと

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

Google、Android、Google Play は、Google LLC の商標です。

「ETC」、「ETC2.0」は一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立ソリューションズ・テクノロジーの登録商標です。

Ruby Talk®

with



本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。

「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。

Copyright© 2022 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



Ubiquitous AI Corporation

本製品には株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。

ACCESS、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本またはその他の国における商標または登録商標です。

Copyright (c) 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。



NetFront® Browser DTV Profile

日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）の compact Wnn を使用しています。

compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017
All Rights Reserved.

Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。

ロゴは登録商標です。



知っておいていただきたいこと

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson

Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

知っておいていただきたいこと

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,

SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

知っておいていただきたいこと

主な仕様

■モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画面サイズ	MJ322D-L 9V型*
	MJ322D-W/ MJ122D-W/ MJ122D-A 7V型*
使用光源（照明方式）	LED バックライト方式

* 画面サイズの V 型（7V 型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

■ナビゲーション部

受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
受信方式	GPS (+MSAS) & QZSS

■地上デジタルチューナー部

受信チャンネル	UHF13～52ch
受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) (12セグ / ワンセグ対応)

■ディスク部

S/N 比	75dB
周波数特性	20Hz～20,000Hz
高調波歪み率	0.1%以下 (1kHz)

■ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオ PLL 方式
受信周波数	FM 76.0MHz～99.0MHz (0.1MHz) AM 522kHz～1629kHz (9kHz)
実用感度	FM 10dBuVEMF AM 36dBuVEMF
S/N 比	FM 55dB (DIN AUDIO フィルター使用時) AM 50dB (DIN AUDIO フィルター使用時)
ステレオセパレーション	FM 20dB 以上 (DIN AUDIO フィルター使用時)
歪み率	FM/AM 0.5%

■入出力端子

電源入力端子	TH18 専用コネクタ
外部入力端子	TH08 専用コネクタ
外部出力端子 (MJ322D-L/ MJ322D-W のみ)	RCA コネクタ (後席専用モニター用) (同梱 32 ピンケーブルより出力)
GPS アンテナ入力端子	GT5 専用コネクタ
DTV アンテナ入力端子	GT13S 専用コネクタ
ラジオ入力端子	GT13SH 専用コネクタ
ETC2.0 端子 (MJ322D-L/ MJ322D-W のみ)	5 ピン専用コネクタ

知っておいていただきたいこと

フロント AUX 入力端子 (MJ322D-W/ MJ122D-W のみ)	Φ 3.5 ミニジャック
マイク入力端子	TH04 専用コネクタ
USB 端子	GT17 (A) 専用コネクタ
ETC2.0 端子 (MJ322D-L/ MJ322D-W のみ)	GT17 (C) 専用コネクタ

■その他

電源電圧	13.2V (9V ~ 16V)	
最大出力	49W × 4 (16V)	
外形寸法	MJ322D-L	302mm × 162mm × 174mm (幅×高さ×奥行き)
	MJ322D-W/ MJ122D-W	206mm × 105mm × 162mm (幅×高さ×奥行き) * 突起部は除く
	MJ122D-A	178mm × 100mm × 162mm (幅×高さ×奥行き) * 突起部は除く
質量	MJ322D-L	2.9kg (本体のみ)
	MJ322D-W/ MJ122D-W	2.5kg (本体のみ)
	MJ122D-A	2.4kg (本体のみ)

* 本書に記載の寸法・質量はおよその数値です。

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお取り付け日から 3 年です。

ただし、その期間内でも走行距離が 60,000 km までといたします。

お買い上げの日産販売会社から発行される「日産純正オプション部品保証書」に必要事項が記入されているかお確かめのうえ、お客様の「車検証入れ」などに入れて大切に保管してください。

アフターサービスについて

本機が正常に動作しないときは、この説明書を再度ご覧になってお調べください。

それでも本機が正常に動作しないときは、お買い上げの日産販売会社へご相談ください。

数字

- 3D ビュー 30
10 キー（電話をかける） 110

A

- AAC 162, 163, 164
AM 放送を聞く 63
AUX 90
AUX 端子 16
AV 画面表示中の案内割り込み 44
AV 設定 58
AV メニュー 55

B

- Bluetooth オーディオ機器の再生 81
Bluetooth 機器の登録 26
Bluetooth 設定 109
Bluetooth 対応プロファイル 166

C

- CD の再生 73

D

- DVD
再生 75

E

- ETC2.0 アップリンク 105
ETC2.0 自動音声再生 105
ETC2.0 受信音 105

- ETC2.0 情報 103
ETC2.0 割り込み 105
ETC 音声案内 104
ETC 車載器 / ETC2.0 車載器の接続状況 130
ETC 料金の表示設定 104
ETC レーンの表示設定 44

F

- FLAC 162, 163
FM 多重放送 48, 50
FM 放送を聞く 63

G

- GPS 150
GPS アンテナの接続状態 130
GPS 受信表示 30
Gracenote 158

H

- H.264 162, 164

I

- iPod/iPhone（本機でコントロールできるモデル） 167
iPod 接続ケーブル 167
iPod を再生する 81
iPod を接続する（Bluetooth 接続） 26
iPod を接続する（USB 接続） 79

K

- K2テクノロジー 60

M

- MP3 162, 163, 164
MPEG-4 162, 164

N

- NaviCon 友達マップ 115

Q

- QR コード 5
Quick メニュー 30
設定の変更 126

R

- REC Audio（再生） 86
REC Audio（録音） 85

S

- SD カード 160
SD カード初期化 126
SD カードの出し入れ 79
SD カードのファイル再生 81

U

- USB メモリー 161
USB メモリーのファイル再生 81
USB メモリーを接続する 78

索引

V

VICS 情報	48
VICS 情報提供時刻	30
VICS 情報の表示設定	51
VICS 図形 / 文字情報を見る	49
VOIPUT	117
Vorbis	162, 163
VTR	90

W

WAV	162, 163
WMA	162, 163

あ

アスペクト（画面表示サイズ）	57
案内音声出力時の AV 音量	125
案内音声の音量	125
案内開始	38

い

イコライザー調整	59
イコライザープリセット	58
緯度・経度検索	37
緯度・経度表示設定	35
インターチェンジを変更する	38
インテリジェントアラウンドビューモニター (移動物検知機能付き)	95

え

映像の画面表示サイズ変更	57
エコ運転診断情報	123

お

オーディオファイルディスク再生	73
オートリルート	41
オープンボタン	14, 16, 18
オプションスイッチ	124
オプションボタン	95
音楽 CD 再生	73
音響効果の設定	59
音声入力アプリ	117

か

カード入れ忘れ案内	104
カード抜き忘れ案内	104
カード有効期限切れ案内	104
画質の調整	56
画面消し	23
画面の明るさの調整	22
冠水注意ポイント表示	35

き

季節規制を考慮した探索	39
休憩案内設定	45
緊急警報放送（テレビ）	71
緊急情報（FM 多重）	49

く

クリアボイス機能	58
----------	----

け

携帯電話未接続案内	109
経由地の順番変更	47
経由地の消去	47
経由地の追加	47
言語	125
現在位置の修正	35
現在地図画面	30
検索履歴の消去	37

こ

高速道路での逆走報知について	43
交通情報（ラジオ）	63
合流案内音声	44
個人情報の初期化	127
コントロールパネル	14, 16, 18
コントロールパネルの角度調整	22
コンパスキー	30

さ

細街路	30
再生できるディスク	159
サウンドの設定	58
サウンドライザー	60
サンプリング周波数	161, 163

索引

し

市街地図の表示設定	34
時間規制道路を考慮した探索	39
自車マーク	31, 34
システム情報	52
システムの設定	124
自宅へ帰る	37
自宅を登録	25
視聴予約	68, 69
車線（レーン）案内音声	44
車速	130
車速パルス	150
ジャンル検索	37
住所検索	37
渋滞情報	48
渋滞情報を考慮した探索	39
周辺施設検索	37
受話音量	125
情報設定	122
情報・設定メニュー	122
情報バー	32

す

ステアリングスイッチ	20
スピーカー出力レベル設定	61
スピーカーディレイ設定	61
スマート IC を利用した探索	39
スマートフォン連携	113

せ

セキュリティインジケーター	15, 17, 19, 124
セキュリティコード	128

接続確認	130
センサー学習	126, 127

そ

走行軌跡の消去	34
走行軌跡の表示	31, 34
操作音の出力設定	126
送話音量	125
ソース切替画面	55
ソースレベル（音量）設定	61

た

探索条件	39
------	----

ち

地図更新について	52
地図の縮尺	31
地図表示の設定	34
地点情報画面	38
地点登録	33
着信音量	125
着信の自動応答	109
駐車場情報	48

て

ディスク挿入口	15, 17, 19
ディスクの出し入れ	72
データ放送を見る（テレビ）	69
デモ走行	46
テレビの設定をする	71
テレビを視聴する	65

電源オン／オフ	22
電話1／電話2	27, 112
電話帳の登録	110
電話の着信	111
電話番号検索	37
電話メニュー	110
電話をかける	
ダイヤル	110
電話機を選ぶ	112
電話帳	110
履歴	110
ワンタッチダイヤル	110

と

同乗者スリープ機能	58
到着予想時刻／距離	42
盗難多発地点	124
登録機器の消去（Bluetooth）	108
登録地検索	37
登録地の編集	122
登録地表示設定	34
時計	31
時計表示の設定	126
トップメニュー画面	23
ドライブレコーダーの映像を見る	96, 102
ドライブレコーダーの接続状態	130
取扱説明書	5

な

ナビ設定	122
------	-----

索引

に

日産オリジナルナビゲーション連動ドライブ レコーダー	
microSD カードの初期化	99
映像を見る	96
設定	100
ファイルの再生	97
ファイルの消去	99
ファイルの保護 / 解除	98
入力履歴の初期化	126

は

パーキングブレーキ	130
ハイウェイモード画面	42
ハイウェイモード画面の表示設定	44
ハイレゾ音源	161
パスキー	26
バスブースト	60
バックビューモニター	92
バランス調整	59
番組表を見る（テレビ）	67
ハンズフリー通話	27, 110
販売会社（電話をかける）	110

ふ

フェーダー調整	59
フェリーを利用した探索	39
踏切案内音声	44
フライビューマップ表示	34
分岐イラストの表示	44

へ

ペアリング（Bluetooth）	26
平均走行速度の設定	40

ほ

放送局の登録	67
方面看板	31
方面看板の表示設定	44

ま

マジックワード一覧	120
マップコード検索	37
マップコード表示設定	35

み

道幅を考慮した探索	39
-----------	----

む

無料地図更新	52
--------	----

め

名称検索	37
メッセージ	146
メンテナンス情報の設定	129

も

目的地検索	37
目的地 / 自宅接近時の AV 音量ダウン	125
目的地設定	38

目的地の順番変更	47
目的地の消去	47
目的地表示	46
目的地付近の地図画面	46
目的地メニュー	37
文字入力	24

ゆ

ユーザーカスタマイズ	31, 125
ユーザー切替	125
ユーザー名の編集	125
郵便番号検索	37

ら

ラウドネス	60
ラジオを聞く	63
ランダム再生	
Bluetooth オーディオ機器	81
CD・オーディオファイルディスク	74
REC Audio	87
USB メモリー・SD カードの オーディオファイル	81
USB メモリー・SD カードの ビデオファイル	83
ランドマーク情報の表示	31

り

リアライザー	60
リダイヤル（電話をかける）	110
リバース	130
リバース時の AV 音量	125

索引

リピート再生

Bluetooth オーディオ機器	81
CD・オーディオファイルディスク	74
DVD ビデオ	75
iPod	81
REC Audio	87

USB メモリー・SD カードの

オーディオファイル	81
USB メモリー・SD カードの ビデオファイル	83

履歴検索（目的地）..... 37

わ

割り込み表示の時間	105
ワンセグ	66
ワンタッチダイヤル	112

る

ルート案内音声	44
ルート案内画面	41
ルート案内の終了	45
ルート学習結果の初期化	39
ルート学習結果を利用した探索	39
ルート消去	46
ルート沿い	37
ルートの全表示	46
ルートの探索条件	38
ルート編集画面	46
ルートを再探索	46

れ

レーン（車線）情報	31
-----------------	----

ろ

録音	85
録音設定	86

MEMO

付
録

MEMO

MEMO

付
録

本機は、日産自動車株式会社向けに、株式会社 JVCケンウッドが開発・製造しています。
お問い合わせは、下記の「日産自動車株式会社 お客さま相談室」へお願いいたします。

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

お客さま相談室

0120-315-232

受付時間：9:00～17:00（年末年始を除く）

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただいております。

なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ(<http://www.nissan.co.jp>)にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号



B5A-4148-00